

令和3年度(令和2年度実績)

教育委員会点検評価報告書

みよし市教育委員会

目 次

第1章 教育委員会点検評価報告の概要

- 1 背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 報告書の構成・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 計画的な教育行政の流れ（PDCAサイクルの確立）・・・・・・ 2

第2章 教育振興基本計画における各事業の実施状況

- 1 令和3年度（令和2年度実績）教育委員会の点検評価について・・・ 3
- 2 教育振興基本計画の概要・・・・・・・・・・・・ 4
- 3 20の作戦（重点施策）の実施状況報告・・・・・・・・・・・・ 6
- 4 体系別全施策の実施状況報告・・・・・・・・・・・・ 46
 - I 次代を担う子どもをみんなで大切に育てる・・・・・・ 46
 - II 生涯にわたって学び続ける市民を応援する・・・・・・ 63
 - III 「ふるさとみよし」を創る市民を育てる・・・・・・ 71

第3章 教育委員会の活動等に関する事業実施状況報告

- 1 教育委員会議・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
- 2 教育委員県外視察研修・・・・・・・・・・・・ 80
- 3 オンライン協議会・・・・・・・・・・・・ 80
- 4 教育委員学校訪問・・・・・・・・・・・・ 80
- 5 各種行事への参加・・・・・・・・・・・・ 80

第4章 学識経験者による意見

- 1 学識経験者による意見1
 - みよし市教育振興基本計画の令和2年度施策実施状況を・・・・・・ 82
 - めぐる成果と課題 一学校教育を中心に一
- 2 学識経験者による意見2
 - みよし市教育振興基本計画の令和2年度分の点検評価と・・・・・・ 86
 - 今後の展望について 一社会教育・生涯学習を中心に一

第5章 今後の方針

- 1 学識経験者による意見1について・・・・・・・・・・・・ 90
- 2 学識経験者による意見2について・・・・・・・・・・・・ 90

第1章 教育委員会点検評価報告の概要

1 背景

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が平成19年6月に改正され(平成20年4月1日施行)、毎年、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することが義務付けられました。

また、点検及び評価を行うにあたっては、学識経験者の知見の活用を図ることが規定されました。

【参考】『地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）』

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 報告書の構成

教育委員会の点検評価については、まずは教育振興基本計画の各施策に関する事務事業の内部点検を実施し、教育委員会議の開催状況、研修の実施状況などを加え報告書を作成いたしました。

事務事業の内部点検に関しては、みよし市教育振興基本計画推進委員会に提出された資料を基に、基準年(教育振興基本計画が策定された平成27年を基本とする)からの各教育施策の進捗状況が分かるような点検・振り返りとししました。特に、重点施策である「20の作戦」については状況を詳しく説明し、他の施策については概要を掲載しました。

学識経験者には、内部点検の内容について評価をいただき、教育行政や学校教育、社会教育全般にわたる広い見地から所見をいただきました。

ここに、その結果を報告書としてまとめ、公表いたします。今後も、本市の教育をよりよいものとするため、学校・家庭・地域・行政の知恵と力が発揮できるような教育施策を進めてまいりますので、住民のみなさまの御理解、御協力をお願い申し上げます。

3 計画的な教育行政の流れ（PDCAサイクルの確立）

基本理念「学ぶ楽しさで、人と人をつなぐ」のもと、次のようなPDCAサイクルを確立し、計画を着実に推進することで、目指す人間像に迫ります。

Plan 計画の幅広い周知

計画を推進するには、教育の主体である家庭・地域・学校と、それらの取組を支援する行政とが、同じ目標をもつことが大切である。

本計画は、各関係機関に配布するだけでなく、「広報みよし」などを通して市民にも広く伝えることで、幅広い層への浸透を図る。また、市の教育に重要な役割を果たす学校に対しても、さまざまな機会を捉え本計画の実現を促していく。

Do 計画的な計画の実施

教育委員会をはじめとする市の関係部局が総力を挙げて家庭・地域・学校を支援し、計画の実施を進める。特に、「20の作戦」に係る重点施策には、毎年の進行計画が設定されているので、それに従い各事業を実施していく。

本計画に示された計画は、95項目にも及ぶ幅広いものなので、最も効果が上がるよう優先順位を考えながら計画的な実施に努める。

Check 計画の推進状況の把握と評価

本計画を強力に推し進める原動力となる「20の作戦」に係る重点施策を中心に、取組の進捗状況とその成果の状況を、毎年事務局が取りまとめる。成果の状況については、行政が行う各種調査に加え、2年に一度教育に関する市民アンケートを行い、その結果から把握をする。

その取りまとめたものを基に、「みよし教育振興基本計画推進委員会」を開催し、計画の推進状況を、外部の有識者や教育に関わる市内の各団体と共に把握し、その課題や問題点を探る。

また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（平成19年4月）に示されている、教育委員会の点検・評価でも、本計画の推進状況を外部委員に点検・評価していただく。

Action 計画の改善

「みよし教育基本計画推進委員会」や教育委員会の点検・評価で、有識者や市民の代表からいただいた助言を基に、必要に応じて見直しを加える。この見直しは毎年行うが、計画策定から5年が経過する令和3年には、大幅な中間見直しをする予定である。

時代の変化にもしつかりと対応し、常に計画に改善を加えることで、実効性のある生きた計画とする。

第2章 教育振興基本計画における各事業の実施状況

1 令和3年度（令和2年度実績）教育委員会の点検評価について

みよし市（当時の三好町）の最初の教育に関する計画は、平成15年に、「三好町教育基本計画」として策定されました。本市では、この計画に示された「まちづくりは 人づくり」の理念のもと、さまざまな教育施策に取り組み、着実な成果を上げてまいりました。

その後、子どもを取り巻く環境の変化に应付するため、市民ヒアリングやアンケートを重ねながら多くの市民の声を集め、平成26・27年の2か年をかけて平成28年3月に新たな教育計画である「みよし市教育振興基本計画—みよし教育プラン—」を策定しました。

この計画では、95項目・257にわたる総合的な教育施策を進めていくこととなりました。その中でも、特に重要な分野に対しては、年度ごとの進行計画と具体的な成果指標を設定し、「20の作戦」と名付けて重点的に取り組んできました。そして、令和3年3月には、前期5年間ににおける成果と課題を踏まえ、時代の変化に対応した教育の在り方を見直し、「みよし市教育振興基本計画【改訂版】」を策定しました。

令和3年度の点検評価では、前期5年間ににおける「20の作戦」及び「全施策」の取組状況の概要をお伝えします。

本年度の教育委員会の点検評価の取組を、今後の教育行政の更なる充実につなげてまいります。

<参考：みよし市の人口>

	人 口	世帯数	15歳未満人口	小中学校 児童生徒数
（計画策定年） 平成27年度	59,885	22,700	10,299	6,421
（点検評価年） 令和2年度	61,062	24,429	9,291	5,630
平成27年度比	102.0%	107.6%	90.2%	87.7%

2 教育振興基本計画の概要

(1) 基本理念

本市の現状や、国や県の動向から、これからのみよしの教育に最も必要とされているのは、真の「学び」がもつ楽しさにより、人と人とがつながっていくことであると考え、次のような理念を計画の中心に据えました。



基本理念

学ぶ楽しさで、 人と人をつなぐ



体験や経験を伴う真の「学び」は、知的好奇心の充足感や、自己実現の喜びだけでなく、仲間と協働してものごとを成し遂げる充実感や、新たな人・こと・ものの出会いを生み出します。これらの充実感や出会いは、生涯にわたって学び続ける原動力となり、さらには「学ぶ楽しさ」となって人と人をつないでいきます。昔からの住民と新しい住民が交じり合い、絶え間なく発展を続けている私たちのまちでは、人と人とが固く結びつくことが必要とされています。

学ぶ楽しさを知った人は周りの人とつながり合い、生涯にわたり仲間と共に学び続ける人となります。

(2)計画の体系

本市では、基本理念に従い、次のような三本の柱を設定することで、目指す人間像に迫ります。一人一人の輝きが、みよしというまちの輝き、そして私たちの社会全体の輝きとなることを目指します。

Ⅰ 次代を担う子どもをみんなで大切に育てる

「知・徳・体」のバランスのとれた子どもを、一人一人の個性を大切にしながら、家庭・地域・学校の人々で大切に育てます。また、子育て世帯もしっかりと応援していきます。

Ⅱ 生涯にわたって学び続ける市民を応援する

義務教育を終えた後も、生涯にわたって学び続ける市民を応援します。スポーツから文化・芸術に関することまで、市民の生涯学習を幅広く支援し、人と人のつながりを生みだします。

Ⅲ 「ふるさとみよし」を創る市民を育てる

みよしの良さを知り、未来のみよしを創る市民を育てるために、子どもの頃からみよしの良さを体験的に学べるようにしたり、学びを通じて人と人が出会うような場づくりをしたりします。

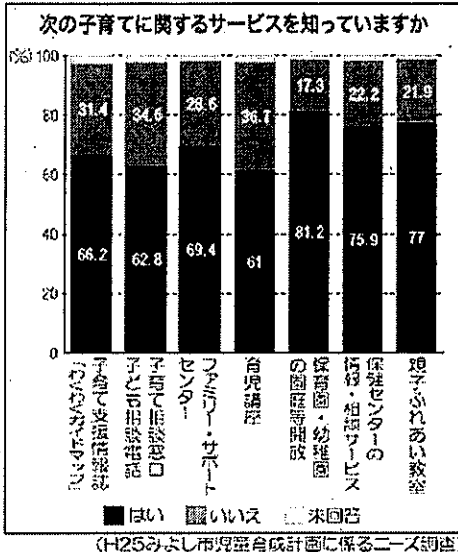
目指す人間像

生涯にわたって自らを磨き続け、
仲間と共に「ふるさとみよし」を築き、
より良い次代を創り出す人

3 20の作戦（重点施策）の実施状況報告

作戦①

子どもを持つ市民の子育ての不安を和らげます



現状と課題

本市でも、核家族化や地域とのつながりの希薄化は進んでおり、育児不安やストレスを抱える親の孤立を招く心配があります。一人で悩みを抱えないよう、気軽に相談のできる環境を整えるとともに、育児に関する情報が多くの人に届くように情報の発信の工夫する必要があります。

また、小さな子どもが安心して遊べる場所を作り、友達との関わりを通して社会性を学ぶ機会を増やすことも必要です。

重点 施策

(仮称)子ども総合支援センターでの交流・相談活動の推進

[施策体系] 1-1-(1)ア P46]

【施策の概要】

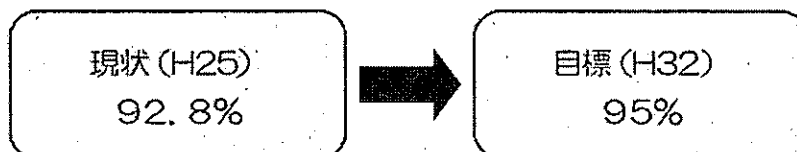
- 子育ての拠点施設として、(仮称)子ども総合支援センターを設置します。この施設には、
- ①子育てに関するさまざまな相談に対応し、必要に応じて専門家や関係機関への橋渡しを行う「総合相談窓口」
 - ②市内の子育て支援事業や育児情報を集めた「情報コーナー」
 - ③就園前の子どもが、親子で一緒に遊べるスペース「子育てふれあい広場」
- などを設置し、主に就学前の子を持つ親に対し、子どもと一緒に気軽に利用し互いの交流を促すとともに、ニーズに応じた事業を企画するなど、子育てを総合的に支援していきます。

【進行計画】

新規	28	29	30	31	32
(仮称)子ども総合支援センターでの子育て支援の充実	(仮称)子ども総合支援センター改修工事	(仮称)子ども総合支援センター開所	相談内容の傾向分析、ニーズの把握	ニーズに対応した事業の企画	事業の検証・拡充

【成果指標】子育てに関する相談相手がいる人の割合

(子育てに係る意向調査)



※一人でも多くの市民が、子育てに不安を感じなくなるよう、子育てに関する相談相手がある人の割合を増やします

【進捗状況】

重点施策		(仮称)子ども総合支援センターでの交流・相談活動の推進
担当課		子育て支援課
H28	達成状況	☐ (仮称) 子ども総合支援センター整備工事を実施するとともに、備品、消耗品等の購入等、平成29年4月の開所に向けた準備を行った。 ・施設の開所に先立ち、みよし市子育て総合支援センター設置条例、管理規則を制定した。(12月)
H29	達成状況	☐ 子育て総合支援センターの開所 ・総合相談窓口のほか広場等でも、保育コンシェルジュが来館者に声をかけて、不安や悩みがある場合に相談に応じた。 ・親子で参加する工作、わらべうた、手遊び等の行事を開催するとともに、毎日2回絵本の読み聞かせを行った。 ・ファミリー・サポート・センターの入会説明会や講習会を交流室で開催した。
H30	達成状況	☐ みよし市子育て情報ナビ「みよびよ！」を活用し、市の子育て支援サービスの他、行事やイベント等の情報発信を行った。 ☐ ファミリー・サポート・センター交流会を子育て総合支援センター及び地区子育て支援センターで開催し制度のPRと会員の交流を実施。 ☐ 児童育成計画に係るニーズ調査を実施。
R1	達成状況	☐ 児童育成計画(2020～2024)の策定 ☐ ファミリー・サポート・センターによる病児・病後児預かりスタッフ養成講座を開催 ☐ みよし市子育て情報ナビ「みよびよ！」掲載情報や機能の充実
R2	達成状況	☐ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためファミリー・サポート・センターによる病児・病後児預かりスタッフ養成講座及びフォローアップ研修中止 ☐ みよし市子育て情報ナビ「みよびよ！」掲載情報の充実

【成果指標】 子育てに関する相談相手がいる人の割合

(子育てに係る意向調査)

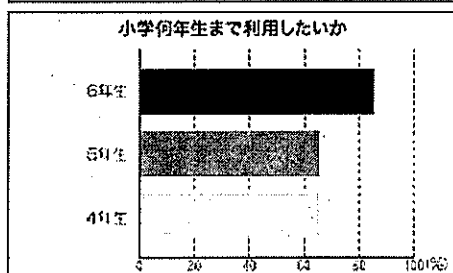
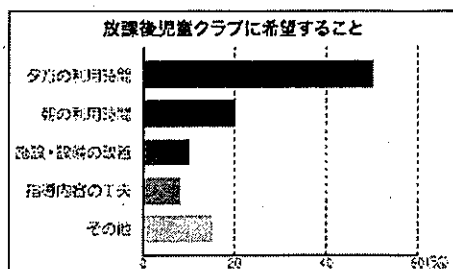
基準年(H25)	H30 アンケート	R2 アンケート	目標(R2)
92.8%	91.3%	実施せず	95%

【進行計画】では H31「ニーズに対応した事業の企画」となっている。子育て総合支援センターで実施している様々な企画がニーズに合っているのかを検証するとともに、企画参加者への聞き取りや、情報コーナー・子育てふれあい広場の利用者数など、実績をもとに多角的に検証することで、総合的に成果指標の数値を判断したい。

※相談窓口の周知を行うとともに、相談に対応する職員の技術力向上に努めます。

作戦②

働きながら子育てをする市民を応援します



(H25みよし市児童会設計画に係るニーズ調査)

現状と課題



現在、本市には、小学生を対象に公立の放課後児童クラブが設置されています。

平成25年度に行ったアンケートでは、開所時間の延長や、小学校6年生までの対象拡大に対する要望が強いことが分かりました。

本市では、市民の要望に応えるため、夏休み期間に6年生までを対象とする試行運用の実施を経て、令和元年度からは、通年で全ての小学生を対象に放課後児童クラブを運営し、働きながら子育てをする市民を応援しています。

**重点
施策**

放課後児童クラブによる子育て支援の拡充

[施策体系I-1-(2)ア P48]

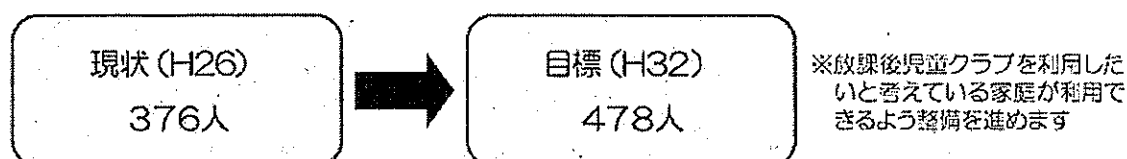
【施策の概要】

共働き家庭の仕事と育児の両立を支援するために、放課後児童クラブの開所時間の延長を進めます。また、全ての放課後児童クラブで6年生までの受け入れを実現するため、各小学校に第2クラブが設置できるスペースの確保を進めます。児童数増が見込まれる天王小学校には、新しく放課後児童クラブ2室を新設します。

【進行計画】

	28	29	30	31	32
新規 放課後児童クラブの利用拡大	開所時間の延長実施	空き教室の放課後児童クラブへの転用を検討	天王放課後児童クラブ新設	全放課後児童クラブで対象を6年生まで拡大	—

【成果指標】放課後児童クラブの利用児童数（子育て支援課調べ）



【進捗状況】

重点施策		放課後児童クラブによる子育て支援の拡充
担当課		子育て支援課
H28	達成状況	☐ 開所時間を、朝・晩それぞれ 30 分ずつ延長し、午前 7 時 30 分から午後 6 時 30 分までとした。 ☐ 北部児童クラブ専用施設を建設し、9 月末に工事が完了、平成 28 年 10 月 10 日（月）に北部小校舎から移転し開所した。
H29	達成状況	☐ 天王児童クラブ建設工事が完了 ☐ 中部児童クラブ建設工事設計業務委託が完了 ☐ 天王、三好丘、緑丘の第 2 教室の開所準備を実施（平成 30 年 4 月開所）
H30	達成状況	☐ 北部に加え、天王、三好丘、緑丘児童クラブの対象学年を 6 年生までに引き上げた。 ☐ 北部、天王、三好丘、緑丘児童クラブの運営業務を委託 ☐ 中部児童クラブの建設工事が完了 ☐ 南部、三吉、黒笹児童クラブの第 2 教室の開設準備を実施 ☐ 放課後児童支援員研修を受講させ、資格認定者の増員を図った。
R1	達成状況	☐ 全クラブ 2 教室化を実施し、対象学年を 6 年生までに引き上げ、利用希望者数に対する定員の充当割合を把握した。 ☐ 全クラブの運営を民間に委託した。 ☐ 三吉児童クラブの建設及び開所した。
R2	達成状況	☐ 夏休み期間中に、利用人数の少ない他クラブへの移送業務を実施した。

【成果指標】放課後児童クラブの利用児童数

（子育て支援課調べ）

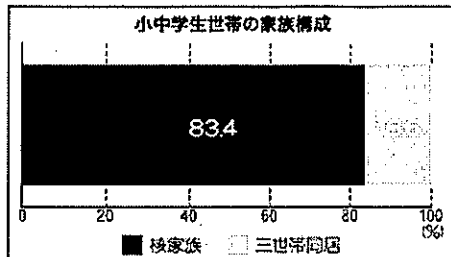
基準年 (H26)	H28	H29	H30	R1	R2	目標 (R2)
376 人	384 人	399 人	455 人	544 人	602 人	478 人

達成

※定員を H29 度 360 人⇒H30 度 480 人（120 人増）⇒令和元年度 640 人（160 人増）と計画的に増やしてきたことで、利用数増につながっている。

作戦③

子育てに役立つ情報をたくさん発信します



(H26みよしの教育に関するアンケート【保護者】)

小学校の6年生の娘がいます。スマートフォンを持たせるには家庭でルールづくりが必要と聞くけれど、どのようなルールをつくれば良いのか、よくわかりません。(行政区ヒアリングより)



現状と課題



本市でも、三世帯同居世帯は減少し、核家族の家庭が増加しています。親しい近親者から気軽に子育てのノウハウを得ることは、昔ほど簡単なことではありません。インターネット社会の中で、家庭教育に関する情報は氾濫していますが、あやふやなものも多く、住んでいる地域に合った正しい情報が市民から求められています。

また、市内各所で開かれる教育に有益な催しや行事も増加しており、簡単に情報を得られる仕組みづくりも必要とされています。



重点
施策

家庭の教育力向上のための啓発活動の推進

【施策体系I-1-(3)ア P48】

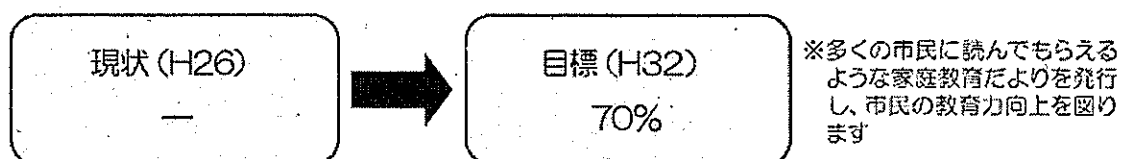
【施策の概要】

みよしの家庭教育に対する指針づくりを進めた後、「広報みよし」と共に、家庭教育だよりを発行します。また、小中学校や児童館、スポーツ施設などで行われるさまざまな教育関連の催しの情報を、教育カレンダーとして一覧配布することで、市民の幅広い参加を促します。

【進行計画】

新規	28	29	30	31	32
家庭教育だより・教育カレンダーの発行	みよし市家庭教育推進指針の作成	市民に伝えたい教育情報の整理・紙面構成検討	家庭教育だよりの発行	教育行事予定集約の仕組みづくり	教育カレンダーの発行

【成果指標】 広報と共に配布する家庭教育だよりを読んでいる保護者の割合
(みよしの教育に関するアンケート【保護者】)



【進捗状況】

重点施策		家庭の教育力向上のための啓発活動の推進
担当課		教育行政課
H28	達成状況	□本市の家庭教育の現状と課題の整理を行い、家庭教育だよりに掲載する内容の検討を進めた。
H29	達成状況	□本市の家庭教育の状況を把握し、家庭教育力の向上に必要とされている事項をリストアップした。 □年度ごとに取組みの柱を設定し、毎号に特集記事を作成することを決定した。平成30年度は、年6回（2ヶ月に1回）「広報みよし」に掲載する。
H30	達成状況	□広報みよしの中に「はぐくみ」ページを確保し、保護者に向けて、日々の子育ての中で家庭教育の向上につながるヒントやポイントを掲載し、年6回（5/1号、7/1号、9/1号、11/1号、1/1号、3/1号）発行した。
R1	達成状況	□広報みよしの中に「はぐくみ」ページを確保し、保護者に向けて、日々の子育ての中で家庭教育の向上につながるヒントやポイントを掲載し、年6回（5/1号、7/1号、9/1号、11/1号、1/1号、3/1号）発行した。
R2	達成状況	□広報みよしの中に「はぐくみ」ページを確保し、保護者に向けて、日々の子育ての中で家庭教育の向上につながるヒントやポイントを掲載し、年6回（5月号、7月号、9月号、11月号、1月号、3月号）発行した。 □教育カレンダー発行の検討 ・教育カレンダーの発行に向けて、学校・地域行事の情報提供方法について、更なる検討を重ね、学校や地域のそれぞれ特色を生かすべく、各学区での地域学校協働活動等で、児童生徒が活発にみよし市内の行事に参加できるよう、魅力的なカレンダーの制作を依頼するための準備を行った。

【成果指標】 広報と共に配布する家庭教育だよりを読んでいる保護者の割合

（みよしの教育に関するアンケート【保護者】）

基準年（H26）	H29 アンケート	R1 アンケート	R2 アンケート	目標（R2）
—	—	41.3%	実施せず	70%

※3年目の発行を終えて、様々な反響があった。今後はホームページでのバックナンバーの掲載や、チラシの作成など、記事についての広報を行い、多くの市民に読んでもらえるよう努めたい。

作戦④

子育てに困っている家庭をたくさんの手で支えます

児童相談所などの行政の諸機関や、医師などの専門家と連携が必要なケースもあります。

今後は、子どもを取り巻く人々がさらに連携していく必要があります。

(学校ヒアリングより)



担任として、不登校の子どもには家庭訪問を繰り返していますが、簡単には改善しません。学校とは違った角度から本人や保護者を応援する仕組みがあると良いのですが…。

(学校ヒアリングより)



現状と課題



子どもを取り巻く環境は複雑化しており、虐待やネグレクト(育児放棄)などの深刻な問題を抱える家庭も増加傾向にあります。また、不登校傾向の子どもも増加しています。その一因として、子どもの発達の問題があることも少なくありません。

このような家庭に対して、各学校はチームを組んで対応していますが、問題の根は深く、解決までに多くの時間を要します。専門的な立場から、家庭を支援したり、学校と家庭とを結び付けたりしながら解決を図っていく人材が求められています。

重点 施策

困難さを抱える家庭に対する個別支援の充実

[施策体系1-1-(3)イ P49]

【施策の概要】

子育てに困っている家庭を支えるために、(仮称)みよし市教育センターを中心とした教育相談体制を強化します。学校や専門的な機関(行政・医療など)と家庭を結び付けたり、家庭教育支援員を配置したりします。家庭教育支援員とは、様々な課題を抱えている家庭の相談にのりながら専門機関による支援体制を確立したりする人材です。

【進行計画】

	28	29	30	31	32
拡充 教育相談体制 の強化	(仮称)みよし市教育センターを中心とした教育相談体制の強化				
	家庭教育支援に関わる 職員の配置(1名)	(仮称)みよし市 教育センター開所		家庭教育支援に関わる 職員の配置(2名)	

【成果指標】教育相談体制の充実 (学校教育課調べ)

現状(H26)

- ・発達に関すること 189件
 - ・不登校に関すること 14件
 - ・学校・家庭生活に関すること 14件
- ※長期の相談待ちなし



目標(H32)

速やかに相談ができ、
不安を軽減できるような
相談体制の整備拡充

※専門相談員との定期相談
ができたり、必要な諸機関
・専門機関と連携ができ
たりする、より良い相談体
制を整備・拡充します

【進捗状況】

重点施策		困難さを抱える家庭に対する個別支援の充実
担当課		学校教育課
H28	達成状況	☐ ハートケア教育主任サポーターを計2名とし、事業の充実を図った。 ・不登校傾向にある児童生徒や家庭の相談にのったり、家庭訪問をしたりすることで家庭教育を支援することができた。(随時) ・適応指導教室の児童生徒のために学習支援をした。(毎日) ・実態把握と児童生徒支援のために学校を訪問した。(週1回程度)
H29	達成状況	☐ 適応指導教室の支援体制や教育センター「学びの森」及び学校での心理相談員による相談活動の充実を図った。 ・市心理相談員及び専門相談員は、のべ663件の相談活動を実施した。 ・関係機関と連携して児童生徒を支援することができた。(随時)
H30	達成状況	☐ 教育センターへの相談事案や不登校生徒の対応について、情報交換会等を実施、学校、家庭、教育センターが連携して対応できた。 ☐ 児童生徒及び保護者へ相談活動についての周知を図るため、年度初めや長期休業前に市内児童生徒及びその家庭へチラシを配布した。
R1	達成状況	☐ 市専門相談員を3名配置できたことで、相談時間数が増えた。 ☐ 随時、学校と専門相談員等、ケースによって各関係者が連絡を取り合い、ケース会議を開催し、連携して対応することができた。 ☐ みよし市の相談機関について、周知のためのチラシを年4回配布できた。
R2	達成状況	☐ 各小学校へ、週に1回6時間のスクールカウンセラーを配置し、発達検査や相談活動を実施することができた。 ☐ 各小中学校のスクールカウンセラー、市専門相談員の相談件数や内容、相談者の内訳等を把握するとともに、みよし市の相談活動全体の成果と課題を把握した。 ☐ 相談機関の周知を図るチラシを、懇談会で保護者へ直接配付し、そのチラシを見た保護者から連絡があり相談へつながることができた。

【成果指標】 教育相談体制の充実(市専門相談員の相談件数)

(学校教育課調べ)

基準年(H26)	H28		H29	H30	R1	R2	目標(R2)
・発達相談 189件	・発達相談 174件	発達・生活相談	339件	126件	270件	539件	速やかに相談ができ、不安を軽減できるような相談体制の整備拡充
・不登校相談 14件	・発達検査 20件	発達検査	14件	43件	10件	15件	
・生活全般相談 14件	・不登校相談 19件	不登校相談	279件	165件	116件	156件	
	・生活全般相談 9件						

※相談件数等は、市専門相談員(臨床心理士)の実績のみ示してあるが、実際には各校に配置しているスクールカウンセラーも多くの相談・検査を実施している。全体像を明らかにして実態を把握したい。

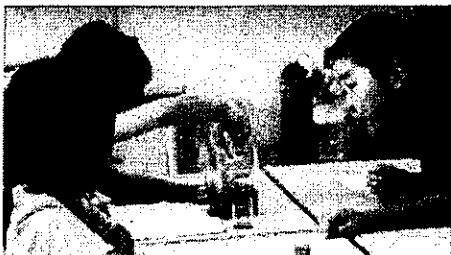
R2 スクールカウンセラー相談件数【参考】

発達・生活相談：1,052件
 発達検査：51件
 不登校相談：156件

達成

作戦⑤

自ら考える力のつく、楽しい授業を増やします



（H27「考えることを楽しみ、学び続ける意の育成」【様式6】）

（前略）そのために必要な力を子供たちに育むためには、「何を教えるか」という知識の質や量の改善はもちろんのこと、「どのように学ぶか」という、学びの質や深まりを重視することが必要であり、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習（いわゆる「アクティブ・ラーニング」）や、そのための指導の方法等を充実させていく必要があります

（平成26年11月20日中央教育審議会への諮問）

現状と課題



現在、本市では、話し合いやペア・グループ活動を取り入れた、学び合いを大切にした授業づくりが各小中学校で実践されています。このような主体的で協働的な学びのスタイルは、未来を生き抜く子どもに最も必要とされているものです。

こうした主体性や協働性を大切にした授業づくりや学校づくりを実現するためには、キャリアステージに応じた系統的な研修を、教職員が積み重ねていくことが必要です。教職員が資質を向上させ、楽しい授業づくりに力を発揮することが強く求められています。

重点 施策

主体的・協働的な学びを生み出すための、教職員の資質向上への取り組み

〔施策体系I-2-（1）ア P50〕

【施策の概要】

（仮称）みよし市教育センターにおいて、キャリアステージに応じた教職員の資質、能力の向上を図る研修を進め、楽しい授業づくりを目指します。

- ・教職員一人一人のキャリアに応じた研修計画を立案します。
- ・研修を通して、「わかる授業」「できる授業」「楽しい授業」づくりを実現します。
- ・生徒指導、学級経営など授業づくり以外にも幅広い研修を行い、教職員の総合的な資質の向上を図ります。

【進行計画】

	28	29	30	31	32
新規 みよし市教員 研修計画の作成	新学習指導要領実施に向けた研修計画の見直しと作成	キャリアステージに応じた教職員の資質向上指針の作成	新学習指導要領に対応した評価基準の作成	→	研修状況の点検と見直し

【成果指標】「毎日の授業に満足している」児童生徒の割合

（みよしの教育に関するアンケート【小5・中2】）

現状（H26）
小学生 80%
中学生 69%



目標（H32）
小学生 85%
中学生 75%

※教職員が指導力を磨き、「わかる授業」「できる授業」「楽しい授業」を行うことで、子ども自身の日々の授業への満足度を向上させます。

【進捗状況】

重点施策		主体的・協働的な学びを生み出すための、教職員の資質向上への取り組み
担当課		学校教育課
H28	達成状況	☐ 新学習指導要領実施に向け取り組みを進めた。 ・学校訪問で、「わかる授業」「できる授業」について指導をした。(各校年1回) ・校内現職研修を中心に「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業づくりを進めた。 ・教職員のキャリアステージに応じた研修計画を立案した。
H29	達成状況	☐ 10月に全校の校長を訪ね、今後の研修の在り方についてヒアリングを行ったところ、研修全体の見直しが必要であることが分かった。そこで、研修を充実させつつ、多忙化を招かない方法を模索し、新たな研修計画を作成した。 ☐ キャリアステージに応じた教職員の資質向上指針については、県のものが示されたところなので、それを活用し、本市の研修全般の見直しを進めている。
H30	達成状況	☐ 市内小中学校で「特別の教科道徳」及び「小学校外国語活動」の授業づくりについての研修会に相互に参加し合った。 ☐ プログラミング学習についての勉強会を市内小学校で行った。 ☐ 市内小中学校で行われた「深い学び」を実現する授業づくりが53回行われ、相互に参加し合った。 ☐ みよし市教職員研修実施体系に基づいた各種研修を実施し、特に、若手の教員に向けた研修の充実を図った。
R1	達成状況	☐ 市内小学校教務主任、市教科領域等指導員による教育課程評価検討会議を開催し、小学校新学習指導要領に対応した評価基準の見直し、今後の評価基準作成の見通しづくりを行った。 ☐ 市内小中学校で講師を招聘した「深い学び」を実現する授業づくりが60回行われ、教員相互に参加し、学び合った。 ☐ 「単元構想づくり」「教育実践の進め方」「朝の会・帰りの会」をテーマとしたみよし市教師塾を開催し、計131名の教員が参加し、学び合った。
R2	達成状況	☐ 初任者研修、教員2・3年目研修はコロナ感染対策を行いつつ、対象者全員の参加による授業参観をし、学びを深めるための手立てについて協議することができた。 ☐ 市内中学校教務主任、市教科領域等指導員による教育課程・評価検討会議では、「指導と評価の一体化を目指して」と題した冊子を作成し、市内教職員に伝達した。 ☐ コロナ感染に伴い、みよし市教師塾は開催できなかった。

【成果指標】「毎日の授業に満足している」「自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」児童生徒の割合

(みよしの教育に関するアンケート・全国学力・学習状況調査)

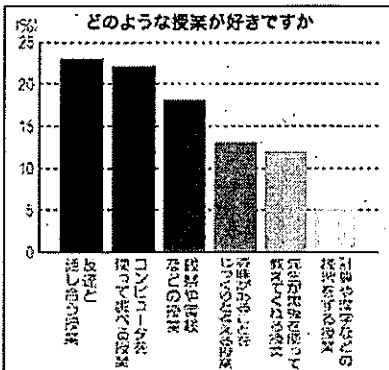
基準年(H26)	H29 アンケート	R1 アンケート	R2 アンケート	R2 目標
小学校 80 % 中学校 69 %	小学校 79 % 中学校 71 %	小学校 76 % 中学校 76 %	実施せず	小学校 85 % 中学校 75 %

達成

※中学校では学び合いの授業の充実により、自分の考えを深めることができたと思う中学生が年々増加している。

作戦⑥

ICT環境を整備し、新たな学びを創造します



(H26みよしの教育に関するアンケート [小学生・中学生])

	国が示す 整備目標 (H29)	みよしの市の 整備状況 (H26)
教育用PC	3.6人/1台	11.6人/1台
電子黒板	1台/1教室	0.35台/1教室

(H27学校教育課調べ)

現状と課題



本市では、コンピュータ教室や電子黒板、インターネット回線などのICT環境整備を進めてきました。各学校でも、それらを活用した学習の仕方を工夫して教育活動を行っています。そのため、コンピュータを活用した授業は、子どもたちの関心も大変高いです。

国は、新学習指導要領でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、ICTを活用した授業が有効であるとして、「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」を示しました。本市でもこの整備目標の水準に近づけ、質の高い学習を進めることが急務とされています。



重点 施策

ICT教育の推進

[施策体系I-2-(2)ア P51]

【施策の概要】

本市では、コンピュータや情報通信ネットワークなどを授業に有効に活用した子どもの思考力・判断力・表現力を育むための授業改善や、情報モラル教育のあり方についての調査研究・実践を積極的に推進します。また、そのために必要となるICT機器に関する環境整備をさらに進めます。

【進行計画】

新規	28	29	30	31	32
ICTを活用した授業づくりへの環境整備	ICTを活用した授業や情報モラル教育についての調査・研究	ICT教育に関する研究委嘱小中各1校	ICT教育に関する推進計画の策定	推進計画に従ったICT環境整備の開始	—

【成果指標】教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数

(学校教育課調べ)

現状 (H26)
11.6人



目標 (H32)
4人

※グループに1台の移動式PCを
導入した授業の実現を目指
します

【進捗状況】

重点施策		I C T教育の推進
担当課		学校教育課
H28	達成状況	☐ 文部科学省事業を活用してICTアドバイザーを招聘し、ICT教育推進に係る具体的なアドバイスを得た。(10月・12月・1月) ☐ タブレット端末を利用した授業研修会を行った。(8月、12月) ☐ 学校教育情報化推進委員会を開催し、今後のICT整備の方向性と、教職員のICTセキュリティ強化についても協議した。(12月)
H29	達成状況	☐ タブレット端末を用いた公開授業を年間5回実施(10月・11月・12月・1月・2月) ・タブレットの効果や課題、改善点を記した授業参観シートの集約 ☐ プログラミング教育に関する研修会の実施(8月) ☐ 学校教育情報化推進委員会を開催し、ICT環境整備計画の方向性と情報セキュリティ実施手順について協議した。(12月) ☐ 実践校によるタブレットの活用事例及びその成果と課題の報告(3月)
H30	達成状況	☐ 平成31年度から5年間のICT機器整備計画を含む学校教育情報化推進計画を策定(3月末) ☐ 教育情報化推進委員会で、本市がめざすICTを活用した学びのスタイルの確立や整備すべきICT機器について協議した。 ☐ 小中学校でプログラミングに関する校内研修が行えるよう、大学から講師を招聘した。 ☐ 小学生がプログラミングの授業を体験できるよう、大学生をメンターとした出前授業を実施。
R1	達成状況	☐ 中部小、三好中、北中、南中に普通教室数の1/2の大型提示装置を配備。 ☐ タブレット端末を中部小に40台、三好中、北中、南中に20台ずつを配備。 ☐ 全小中学校でマイクロビットを活用したプログラミング学習を実施。 ☐ 全小中学校でプログラミングに関する校内教員研修及び大学生をメンターとした出前授業を実施。
R2	達成状況	☐ 市内全ての小中学校の校内無線LAN整備と全児童生徒一人一台の学習用タブレットの配備が完了。令和3年1月より運用開始。 ☐ 市内全ての小中学校の普通教室に大型提示装置を配備。【通常の学級はICTカート(プロジェクタ)、特別支援学級は電子黒板を配備】 ☐ 全小中学校でプログラミングに関する校内教員研修及び大学生をメンターとした出前授業を継続実施。

【成果指標】 普通教室における大型提示装置の設置割合

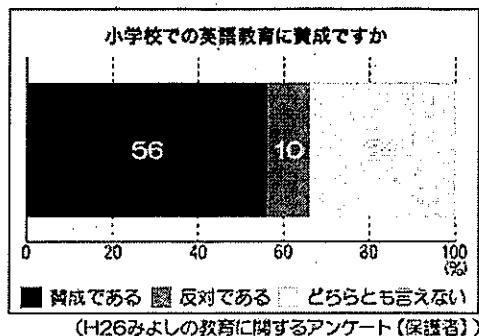
(学校教育課調べ)

基準年(H29)	H30	R1	R2	達成
46.3%	32.1%	45.9%	100%	

※学習用タブレットの導入に合わせ、普通教室全てに大型提示装置を配備することができ、目標を上回って、全普通教室への常設を達成した。

作戦⑦

生きた英語に触れる外国語学習を充実させます



ネイティブの教師を増やす、会話力をつけるための授業をするなど、「生きた英語」のための教育に力を入れてほしいです。
(行政区ヒアリングより)



現状と課題



令和元年度より、小学校では新学習指導要領で定められている授業時数(3, 4年生年間35時間、5, 6年生年間70時間)を先行実施しています。担任とALT(外国語指導助手)もしくは外国語活動対応非常勤講師が協力してすべての授業をTTで行っています。中学校では28時間(年間140時間中)の英語の授業をALTと教科担任が協力して行っています。

また、小学3年生で外国語活動をスムーズにスタートするため、小学1年生で年間2時間、2年生で年間5時間の外国語活動を独自に進めています。今後も、グローバル化した教育が展開されていくため、生きた英語によるコミュニケーション活動のさらなる充実が求められています。

重点 施策

ALT・外国語活動対応非常勤講師による外国語指導の充実

[施策体系I-2-(2)イ P51]

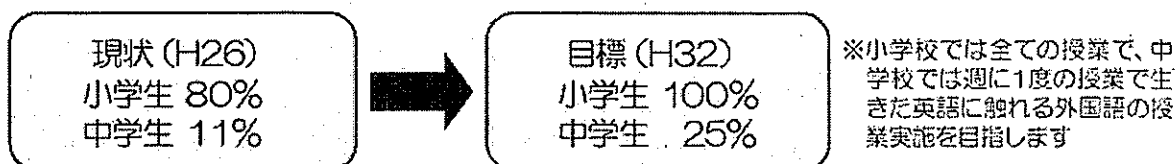
【施策の概要】

小学校では、全ての授業でALT又は、外国語活動対応非常勤講師が学級担任と共に外国語活動の授業を行い、言語や文化について体験的に理解を図りコミュニケーション能力の基礎を養うことを目指します。中学校ではさらに、身近な話題について理解、表現、情報交換ができるコミュニケーション能力を養います。

【進行計画】

拡充	28	29	30	31	32
小中学校への ALT・外国語活動対応 非常勤講師の配置促進	ALT・非常勤講師を活用した授業づくりに関する研究推進	ALT・非常勤講師が参加する小学校高学年の授業100%	ALT・非常勤講師が参加する小学校中学年の授業100%	ALTが参加する中学校の授業20%	ALTが参加する中学校の授業25%

【成果指標】ALT及び外国語活動対応非常勤講師が参加する外国語の授業の割合 (学校教育課調べ)



【進捗状況】

重点施策		ALT・外国語活動対応非常勤講師による外国語指導の充実
担当課		学校教育課
H28	達成状況	☐ ALT・非常勤講師が参加する小学校高学年の授業 80%実施 ☐ 中学校でのALTが参加する授業を全学級年間15時間実施した。 ☐ 英語教育推進リーダーを講師に、外国語活動研修会の実施。(8月)。
H29	達成状況	☐ 英語教育推進リーダーによる伝達講習、及びALTによる実技研修。(8月) ☐ 英語教育推進リーダーによる師範授業公開、及び授業研究会。(2月) ☐ 平成30年度からの外国語活動の授業時数について全小学校で統一。(1月) ☐ ALT・非常勤講師が参加する小学校高学年の授業 100%実施 ☐ 中学校でのALTが参加する授業を全学級年間23時間実施した。
H30	達成状況	☐ 英語教育推進リーダーによる師範授業公開、及び授業研究会を実施。(6月) ☐ ALTを講師としたワークショップ研修を実施(8月) ☐ 小学校における平成31年度の先行実施に向け、コマ数増への対応を検討・統一(12月) ☐ ALT・非常勤講師が参加する小学3年から6年までの授業を100%実施 ☐ 中学校でのALTが参加する授業を全学級年間23時間実施
R1	達成状況	☐ 小学校のほとんどの授業でALT又は非常勤講師が学級担任とTTを実施 ☐ 8月に小・中合同でワークショップ形式の研修会を実施 ☐ イングリッシュキャンプに91名の小学5、6年生が参加 ☐ 中学校においてALTが教科担任と共に行う授業を年間23時間実施
R2	達成状況	☐ 小学校で行うほとんどの授業で、学級担任がALT又は非常勤講師とTTを実施した。 ☐ 評価基準に照らした言語活動及びルーブリックによる評価についてまとめた。 ☐ 中学校において、総授業数の25%をALTと英語科教員がTTで行うことができるようにALTの時間数を配分(年間35時間)した。 ☐ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイングリッシュキャンプは中止した。

【成果指標】 ALT及び外国語活動対応非常勤講師が参加する外国語の授業の割合 (学校教育課調べ)

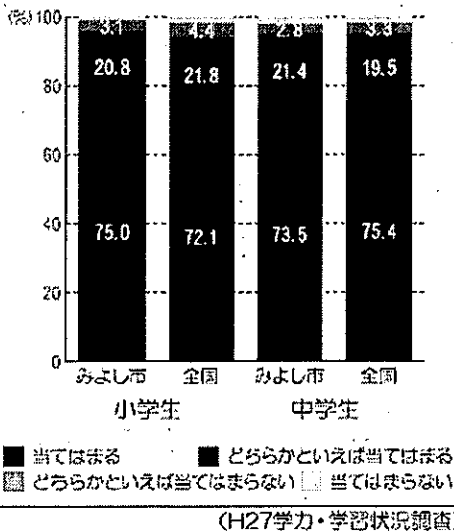
基準年(H26)		H28	H29	H30	R1	R2	目標(R2)
小学校	80%	80%	100%	100%	100%	100%	100%
中学校	11%	11%	15%	16%	20%	25%	25%

※小学校ではALT・非常勤講師が参加する3～6年生の授業を100%実施し、中学校ではALTが参加する授業25%分の時間数を各校に配分することができた。

作戦⑧

子どもの心を育てる教育を大切にします

人の気持ちが分かる人間になりたいと思う



現状と課題

市内の小中学校では、以前より道徳の研究に力を入れてきました。学習指導要領の改訂に伴い、平成30年度からは小学校で、令和元年度からは中学校で「特別の教科 道徳」となり、教科化がスタートしました。

平成27年度に、子どもに「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」と尋ねたところ、9割を超える子どもが、「なりたい」と回答しました。今後も道徳科の授業はじめ学校生活全体を通して、さらに家庭や地域とも連携を図りながら、互いを思いやり認め合ったりすることのできる温かいまちづくりを進めることが求められています。

重点 施策

道徳教育の研究推進

[施策体系I-3-(1)ア P52]

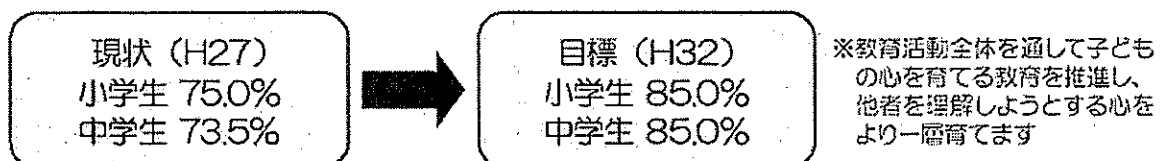
【施策の概要】

「特別の教科 道徳」を中心に、子どもの心を育てる教育を推進するために、みよし市道徳教育推進プランを策定し、家庭・地域と連携しながら、学校教育全体で発達段階に応じた道徳教育を推進します。また、新しく策定される教科書を活用した効果的な指導法や、子ども自身の振り返りに役立つような評価についても研究を進めます。

【進行計画】

新規	28	29	30	31	32
みよし市道徳教育推進プランの作成	人権教育推進地域事業の実施 道徳教育研究校による成果発表			小中学校での教科化実施	実施状況の確認・改善
		教科書を活用した指導法や、評価に関する研究推進	→		

【成果指標】「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査【小6・中3】)



【進捗状況】

重点施策		道徳教育の研究推進
担当課		学校教育課
H28	達成状況	☐ 南中学校が2年間の研究の成果を発表し、市内外に広く道徳教育の進め方を提案した。(10月) ☐ 三好丘中学校区の3小中(三好丘中・三好丘小・黒笹小)が連携して人権教育事業に取り組み、児童生徒・教職員の人権意識を高めた。
H29	達成状況	☐ 市主催による道徳教育推進教師研修会を実施(10月) ☐ 教科化に向けた検討会議を3回実施(8月、10月、12月) ☐ 市主催による新年教育研究大会で道徳に関する講演会を実施(1月) ☐ 三好丘中学校区の3小中学校が連携して人権教育事業に取り組んだ。 ☐ 三吉小学校が道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業を実施し、道徳の授業づくりや評価の在り方について力量向上に取り組んだ。
H30	達成状況	☐ 市主催による教務・校務主任対象に、道徳の評価のあり方に関する研修会を実施(8月) ☐ 市主催による道徳教育推進教師研修会を実施(9月) ☐ 道徳科の資料・書籍代金を助成し、各校で授業づくりや評価の在り方に関する研究・検討を進めた。 ☐ 三好丘中学校区の3小中学校が連携して人権教育推進地域事業に取り組み、新年教育研究大会で成果発表を行った。
R1	達成状況	☐ 児童生徒の実態把握・資料収集を行い、その結果を用いて市道徳教育推進プランを作成した。 ☐ 市主催による道徳推進教師研修会を実施した(11月)。 ☐ 三好丘中学校区3小中学校連携による人権教育推進地域事業に関する取組を精選しつつ、継続的に実施した。
R2	達成状況	☐ 市主催による道徳推進教師研修会を実施した(9月)。 ☐ 各校で道徳科資料・書籍購入費を活用し、授業づくり・評価・年間指導計画作成に生かすことができた。

【成果指標】「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」児童生徒の割合

(全国学力・学習状況調査)

基準年(H27)		H28	H29	H30	R1	R2	目標(R2)
小学校	97.3%	96.7%	96.6%	96.5%	97.0%	実施せず	98.0%
中学校	90.0%	90.9%	93.5%	93.3%	94.3%	実施せず	95.0%

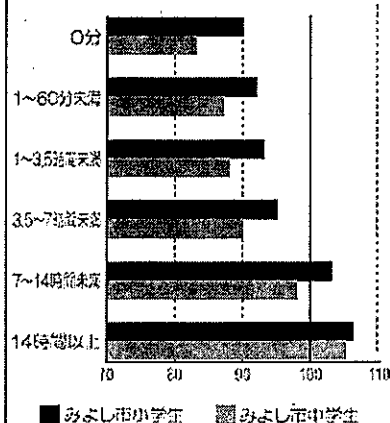
※ 国の全国・学力学習状況調査の質問項目に変更があったため、基準年にさかのぼって成果指標を改めました。

※R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休業の影響で全国学力・学習状況調査は実施されなかったが、引き続き、子どもの心へ届く指導・支援のあり方について研修・実践を重ねていく。

作戦⑨

たくましく健康な子どもを市全体で育てます

1週間の総運動時間と体力テストの結果との関連性(全国平均を100とした時)



(H27 学校教育課調べ)

現状と課題



市内の小中学校では、体育の授業とは別に、運動会や体育祭などの学校行事を通して運動に親しめるようにしたり、子どもが企画するスポーツ大会や休み時間の外遊びを推奨したりして、運動する機会を積極的につくるようにしています。

左のグラフからも分かる通り、1週間の総運動時間が長くなると、体力が高くなる傾向があります。これからのみよしを支える子どもが、生涯にわたり健康でたくましく生きていくために、義務教育段階で運動の必要性や楽しさを伝え、仲間と共に積極的に運動に関われるようにする必要があります。

重点 施策

みよし市体力向上計画の推進

[施策体系I-4-(1)ア P54]

【施策の概要】

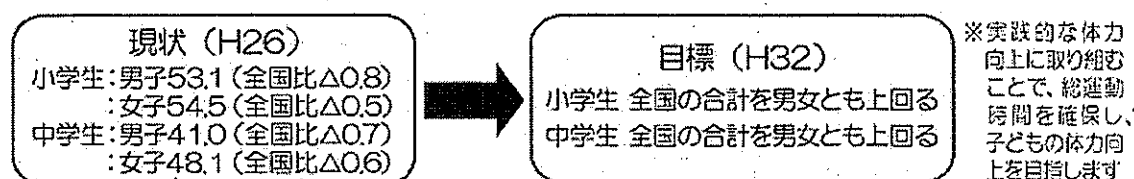
みよし市体力向上計画を作成し、子どもが生涯にわたって運動に親しむ素地づくりに努めます。この計画では、独自の体力向上カードを作成して子どもが自ら運動する環境づくりを進めたり、カリキュラムの研究を行い、発達段階に応じた体づくり運動プログラムを作成したりします。

【進行計画】

	28	29	30	31	32
新規 みよし市体力向上計画の推進	体力向上カードの作成	体力向上カードの見直し	体づくり運動プログラムの作成	体づくり運動プログラムの見直し	—
市体力向上計画の推進					

【成果指標】全国体力・運動能力調査の体力テストの合計点(全国との比較)

(全国体力・運動能力調査)



【進捗状況】

重点施策		みよし市体力向上計画の推進
担当課		学校教育課
H28	達成状況	☐ 体力テストの結果を分析したり、各校から体育や体力向上のためのカードを収集したりした。(10月、12月) ☐ 市内の児童生徒や学校での取組の現状を把握し、体づくり運動の領域に絞って体力向上カードを作成した。 ☐ 子どもの体力向上課題対策プロジェクト検討委員による研修の実施。
H29	達成状況	☐ 各校から、体育科の各領域の学習カードをデータで収集した。現在、学習カードのデータファイルやウォーミングアップドリル案を作成中である。 ☐ 子どもの体力向上プロジェクト検討委員が作成した「体力向上プロジェクト」を市内小中学校へ配付し、活用を促した。体育の授業で活用された。 ☐ 子どもの体力向上のための「小4プロジェクト」講習会に、市内小中学校の教員41名が参加し、「走力」を高めるためのアクティビティを学んだ。
H30	達成状況	☐ 平成29年度に各学校へ配付した「ウォーミングアップドリルや運動遊び集」の見直し及び充実を図り、授業での活用を促した。 ☐ 小学校では、児童会や高学年を中心に大縄跳び大会などを計画し、記録を競い合えるようにした。
R1	達成状況	☐ 「ウォーミングアップドリルや運動遊び集」の器械運動領域について作成し、学校へ配布した。 ☐ 「ウォーミングアップドリルや運動遊び集」の器械運動領域について、実技講習会で活用した。
R2	達成状況	☐ 「ウォーミングアップドリルや運動遊び集」を見直し、学校へ配付した。 ☐ 体育主任者会等を通して、「ウォーミングアップドリルや運動遊び集」の活用促進を図った。

【成果指標】 全国体力・運動能力調査の体力テストの合計点（全国との比較）

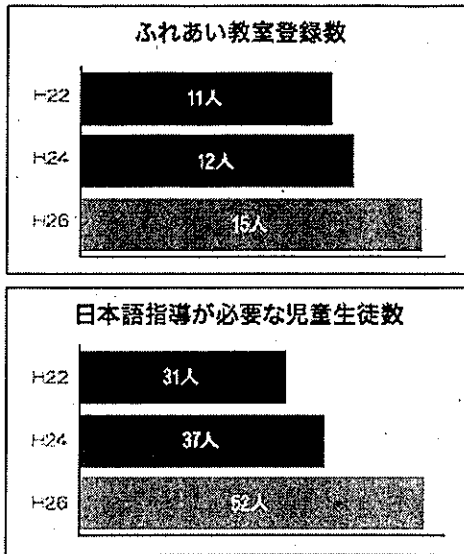
（全国体力・運動能力調査）

基準年(H27)		H28	H29	H30	R1	R2	目標(R2)
小学男子	全国比 $\Delta 0.8$	全国比+1.1	全国比 $\Delta 0.5$	全国比 $\Delta 1.4$	全国比 $\Delta 0.6$	実施せず	小中・男女とも全国を上回る
小学女子	全国比 $\Delta 0.5$	全国比+0.6	全国比 $\Delta 0.3$	全国比 $\Delta 1.2$	全国比 $\Delta 0.5$		
中学男子	全国比 $\Delta 0.7$	全国比 $\Delta 0.9$	全国比 $\Delta 2.7$	全国比 $\Delta 1.6$	全国比 $\Delta 1.2$		
中学女子	全国比 $\Delta 0.6$	全国比 $\Delta 2.7$	全国比 $\Delta 1.8$	全国比 $\Delta 2.2$	全国比 $\Delta 0.9$		

※ウォーミングアップドリルや運動遊びを広めたり、大縄跳びの通信制大会を開催したりするなど、子どもが進んで運動したくなる取組を実施し、子どもの体力向上を目指すとともに、豊かなスポーツライフの実現を目指す。

作戦⑩

個別の支援が必要な子どもを応援します



(H27学校教育課調べ)

現状と課題



現在、**みよし市教育センター学びの森で**支援が必要な子どもとその家庭に対して、専門相談員による「教育相談」や、不登校児童生徒を対象とした「ふれあい教室」の開設などの支援を行っています。その対象となる子どもの数は、年々増えています。また、日本語指導が必要な子どもも、増加傾向にあります。

このような個別の支援を必要としている子どもや家庭のニーズを把握し、一人一人に応じたきめ細やかな支援を行うための体制づくりが求められています。

**重点
施策**

個別支援を要する子どもへのサポート体制の充実

[施策体系I-5-(1)ア P56]

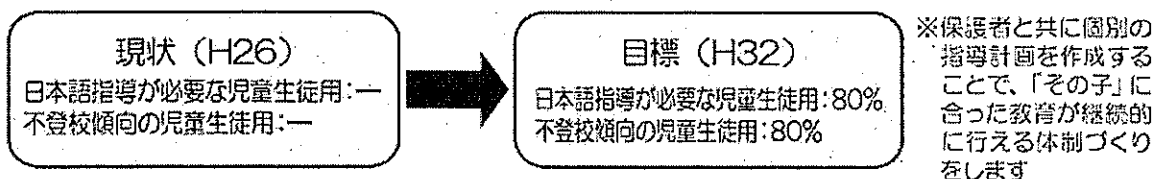
【施策の概要】

現在の教育相談・適応指導教室（ふれあい教室）・日本語初期指導教室を（仮称）みよし市教育センターで引き続き実施し、一人一人をきめ細やかに支援します。また、障がいのある子どもに作成している個別の指導計画を、日本語指導が必要な子どもや不登校傾向の子どもにも広げることで、学校の体制づくりや教員の資質向上を図り、学校やセンターでの支援が適切に行えるようにします。

【進行計画】

拡充	28	29	30	31	32
各種「個別の指導計画」の作成支援	支援体制及び各種「個別の指導計画」の様式の検討	（仮称）みよし市教育センター開所 各種「個別の指導計画」の策定	＜個別支援のための機能＞ ・教育相談・ふれあい教室・日本語初期指導教室 各種「個別の指導計画」による支援及び策の見直し 対象児童生徒の各種「個別の指導計画」の作成・実施		

【成果指標】個別の指導計画の作成割合（市教育支援センターによる調査）



【進捗状況】

重点施策		個別支援を要する子どもへのサポート体制の充実
担当課		学校教育課
H28	達成状況	☐ 日本語指導が必要な子どもや不登校傾向の子どもの支援体制を整え、個別の指導計画の様式を作成した。 ・子どもの在籍校の担当者が初期指導教室の利用状況を参観したり、指導者との情報交換を行ったりして、指導や情報の共有を図った。 ・不登校の未然防止・初期対応を図るため、ハートケア教育サポーターが必要に応じ学校や家庭に巡回指導を行った。
H29	達成状況	☐ いじめ・不登校対策委員会を二度実施し、各機関との連携体制について協議した。 ☐ 必要に応じてケース検討会議を実施し、不登校傾向の児童生徒に対し切れ目のない支援を行うために、指導・支援計画を作成した。 ☐ 日本語指導が必要な子どもの個別の支援・指導計画の様式を作成し、各校で該当児童生徒の個別の支援・指導計画の作成を進めた。
H30	達成状況	☐ 「個別の教育支援計画・指導計画」による支援及び内容の見直しを図った。 ☐ 不登校児童生徒のための児童生徒理解・教育支援シートを作成した。 ☐ ハートケア教育サポーターが不登校児童生徒及びその保護者の支援をした。
R1	達成状況	☐ 不登校児童生徒のための「児童生徒理解・教育支援シート」の作成及び引継ぎを学校訪問で確認。また、「個別の支援・指導計画」の作成・実施・継続的な見直し。 ☐ ハートケア教育サポーター（SSW）が保護者、学校、関係機関をコーディネートし、不登校児童生徒を支援。
R2	達成状況	☐ 「個別の教育支援計画・指導計画」や「児童生徒理解・教育支援シート」の見直しとともに、次年度に引き継ぐ準備をした。また、次年度の計画を本年度中に作成するように働きかけた。 ☐ 初期指導教室を教育センター「学びの森」内（なかよし教室）に加え、三好丘小学校内（おかよし教室）にも設置した。

【成果指標】 個別の指導計画の作成割合

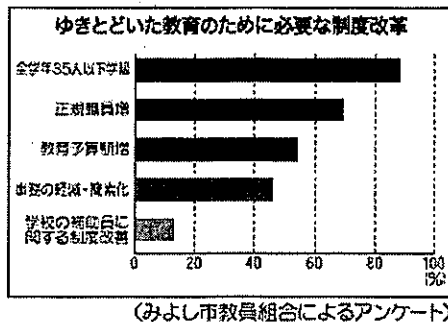
（市教育支援センターによる調査）

基準年 (H26)		H29 調査	H30 調査	R1 調査	R2 調査	目標 (R2)
日本語指導が必要な児童生使用	—%	100%	100%	100%	100%	80%
不登校傾向の児童生使用	—%	100%	100%	100%	100%	80%

※障がいのある子ども、日本語指導を必要とする子ども、不登校傾向の子ども、それぞれに対する個別の教育支援計画・指導計画作成は、100%を維持している。作成した個別の教育支援計画・指導計画を活用し、次年度へ丁寧に引継ぎ、適切な支援に役立てていく。

作戦⑪

一人一人が良さを発揮できる学校づくりをします



少人数学級になって、毎日の生活日記に丁寧に目を通してもらえるようになりました。全学年での早期実現を強く望んでいます。
(行政区ヒアリングより)



現状と課題



少人数学級編制については、国が小学校1年生を、県が小学校2年生、中学校1年生でいわゆる35人学を実施し、本市では、義務教育全ての学年での少人数学級の実現を目指し、平成23年度より小学校3年生で、平成28年度より中学校2年生、平成29年度より中学校3年生に順次拡大をし、平成31年度より残る小学校4年生から6年生まで拡大を図り全ての学年で35人学級を実施しています。

今後は、少人数学級の利点を生かした効果的な指導の研究・検討を行う必要があります。



小中学校少人数学級体制の拡大

[施策体系I-5-(1)イ P56]

【施策の概要】

令和元年度より義務教育全ての学年で35人学級編制による学校運営を実施しています。児童生徒一人一人に対するきめ細かい指導を実施できる少人数学級の利点を生かし、個に応じた適切な指導を行うことができるように、より効果的な指導について研究・実践を実施していきます。

【進行計画】

拡充	28	29	30	31	32
全学年での少人数学級体制の実現	中2追加実施	中3追加実施	→	全学年実施	少人数学級の利点を生かした効果的な指導の研究・検討

【成果指標】35人以下学級を実施している学年(学校教育課による調査)

現状 (H26)
小学生 1・2・3年
中学生 1年



目標 (H32)
全学年実施

※ 少人数でのより効果的な指導について研究・実践します

【進捗状況】

重点施策		小中学校少人数学級体制の拡大
担当課		学校教育課
H28	達成状況	☐ 中学校2年生での35人学級を実現させたことで、三好丘中学校が、38人学級×6クラス⇒32(33)人学級×7クラスになった。学級規模が小さくなったことで、担任の先生は一人一人に目が届き、きめの細かい指導が可能になった。
H29	達成状況	☐ 中3での35人学級を実現させたことで、三好丘中学校の3年生が、38・39人学級×6クラス⇒33人学級×7クラスになった。学級規模が小さくなったことで、担任の先生は一人一人に目が届き、きめの細かい指導が可能になった。 ☐ 新しい学習指導要領のキーワードとなる「主体的・対話的で、深い学び」の実現を目指し、少人数の良さを生かしながら実践を重ねている。
H30	達成状況	☐ 一人一人に目が届き、きめの細かい指導が実施できている。 ☐ 小学校4、5、6年生への少人数学級編制実現に向けた教職員の確保と教育環境整備への目途が立ったことから少人数学級編制の拡大を図るために必要な予算計上を行った。
R1	達成状況	☐ 市による35人学級編制の状況 小学校3年生 中部小、北部小 小学校4年生 三好丘小 小学校6年生 北部小、三好丘小、緑丘小 中学校2年生 三好中、北中、南中 中学校3年生 北中
R2	達成状況	☐ 市内小中学校全学年が35人以下の学級であることを生かし、新型コロナウイルス感染防止対策に取り組んだ。教科によって2学級を3学級に分けて授業を行ったり、広い特別教室を通常の教室として転用したり、教室と廊下を分けるパーティションを取り外したりして感染防止対策に取り組んだ。 ☐ 35人学級の利点を生かし、個に応じたきめ細かな支援に取り組んだ。

【成果指標】 35人以下学級を実施している学年

(学校教育課による調査)

基準年(H26)		H28	H29	H30	R1	R2	目標(R2)
小学校	1, 2, 3年	1, 2, 3年	1, 2, 3年	1, 2, 3年	1, 2, 3, 4, 5, 6年	1, 2, 3, 4, 5, 6年	1, 2, 3, 4年
中学校	1年	1, 2年	1, 2, 3年	1, 2, 3年	1, 2, 3年	1, 2, 3年	1, 2年

※当初目標を達成したため、35人学級による利点を生かし、新型コロナウイルス感染防止対策に取り組むとともに、個に応じたきめ細かな支援を継続していく。

作戦⑫

安心・安全・快適な学校環境づくりを進めます



市内各校の校舎の建設・改修の状況

中 部 小	昭和62年建設
北 部 小	平成14～17年改修
南 部 小	平成元年改修
天 王 小	平成25～27年改修
三 吉 小	昭和55年建設
三 好 丘 小	平成元年建設
緑 丘 小	平成8年建設
黒 笹 小	平成19年建設
三 好 中	平成20～24年改修
北 中	昭和56年建設
南 中	昭和58年建設
三 好 丘 中	平成18年建設

現状と課題



みよし市の小中学校の建物は、全て耐震化の対策が済んでおり、万が一、大きな地震が起こっても対応できるようになっています。

しかし、学校によっては築後30～40年の校舎もあるため、床の傷みや設備の老朽化などの課題があります。

そこで、みよし市では、平成14年度の北部小学校をスタートに、順次校舎の改修を進めています。子どもが、安心・安全で快適な学校でのびのびと生活ができるよう、学校施設の改修が求められています。



重点 施策

大規模改修による学校施設の整備

【施策体系I-6-(2)ア P60】

【施策の概要】

老朽化した小中学校の校舎の大規模改修や、体育館照明のLED化を順次進めていきます。時代に合った設備に刷新すると共に、バリアフリー化や省エネルギー化も進めます。また、内装材には木製品を多く使うようにするなど、子どもが温もりを感じられる学校環境の整備を推進していきます。

【進行計画】

	28	29	30	31	32
拡充 小中学校の施設 の計画的な改修	・北中学校大規模改修 ・体育館照明LED化 (5校完了)		→	三吉小学校大規模改修	→

【成果指標】「学校施設が安心・安全・快適である」児童生徒の割合

(みよしの教育に関するアンケート【小5・中2】)

現状 (H26)
小学生 84%
中学生 70%



目標 (H32)
小学生 87%
中学生 75%

※子どもが安心・安全・快適な学校環境だと感じられるよう、きめ細かな改修とともに、大規模改修を推し進めます

【進捗状況】

重点施策		大規模改修による学校施設の整備
担当課		教育行政課
H28	達成状況	☐ 夏季休業期間を中心に6月から1月末までかけて南舎（管理棟）・武道場の大規模改修を実施し、老朽化した施設の長寿命化とトイレのドライ化、洋式化を進めることができた。 ☐ 学校現場の要望も踏まえ、平成29年度に実施する2期工事（北舎：普通教室棟・技術課室棟・体育館）の設計を行うことができた。
H29	達成状況	☐ 北中学校大規模改修2期工事（北舎：普通教室棟・技術科室棟・体育館）の契約を5月に交わし、1月末までに工事を実施した。 ☐ 北中学校大規模改修3期工事实施設計（プール・外構）の業務委託の契約を5月に交わし、1月末までに設計を行った。
H30	達成状況	☐ 北中学校大規模改修3期工事（プール・外構）の契約を6月に交わし、1月末までに工事を実施した。 ☐ 三吉小学校大規模改修1期工事实施設計業務委託（体育館・プール・外構）の業務委託の契約を4月に交わし、2月下旬に設計完了予定。
R1	達成状況	☐ 三吉小学校大規模改修1期工事（体育館・プール・外構）の契約を7月に交わし、3月下旬に工事完了予定。 ☐ 三吉小学校大規模改修2期工事实施設計（南舎：管理棟）の業務委託の契約を4月に交わし、2月に設計を完了した。
R2	達成状況	☐ 三吉小学校増築工事实施設計（南舎：管理棟増築）の業務委託の契約を6月に交わし、3月に設計完了した。

【成果指標】「学校施設が安心・安全・快適である」児童生徒の割合

（みよしの教育に関するアンケート【小学生・中学生】）

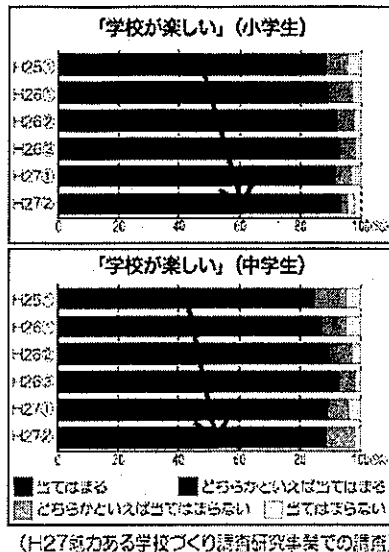
基準年 (H26)	H29 アンケート	R1 アンケート	R2 アンケート	目標 (R2)
小学生 84 % 中学生 70 %	小学生 84 % 中学生 81 %	小学生 88 % 中学生 84 %	実施せず	小学生 87 % 中学生 75 %

達成

※北中学校、三吉小学校と大規模改修が計画的に進んだことで、児童生徒の満足度が年々増加している。今後も安心・安全・快適な学校施設づくりに取り組んでいきたい。

作戦⑬

12校が「チームみよし」となりパワーアップします



現状と課題



みよし市では平成26・27年度に実施した「魅力ある学校づくり調査研究事業」を基に、平成28年度からは三好丘中学校区(三好丘中、三好丘小、黒笹小)で3年間「人権教育総合推進地域事業」に取り組みました。自他の一人一人を大切にする心を育もうと学校、家庭、地域社会が一体となって活動しました。

これらの取り組みから、学校間の連携した指導が教職員の力量向上や楽しい学校づくり、新たな不登校の子どもを出さないことに対して、大変効果的であることがわかりました。これらの取り組みを市内全学校に広げ、学校が楽しいと思う子どもを増やすことが期待されます。



重点 施策

12校の連携強化による教職員の資質向上

[施策体系I-6-(3)ア P62]

【施策の概要】

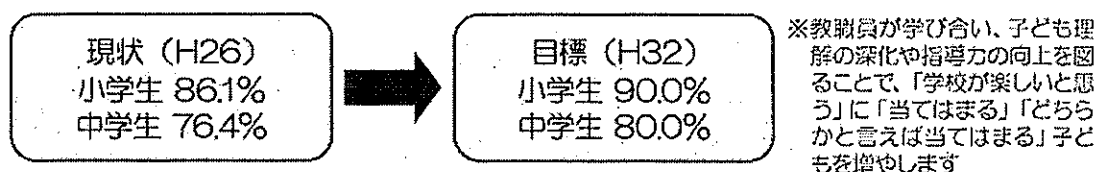
まずは、中学校区を中心に小・小中学校間が連携をすることで、発達段階に応じた連続した指導ができるようになったり、教職員自身の学び合いによる資質向上を目指したりします。教職員同士が学び合い、全12校の学校同士がつながることで、子ども理解の深化や指導力の向上を図り、学校が楽しいと思う子どもを増やします。

【進行計画】

新規	28	29	30	31	32
「チームみよし」を合言葉とした学校間連携の強化	各中学校区での連携の強化	→	校務支援システム内に教育情報を集約し、連携を強化	→	12校での連携の強化

【成果指標】「学校に行くのは楽しい」児童生徒の割合

(全国学力・学習状況調査【小6・中3】)



【進捗状況】

重点施策		12校の連携強化による教職員の資質向上
担当課		学校教育課
H28	達成状況	☐ 三好丘中学校区では、中学校区の3校が連携し、人権教育に総合的に取り組んだ。小中学生が一緒にあいさつ運動に取り組んだり、人権啓発標語の書かれたのぼりを作成して地域にもPR活動をしたりした。 ☐ 校務支援システムを活用して、自校で行われる研究授業を他校に紹介し、参観者を募るなど、学校間の連携が進んだ。 ☐ 三好中学区での連携が継続し、南中学校区でも取り組みが始まった。
H29	達成状況	☐ 三好中学校区による連携を継続し、強化を進めた。 ☐ 三好丘中学校区で、小中合同あいさつ運動や部活動交流会など、小中連携活動を充実させた。 ☐ 市教育センターを開設に伴い、各校の研究物や文部科学省が作成した資料をライブラリに整理した。
H30	達成状況	☐ 各校の実践や研究資産を市内小中学校で共有 ・各中学校区の連携が養護部会、生徒指導部会等で推進された。 ・校務支援システムで各校の授業実践についての資料を共有した。 ☐ 市教育センターライブラリに収蔵されている資料のリストを作成し、校務支援システムにより教職員に周知。(年度末)
R1	達成状況	☐ 校務支援システムによる、各校の授業実践、講師招聘現職研修計画の全教員への周知を行った。 ☐ 市内学校で活躍する先生を講師として、みよし市教師塾の企画、運営を行った。
R2	達成状況	☐ 教科領域等指導訪問や各校現職研修の授業実践記録を【みよし市 File share】に保存し、いつでも資料を検索できる環境をつくった。また、File shareに保存された実践を基に、市教育課程及び評価検討会議では「指導と評価の一体化を目指して」を作成し、評価の在り方を考えるデータとしても活用を促すことができた。 ☐ 市小中学校保健事業部会では、レジリエンスと生活習慣の相関関係について調べ、これまでの指導・支援を継続して取り組む重要性を市内全教職員に周知した。

【成果指標】「先生は、自分のよいところを認めてくれている」という児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査)

基準年(H30)	R1	R2	目標(R2)
小 85.7% 中 78.8%	小 86.5% 中 84.2%	実施せず	小 90.0% 中 80.0%

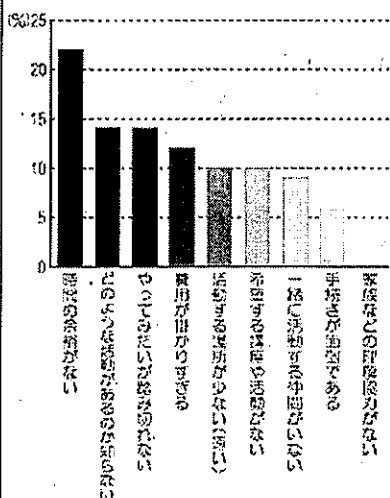
※全国学力・学習状況調査の質問紙調査の項目が変更されたため、基準年をH30として成果指標を改めました。

※R2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休業の影響で全国学力・学習状況調査は実施されなかった。今後も100%を目指して、子ども理解を深める努力を続けていく。

作戦⑭

サンライブでいろいろなことが学べるようにします

生涯学習をしたいと考えた時に問題となること



(H26みよしの教育に関するアンケート【市民】)

現状と課題



みよし市では、市民一人一人が、生涯を通じて生きがいをもって学ぶことのできる場や機会を充実させるために、図書館学習交流プラザ「サンライブ」を拠点に、幅広い分野にわたる生涯学習講座を開催しています。

人生100年時代を迎え、最新の社会情勢と市民のニーズに即した生涯学習事業を展開していくため、多様な生涯学習講座の開催を通じ、誰もがいつでも学べる環境づくりの推進が求められています。

そのため、講座の開催時間や講座の対象者に柔軟性をもたせるなど、生涯学習機会の提供方法等の検討を進める必要があります。

重点 施策

サンライブの生涯学習拠点化の推進

【施策体系Ⅱ-1-(1)ア P66】

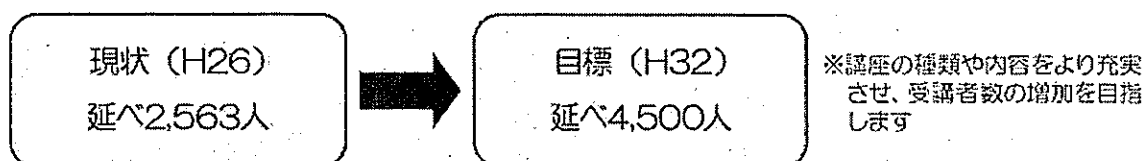
【施策の概要】

平成28年度にオープンするサンライブでは、夜間や土曜日・日曜日などの講座の開催も可能となります。年齢や性別に関わらず、学習意欲のある人々が、自分にあった講座に参加できるよう、生涯学習情報を市民に広く伝え、市民の生涯学習を活性化していきます。

【進行計画】

	28	29	30	31	32
新規 生涯学習講座の 充実	サンライブでの 生涯学習講座 の開始	夜間講座の 充実	土曜日・日曜日 の講座の充実	講座体系の 見直し	新たな体系に よる運営

【成果指標】生涯学習講座を受講した人の数（生涯学習課調べ）



【進捗状況】

重点施策		サンライズの生涯学習拠点化の推進
担当課		生涯学習推進課
H28	達成状況	☐ 7月2日に図書館学習交流プラザ「サンライズ」を開館し、生涯学習講座をサマースクールから開講した。 ・年間の講座としては、春夏講座22講座・サマースクール11講座・秋冬講座59講座・新春講座55講座を開講し、2,309人が受講した。
H29	達成状況	☐ 生涯学習講座を、公開講座2講座、生活創造講座84講座、国際理解講座37講座、情報・通信講座60講座、合計183講座を開催した。 ☐ 夜間や土曜日に43講座を開催し、生涯学習機会を増やし、勤労者の生涯学習を支援した。
H30	達成状況	☐ 生涯学習講座を、公開講座2講座、生活創造講座を77講座、国際理解講座を39講座、情報・通信講座72講座、合計190講座を開催する。 ☐ 夜間や土曜日に45講座を開催し、生涯学習機会を増やし、勤労者の生涯学習を支援する。
R1	達成状況	☐ 生涯学習講座を、大学との連携2講座、生活創造74講座、国際理解62講座、情報通信64講座、年間202講座企画し、2,334人の方が受講した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、その内8講座について中止とした。 ☐ 生涯学習講座の運営方法について、管理運営検討委員会で審議し、今後も直営という現状の体制で企画運営することを決定した。
R2	達成状況	☐ 生涯学習講座の開催方法を工夫し、大学との連携2講座、生活創造53講座、国際理解51講座、情報通信51講座、年間157講座企画し、538人の方が受講した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、その内74講座について中止とした。 ☐ 夜間や土曜日に4講座を開催し、生涯学習機会を増やし、勤労者の生涯学習を支援した。

【成果指標】 生涯学習講座を受講した人の数

(生涯学習推進課調べ)

基準年 (H26)	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R2)
延べ 2,563人	延べ 2,450人	延べ 2,328人	延べ 2,193人	延べ 2,334人	延べ 538人	延べ 4,500人

※令和3年度は、リピーター以外に新規で多くの方に生涯学習講座を受講していただけるよう、魅力ある講座の企画運営に取り組んでいきたい。

作戦⑮

市民が発信する生涯学習活動を応援します

平成27年度 市内で活動する生涯学習活動登録団体

- ・渡辺民謡会
- ・演劇グループ遊
- ・西川流百花の会
- ・愛友クラブ
- ・みよし大正琴クラブ
- ・たまゆら
- ・居合道クラブ
- ・榮孟孫式太極拳研究会
- ・三好健康太極拳
- ・筑紫丸和会
- ・和太鼓龍桜流 三燦
- ・みよし子ども音楽セミナー「音遊合唱団」
- ・天辰神容流剣詩舞会
- ・天辰神容流岡崎神容館みよし詩吟部
- ・和太鼓龍桜流 喜乃鼓
- ・みよし塚本写真塾
- ・バッチワークサークル

現状と課題



みよし市では、生涯学習講座などで出会った市民が、気の合う仲間と共に自主的に活動する生涯学習活動団体を作り、スポーツから伝統工芸まで幅広い分野で活動を展開しています。

これらの団体が成果を発表できる場を準備したり、継続して活動できるよう支援をしたり、団体を作りたいと思っている人たちを応援したりすることで、市民が発信する生涯学習活動を活性化することが求められています。

重点 施策

地域や自主的サークルによる生涯学習の推進

[施策体系Ⅱ-1-(1)イ P66]

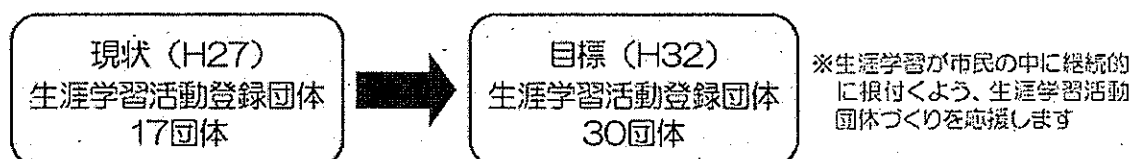
【施策の概要】

生涯学習団体が継続して活動できるよう支援をしたり、生涯学習を積極的に推進する地区や新たに団体活動を始め市民の自主的サークルを助成したりします。また、それらの団体が学習成果を発表できる機会をつくったり、団体の活動を市民に広く伝えたりすることで、市民主体の生涯学習活動を活性化します。

【進行計画】

	28	29	30	31	32
新規 生涯学習活動団体への支援	生涯学習活動団体への助成	→	学習成果の発表方法の充実	生涯学習活動団体の広報	→

【成果指標】生涯学習活動を行っている団体の数（生涯学習課調べ）



【進捗状況】

重点施策		地域や自主的サークルによる生涯学習の推進
担当課		生涯学習推進課
H28	達成状況	☐ 生涯学習活動団体として7団体へ助成し、各団体特色ある講座を開講した。 ☐ 生涯学習発表会を3月4日(土)、5日(日)に開催し、472人が参加した。
H29	達成状況	☐ 生涯学習活動団体として7団体へ助成し、各団体特色ある講座を開講した。 ☐ 生涯学習発表会を3月2日(土)、3日(日)に開催する予定である。
H30	達成状況	☐ 生涯学習活動団体として5団体へ助成し、各団体特色ある講座を開講した。 ☐ 前年度の開催場所を見直し、生涯学習発表会を2月23日(土)から3月3日(日)まで開催する。
R1	達成状況	☐ 平成31年度から補助事業の見直しを行い、地区文化活動と生涯学習活動について一本化した。生涯学習活動団体として5団体、地区文化祭等行政区に対しては、15行政区に補助金を交付した。 ☐ 生涯学習発表会の展示発表は予定通り開催できたが、芸能発表は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。
R2	達成状況	☐ 地区文化祭等行政区に対して、3行政区に補助金を交付した。生涯学習活動団体からの申請はなかった。 ☐ 生涯学習発表会の展示発表は予定通り開催できたが、芸能発表は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

【成果指標】生涯学習活動を行っている団体の数

(生涯学習推進課調べ)

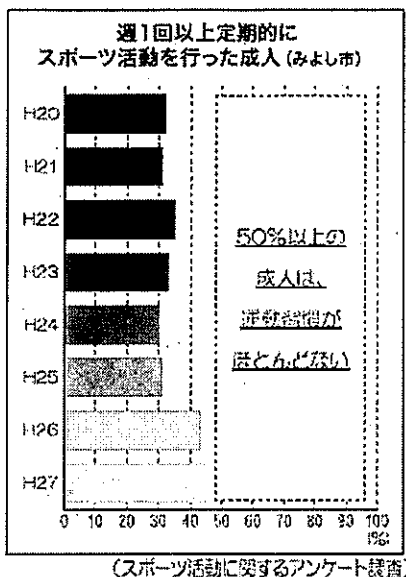
基準年(H26)	H28	H29	H30	R1	目標(R2)
生涯学習活動登録団体数 17	生涯学習活動登録団体数 14	生涯学習活動登録団体数 15	生涯学習活動登録団体数 16	生涯学習活動登録団体数 18	生涯学習活動登録団体数 30

※生涯学習活動登録団体数については、従来は生涯学習活動団体登録申請数のみで計上していたが、生涯学習センタークラブ登録申請書に「生涯学習活動団体に登録をするか否か」の項目があり「する」にチェックした団体は、本来登録団体数に含める必要があるため、基準年のH26にさかのぼって次のように改めた。

基準年(H26)	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R2)
生涯学習活動登録団体数	46 団体	56 団体	64 団体	64 団体	59 団体	70 団体

作戦⑩

市民がいろいろなスポーツに親しめるようにします



現状と課題



全国的に、子どもの体力は低下傾向にあり、スポーツを行う子どもと、行わない子どもは二極化の傾向にあります。

これは本市の大人にもいえることであり、ランニングやチームスポーツに日頃から親しむ市民がいる一方、運動習慣のほとんどない成人も50%以上います。

みよし市では、地域全体でスポーツに親しむ環境を整備し、みんなで心身の健康を高めていくことが求められています。市民が生涯にわたり健康な暮らしを送るため生涯スポーツ推進の必要性が高まっています。

重点 施策

総合型地域スポーツクラブの育成

〔施策体系Ⅱ-2-(1)ア P67〕

【施策の概要】

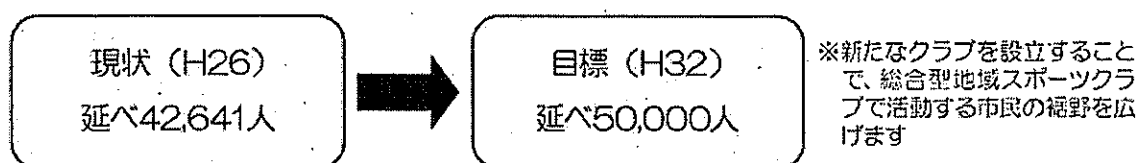
スポーツ推進計画「みんなでスポーツ いいじゃんみよし」に基づき、スポーツ活動の支援や、スポーツを通じたコミュニティづくりを行っています。総合型地域スポーツクラブに関しては、現在、「なかよしクラブ」と「三好さんさんスポーツクラブ」の二つのクラブが活動しています。今後は、きたよし地区での新たなクラブ設立と活動を支援し、市民がスポーツに親しむ機会を増やしていきます。

【進行計画】

新規	28	29	30	31	32
総合型地域スポーツクラブの支援と環境整備	きたよし地区スポーツクラブの設立	小中学校とスポーツクラブの連携強化	クラブマネージャーなどの資格取得に対する支援	活動拠点となる小中学校の屋外照明設備の設置	小中学校の部活動の支援

【成果指標】総合型地域スポーツクラブで活動した人の数

(スポーツ行政概要)



【進捗状況】

重点施策		総合型地域スポーツクラブの育成
担当課		スポーツ課
H28	達成状況	☐ 6月18日総会開催三好ともいきスポーツクラブを設立した。 ・第4回設立準備会を開催。平成27年度事業報告・収支決算及び平成28年度事業計画・収支予算を承認した。 ・第5回設立準備会を開催。準備会規約の廃止を承認、準備会を解散した。
H29	達成状況	☐ 中学校部活動支援として、なかよしクラブではソフトテニス、三好さんさんスポーツクラブではバレーボールをそれぞれ受け入れた。 ☐ 市内3 総合型地域スポーツクラブに対して、それぞれ運営補助金を交付。またあわせて、三好さんさんスポーツクラブにはクラブハウス整備費補助金を交付し、クラブの円滑な運営を支援した。
H30	達成状況	☐ みよしレクリエーション・スポーツフェスタ2018において、市内3 総合型地域スポーツクラブによるニュースポーツ等のデモンストラーション及び事業PRを実施した。
R1	達成状況	☐ スポーツクラブへの聞き取りを実施。現状では屋外照明設備のある施設は充足しているとの意見であった。
R2	達成状況	☐ 学校部活動の在り方の今後の変化を見据え、総合型地域スポーツクラブ等がどのような形で学校部活動に支援(関与)できるか、引き続き検討する。

【成果指標】 総合型地域スポーツクラブで活動した人の数

(スポーツ行政概要)

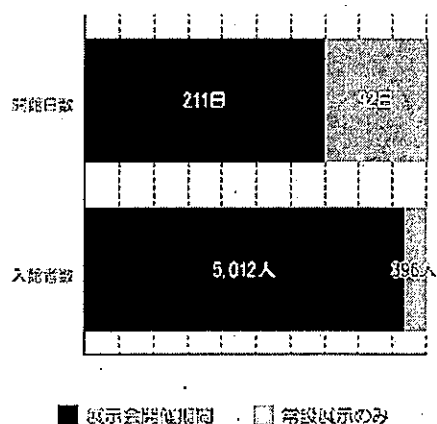
基準年(H26)	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R2)
42,641 人	51,003 人	51,815 人	55,153 人	53,187 人	25,159 人	50,000 人

※R2年度は、新型コロナウイルスの影響により、活動を縮小したことによる減。

作戦⑰

みよしの歴史や文化を広く市民に発信します

歴史民俗資料館入館者数



(H26歴史民俗資料館調べ)

現状と課題



歴史民俗資料館では、常設展示をリニューアルしたことで、猿投古窯関係の展示がいつでも見学できるようになりました。また、民具については、季節により一部入れ替えを行って展示し、常設展に変化をつけています。

入館者数は、リニューアル後は微増していますが、依然伸び悩んでいる状況です。

このため、今後も本市の歴史や文化を広く発信していく必要があります。

重点 施策

歴史民俗資料館展示資料の充実

[施策体系Ⅱ-3-(1)ア P70]

【施策の概要】

歴史民俗資料館の常設展示をリニューアルし、猿投古窯関係の展示を、開館時にいつでも見学できるようにします。民具についても展示物を更新し、歴史の移り変わりなど、みよしの歴史や文化を学習できるようにします。また、企画展・特別展についても郷土の偉人・文化・民俗・考古などさまざまなテーマで充実していきます。

【進行計画】

新規	28	29	30	31	32
歴史民俗資料館 常設展示の更新	展示室 リニューアル 工事	展示室 リニューアル オープン	→	市制施行10周年 記念事業準備	市制施行10周年 記念事業

【成果指標】みよし市の歴史に関心のある市民の割合

(みよしの教育に関するアンケート【市民】)

現状 (H26)
有数の陶器産地であった
ことを知っている27%



目標 (H32)
有数の陶器産地であった
ことを知っている60%

※展示のリニューアルなどで資料館に訪れる人を増やし、市民の歴史に対する関心を高めます

【進捗状況】

重点施策		歴史民俗資料館展示資料の充実
担当課		資料館
H28	達成状況	☐ 2階展示室を改修し、ひな人形展を開催。常設展示室をリニューアル。 ☐ リニューアルオープンチラシ・パンフレットの作成 ☐ 古窯を理解してもらうため出張授業の説明（2校で開催）
H29	達成状況	☐ 企画展（「みよし最後のやきもの」、「昆虫展」、「ひな人形展」）並びに特別展「伊勢門水展」を開催した。 ☐ 石川家住宅で「夏まつり」「町なかアートギャラリー」を開催。3月「クイズラリー」を開催予定。 ☐ 資料館のリニューアルを記念して、古窯に関する講演会並びに「手回しロクロ」・「大甕」・「灰釉陶器」以上3種類の陶器づくりの講座を開催した。
H30	達成状況	☐ 企画展3回（猿投古窯×陶芸、色から見たみよしのやきもの、ひな人形展）、特別展1回（のぞいてみよう世界の民俗仮面）を開催した。 ☐ 常設展示で新たに「むかしの食卓」に関連した展示を計画し実施した。 ☐ 夏季に土器作りと石器作り体験講座を各2回開催した。 ☐ 夏季に土器型クッキー（ドッキー）作りの体験イベントを開催した。 ☐ 市指定文化財の黒笹27号窯や、福谷城跡・石川家住宅などを回る文化財めぐりを実施。
R1	達成状況	☐ 市制施行10周年記念事業の計画を作成し、準備を整えた。 ☐ 企画展3回（発掘調査成果展、東海の化石から探る いきものの4億年、ひな人形展）、特別展1回（太古のロマンを求めて 稲垣輝行氏石器コレクション展）を開催した。 ☐ 夏季に土器作りと石器作りの体験講座を各2回開催した。 ☐ 夏季に土器型クッキー（ドッキー）作りの体験イベントを開催した。 ☐ 灰釉陶器づくり体験講座を夏季、秋季、冬季に開催した。 ☐ 黒笹27号窯、福谷城跡、石川家住宅等を回る文化財めぐりを実施した。 ☐ 石川家住宅で「夏まつり」「町なかアートギャラリー」を開催した。
R2	達成状況	☐ 市制施行10周年記念として企画展「市指定文化財 黒笹90号窯跡展」、特別展「下り松瓦窯と西三河の古代瓦」を、その他に企画展「ひな人形」をそれぞれ開催した。 ☐ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため歴史スタンプラリー及び土器づくり等体験講座中止した。 ☐ 黒笹27号窯、福谷城跡、石川家住宅等を回る文化財めぐりを実施した。 ☐ 灰釉陶器づくり体験講座を7月と9月に開催した。

【成果指標】 みよしの歴史に関心のある市民の割合

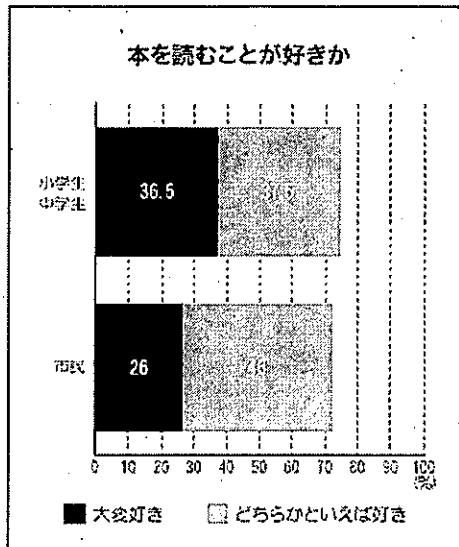
（みよしの教育に関するアンケート【市民】）

基準年（H26）	H29 アンケート	R1 アンケート	R2 アンケート	目標（R2）
有数の陶器産地であったことを知っている 27%	有数の陶器産地であったことを知っている 33%	有数の陶器産地であったことを知っている 32%	実施せず	有数の陶器産地であったことを知っている 60%

※体験講座や各種イベントに参加する市民が増えてきているが、成果に結びついていない。より趣向を凝らしたPRを継続的にを行い歴史への興味を喚起していく。

作戦⑮

読書好きな市民が増えるような環境づくりをします



(H26みよしの教育に関するアンケート【小学生・市民】)

現状と課題



平成28年7月にサンライブに新しい図書館ができました。蔵書能力は32万冊あり、子どもからお年寄りまで誰でも利用できる施設です。

1階に生活に関する一般図書を配架し、新たにティーンズコーナー、おはなしの部屋を設置し、定期的におはなし会も開催するなど魅力的な図書館となっています。

しかし、令和元年度のアンケート調査では、平成29年度の「本が好き」と答えた割合を上回ったものの、今後いかに目標値に近づけるかが課題です。

重点施策 サンライブでの充実した図書館サービスの推進

[施策体系Ⅱ-3-(2)ア P72]

【施策の概要】

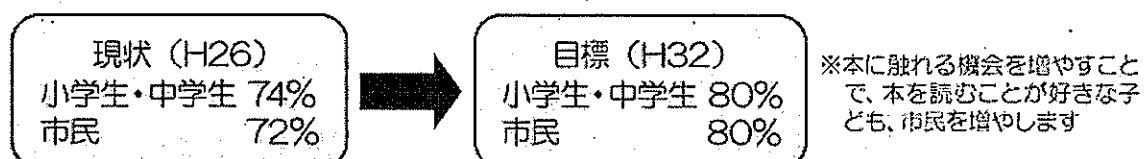
新図書館は、平日・土曜日・祝日は午後7時まで、日曜日は午後6時まで開館します。新刊本は毎年1万冊以上、雑誌は400誌を目標に購入します。そして、1階に一般図書の中でも生活に関する図書を配架し、児童室の他に新たにティーンズコーナー、おはなしのへや、閲覧室を設置します。また、第3次子ども読書活動推進計画を策定します。

【進行計画】

	28	29	30	31	32
新規 新図書館の整備	サンライブのオープン、読書ノートの導入	子ども読書活動推進計画の改定	蔵書数 233,000冊以上	図書館の管理運営方法の見直し	→

【成果指標】「本を読むことが好き」児童生徒・市民の割合

(みよしの教育に関するアンケート)



【進捗状況】

重点施策		サンライズでの充実した図書館サービスの推進
担当課		生涯学習推進課
H28	達成状況	☐ 計画的に図書を購入し、28年度末の蔵書数は、225,562 冊。 ・ 図書 13,341 冊、視聴覚資料 304 点購入
H29	達成状況	☐ 7 月校長会議で配本事業の概要を説明し、「貸出期間 1 か月間(30 日)、1 回につき 30 冊以内」とする配本事業を、10 月より試行で実施した。1 月末現在で延べ 7 校からの申請があった。 ☐ 図書館学習交流プラザ「サンライズ」の開館により旧図書館と比較して、貸出者数は約 3 倍に、貸出冊数は約 2 倍へと増加した。利用者の要望に応えるため、市内利用者へ 5 冊までリクエストの受付を行った。
H30	達成状況	☐ 中央図書館の図書は、計画的購入により、平成 30 年度中に 25 万冊を超えることができた。特に 30 年度からは、生活に関する一般図書を重点的に購入している。 ☐ 今年度から各学校への配本事業に加え、学校支援用図書も購入した。
R1	達成状況	☐ 管理運営検討委員会で図書館の管理運営方針を検討した結果、現在の業務委託及び直営から変更することにより行政側の図書館運営ノウハウが失われる可能性があること、指定管理者側の収益が見込めず、また、小中学校との連携がとれずサービスの低下につながる可能性があること、図書館利用者、貸出冊数ともに年々増加し市民からの満足度が高いことから現在の業務委託及び直営の体制を維持することが決定した。
R2	達成状況	☐ 多くの方が本に親しんでもらえるように各種図書館講座を、新型コロナウイルス感染症防止を考慮し規模を縮小して開催した。また、現在の窓口等運營業務委託が今年度で終了するため、プロポーザル方式により令和 3 年度から令和 5 年度までの委託業者を選定した。

【成果指標】「本を読むことが好き」児童生徒・市民の割合

(みよしの教育に関するアンケート)

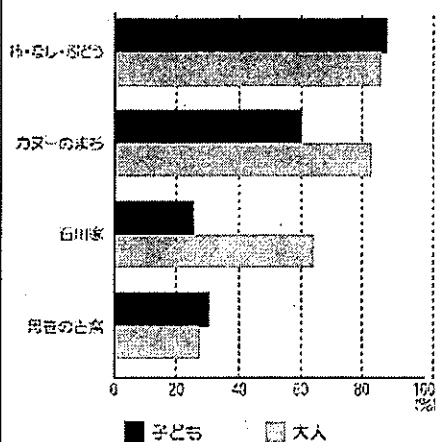
基準年(H26)	H29 アンケート	R1 アンケート	R2 アンケート	目標(R2)
小中学生 74% 市民 72%	小中学生 72% 市民 68%	小中学生 77% 市民 71%	実施せず	小中学生 80% 市民 80%

※小中学校、市民共にポイントが上がった。
 今後も魅力ある各種講演会、講座等開催し、図書館利用者を増加させ、本を読む機会を増やす。

作戦①

みよしのことが大好きになる学習をします

みよしの歴史・文化の認知度



(H26みよしの教育に関するアンケート【児童生徒・市民】)

現状と課題



みよし市の有名な「人・もの・こと」というと、これまで多くの子どもは「柿・なし・ぶどう」のことを思い浮かべていました。最近、副読本「みよし」を活用した授業によって、「カヌーのまち」「石川家住宅」などへの関心が高まってきました。

これからもふるさと学習を推進し、未来のみよしを支える子どもたちに、今後もみよしの良さを伝え、「ふるさとみよし」に誇りを感じられるようにしていきます。

重点 施策

ふるさと学習の推進

[施策体系Ⅲ-1-(1)ア P78]

【施策の概要】

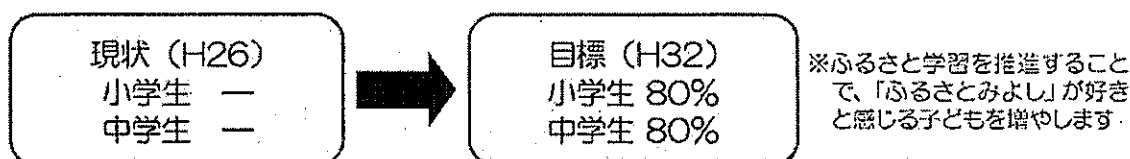
各学校でこれまでに開発された地域教材を集約して、みよし市に関する学習をまとめたり、「ふるさとみよし」を学ぶことのできる体験的プログラムを開発したりします。このふるさと学習を進めるなかで、教職員にもみよし市を知ることのできる研修を行ったり、保護者に対しても啓発を行ったりします。

【進行計画】

	28	29	30	31	32
新規 ふるさと学習の 推進	副読本「みよし」 の改訂	「ふるさとみよし」 体験的プログラムの 開発	「ふるさとみよし」 体験的プログラムの 実践	新学習指導要 領に対応した 副読本の改訂	「ふるさとみよし」 体験的プログラムの 見直し

【成果指標】「みよしのことが好きである」児童生徒の割合

(みよしの教育に関するアンケート【小5・中2】)



【進捗状況】

重点施策		ふるさと学習の推進
担当課		学校教育課
H28	達成状況	☐ 副読本「みよし」14版完成・編集委員会を7回開催し、現在と昔のみに子どもたちが興味をもてるように内容を工夫し、編集作業を行った。(6月～1月) ・市内の農業、工業、商業、公共に関する施設やそこで働く人について情報収集を行い、写真等「データを集めた。(6月～1月)」
H29	達成状況	☐ 本年度の副読本「みよし」を活用し、小・中学校において市内のどのような施設の見学や体験活動が行われているか状況を調べ、データベースを作成した。 ☐ 初任者教職員及び教職員の中の希望者を対象に、「みよしを知ろう」という研修を実施し、本市の「教育」「食」「文化」「歴史」「農業」「工業」「スポーツ」について理解が深まった。
H30	達成状況	☐ 市内小・中学校における、副読本「みよし」を活用した施設見学や体験活動の実施状況を調べ、データベースに登録した。 ☐ 副読本「みよし」は初任者研修で配付し、本市の理解を深めた。
R1	達成状況	☐ 副読本「みよし」を初任者研修で配付し、本市の理解を深めた。さらに、15版副読本「みよし」作成に向けて、組織づくりなどに取り組んだ。 ☐ 初任者及び希望教職員計16名を対象に、研修「みよしを知ろう」を実施。本市の「教育」「食」「文化」「歴史」「農業」「工業」「スポーツ」について理解を深めた。
R2	達成状況	☐ 新型コロナウイルス感染症拡大により、副読本「みよし」の編集作業の時間確保が難しくなったため、改訂は来年度に延期し、令和3年度中の完成に向けて準備を進めた。 ☐ 初任者教職員を対象にした研修「みよしを知ろう」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研修内容を変更し、副読本「みよし」を活用することによって、本市の「教育」「食」「文化」「歴史」「農業」「工業」「スポーツ」について理解を深めた。

【成果指標】「みよしのことが好きである」児童生徒の割合

(みよしの教育に関するアンケート【小学生・中学生】)

基準年(H26)	H29 アンケート	R1 アンケート	R2 アンケート	目標(R2)
小学生	小学生 82%	小学生 93%	達成 実施せず	小学生 85%
中学生	中学生 78%	中学生 85%		中学生 85%
市民	市民 93%	市民 91%		市民 95%

※H29 が基準年となっている。R1 アンケートでは、小中学生の割合は上がっているのですが、引き続き「ずっと住み続けたい」と思えるようなふるさと学習を推進していく。

作戦②

地域の人と一緒に学ぶ学校づくりをします

市内の小中学校で行われているボランティアの例

- ・絵本・図書の読み聞かせ
- ・外国語活動の授業支援
- ・図書館整備・貸出補助
- ・家庭科授業補助
- ・登下校の見守り（スクールガード）
- ・校外学習の引率補助
- ・学校の樹木の伐採
- ・花づくり

学校が助けて欲しいことを伝えてくれば、もっと地域の人も協力できると思います。協力することが当たり前になると良いです。
（行政区ヒアリングより）



現状と課題



現在、小中学校では、たくさんのボランティアの方が活動しています。絵本の読み聞かせや、図書館司書の補助、そしてミシンの使い方の指導補助など、さまざまな場面で多くの保護者が手助けをしてくれています。また、校外学習の際には、地域の方も安全を見守ってくれています。

地域の活力を生かした教育環境整備は、子どもにとっても支える方々にとっても、大変有意義な取り組みとなっています。大人同士も学校をきっかけにつながり合うことで、地域全体の活力を高めることが期待されています。

重点 施策

学校ボランティアをきっかけとした地域教育力の結集

〔施策体系Ⅲ-2-(1)ア P79〕

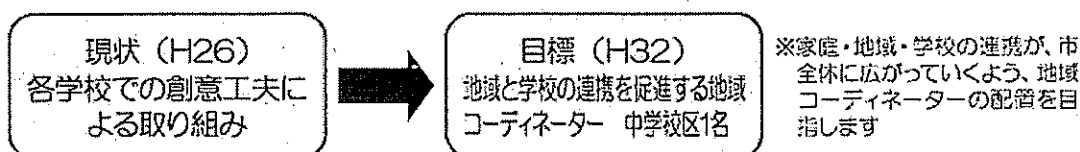
【施策の概要】

学校ごとに独自に取り組んでいる学校ボランティアの取り組みを、市内の全小中学校に広げます。市全体で地域の活力を取り入れた教育を行うことで、より開かれた学校づくり、学校をきっかけとした地域の活性化を目指します。また、地域の人や大学生が勉強を教える地域未来塾を開いたり、ボランティアと学校を結びつける人材の配置を目指したりするなど、家庭・地域・学校のより一層の連携を目指します。

【進行計画】

新規	28	29	30	31	32
学校ボランティアの仕組みの拡充	地域未来塾の実施（サンライブ内）	市民への学校ボランティア制度の周知強化	ボランティア人材バンクの完成	地域コーディネーターによるボランティアの派遣モデル実施	地域コーディネーターの配置促進

【成果指標】学校ボランティアを活用する取り組み（学校教育課調べ）



【進捗状況】

重点施策		学校ボランティアをきっかけとした地域教育力の結集
担当課		教育行政課・学校教育課
H28	達成状況	☐ 「みよし未来塾」では地域の力で中高生への学習指導を行うことができた。 ・ふれあい交流館を会場に、夏休みに10日間冬休みに3日間実施し、夏休みには延べ463人、冬休みには延べ73人が参加した。 ・夏に引き続いて参加した者が73%、来年度も参加したい者が64%となるなど、利用者から大変好評な声が聞かれた。
H29	達成状況	☐ 「みよし未来塾」の拡大実施 ・夏休み10日間に延べ375人、冬休み3日間に延べ105人の中高生が参加した。 ・冬休みは、試験的に実施会場を市内2箇所【①サンライズ（ふれあい交流館）、②カリヨンハウス】としたため、北中・三好丘中生徒の参加が増えた。 ☐ 「広報みよし」で学校支援ボランティアを募集した。市民・学生ボランティア82名が登録をし、各校で活躍した。
H30	達成状況	☐ 「みよし未来塾」の拡大実施 ・夏休み8日間に延べ423人、冬休み3日間に延べ108人の中高生が参加した。夏休み期間が2日間減ったが、参加人数は増加した。 ・アンケート「次回また参加したい」と答えた理由として「学校や家より集中できる」「支援員に質問しやすい環境で勉強がはかどる」という意見が多かった。 ☐ 「広報みよし」で学校支援ボランティアを募集した。市民・学生ボランティア91名が登録をし、各校で活躍した。
R1	達成状況	☐ 「みよし未来塾」の拡大実施 ・夏休み12日間に延べ456人、冬休み4日間に延べ92人の中高生が参加 ☐ ボランティア保険の予算を、R1は70名分に拡大(H30 40名分)することができた。 ☐ 中学校区に1名地域コーディネーターを配置するための予算立てを行った。
R2	達成状況	☐ 「みよし未来塾」を冬休み3日間に延べ44人の中高生が参加した。 ☐ コミュニティ・スクール構想を踏まえた、愛知教育大学・東海学園大学との連携の検討、その設置に向けた会議の開催、各中学校区学校評議員会での説明、各中学校区の地域コーディネーターの候補者検討、地域学校協働本部設置に向けた要領・要綱を作成した。

【成果指標】 学校ボランティアを活用する取り組み

(学校教育課調べ)

基準年(H26)	H29 調査	R1 調査	R2 調査	目標(R2)
各学校での 創意工夫に よる取組	学生ボランティア12校 保護者ボランティア12校 地域ボランティア12校 <窓口> 教頭(12校)・学年(4校) 教務(1校)・担当教諭(1校)	ボランティア登録数 (愛教大サポート活動学生含む) 学生:86名 一般:9名 (H29 学生:63名 一般:6名) <窓口> 教頭(12校)・教務(1校)	ボランティア登録数63名 各中学校区において、 地域コーディネーターの 候補者検討	地域学校の連携 を促進する地域 コーディネーター 中学校区1名

※ボランティアの活用はどの学校でも盛んに行われているが、窓口を教頭が担い、仕事量が増えている学校が多い。

4 体系別全施策の実施状況報告

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
I 次代を担う子どもをみんなで大切に育てる								
1 子育て世帯を支援する								
(1)安心して子育てのできる環境づくり								
ア (仮称)子ども総合支援センターでの交流・相談活動の推進								
作戦1								
1	総合相談窓口の設置	(仮称)子ども総合支援センター整備工事を実施し完了	H29.4月開所した子育て総合支援センター内に総合窓口を開設	子育て総合支援センター内の総合相談窓口で、保育コンシェルジュが子育てに関する総合相談を実施	子育て総合支援センター内の総合相談窓口で、保育コンシェルジュが子育てに関する総合相談を実施	1ヶ所	子育て総合支援センター内の総合相談窓口で、保育コンシェルジュが子育てに関する総合相談を実施	達成
2	子育てふれあい広場の設置	(仮称)子ども総合支援センター整備工事を実施し完了	H29.4月開所した子育て総合支援センター内にふれあい広場を移転	子育て総合支援センター内及びカリヨンハウスの内に子育てふれあい広場を設置	子育て総合支援センター内及びカリヨンハウスの内に子育てふれあい広場を設置	2ヶ所(場所の移転)	子育て総合支援センター内及びカリヨンハウスの内に子育てふれあい広場を設置	達成
3	ファミリーサポートセンターの設置	(仮称)子ども総合支援センター整備工事を実施し完了	H29.4月開所した子育て総合支援センター内にファミリー・サポート・センター事務局を移転	子育て総合支援センター内にファミリー・サポート・センター事務局を設置	1ヶ所で実施	1ヶ所	1ヶ所で実施	達成
イ 子育て支援センターでの親子の触れ合い、仲間づくり支援								
4	親子ふれあいルームの開催	月1回市内子育て支援センター及び市内保育園で実施	月1回市内子育て支援センター及び市内保育園で実施	月1回市内子育て支援センター及び市内保育園で実施	月1回市内子育て支援センター及び市内保育園で実施	月1回	月1回市内子育て支援センター及び市内保育園で実施	達成
5	育児講座の開催	23回開催済	24回開催済	21回開催	年26回開催	年23回	年17回開催(新型コロナウイルス感染症拡大防止により11回中止)	達成
ウ 児童発達支援事業所「よつば」での発達支援の推進								
6	「よつば」での発達支援	定員10名(通所10人)	定員15人(実績8人)	定員15人(実績10人)	定員15名(実績11人)	定員15名	定員15名(実績15人)	達成
7	就学後の学校生活における支援	卒園予定者の就学支援、就学先への引き継ぎ文書作成・情報提供	卒園予定者の就学支援、就学先への引き継ぎ文書作成・情報提供	卒園予定者の就学支援、就学先への引き継ぎ文書作成・情報提供	卒園予定者の就学支援、就学先への引き継ぎ文書作成・情報提供	小学校・教育センター等との連携	卒園予定者の就学支援、就学先への引き継ぎ文書作成・情報提供	達成
エ 児童虐待の防止								
8	教育委員会・家庭教育支援員との連携	要保護児童対策地域協議会の代表者会議、実務者会議、ケース会議にて連携	要保護児童対策地域協議会の代表者会議、実務者会議、ケース会議にて連携	要保護児童対策地域協議会の代表者会議、実務者会議、ケース会議にて連携	要保護児童対策地域協議会の代表者会議、実務者会議、ケース会議にて連携	定期情報交換会議の設定	要保護児童対策地域協議会の代表者会議、実務者会議、ケース会議にて連携	達成

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
9	子ども相談窓口での相談活動	子ども相談電話、虐待相談、家庭相談、子育て相談実施	子ども相談電話、虐待相談、家庭相談、子育て相談実施	子ども相談電話、虐待相談、家庭相談、子育て相談実施	子ども相談電話、虐待相談、家庭相談、子育て相談実施	実施	子ども相談電話、虐待相談、家庭相談、子育て相談実施	達成
10	こんにちには赤ちゃん事業	583件の全戸訪問	599件の全戸訪問	569件の全戸訪問	521件の全戸訪問	全戸訪問	459件の全戸訪問	達成
才 奨学金や授業料軽減などの財政的支援の拡充								
11	就学援助費の支給	実態に即した認定基準の設定(基準変更なし)	実態に即した認定基準の設定(認定基準変更を検討中)	変更後の認定基準により認定 新入学児童生徒学用品費等の入学前支給を希望者に対し支給を開始	実態に即した認定基準の設定(変更した認定基準を継続) 新入学児童生徒学用品費の入学前支給を継続	実態に即した認定基準の設定	実態に即した認定基準の設定(変更した認定基準を継続) 新入学児童生徒学用品費の入学前支給を継続	達成
12	奨学金の支給	奨学生16名に対し、認定・支給	奨学生24名に対し、認定・支給	奨学生28名に対し、認定・支給	奨学生26名に対し、認定・支給	奨学生申請40件	奨学生16名に対し、認定・支給	
13	第3子保育料無料化 第3子幼稚園授業料の原則無料化	対象者数は106人	対象者数104人	対象者数185人 対象者数109人	対象者数217人 対象者数120人	対象者117人	対象者数82人 幼児教育・保育は無償化	
14	私立学校等在籍者を対象とした授業料補助	補助金申請 552件(うち、交付決定537件、不交付決定15件)	補助金申請 537件(うち、交付決定524件、不交付決定13件)	補助金申請 553件(うち、交付決定538件、不交付決定15件)	補助金申請 522件(うち、交付決定503件、不交付決定19件)	補助金申請 576件	補助金申請 468件(うち、交付決定459件、不交付決定9件)	
力 保育環境の整備								
15	すみれ保育園大規模改修工事	老朽化に伴う大規模改修を実施し、完了	—	—	—	平成28年 大規模改修	平成28年 大規模改修完了	達成
16	わかば保育園大規模改修工事	設計・平成29年度 改修工事・平成30年度	大規模改修工事設計完了	老朽化に伴う大規模改修を実施し、完了	—	平成30年 大規模改修	平成30年 大規模改修完了	達成
キ 幼児教育を受けられる環境の整備								
17	私立幼稚園の振興	950の対象者に対し、10,000円/人を交付	887の対象者に対し、10,000円/人を交付	875の対象者に対し、10,000円/人を交付	879の対象者に対し、10,000円/人を交付	補助金の交付	833人に対象者に対し、11,000円/人を交付 新型コロナウイルス感染症対策補助金833人に対象者に対し、2,000円/人を交付	達成

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
18	私立幼稚園と保育園の交流事業の実施	合同観劇会に、1,577人が参加。1,200,000円×1/3を交付	合同観劇会に、1,560人が参加。1,200,000円×1/3を補助金交付	合同観劇会に、1,579人が参加。1,200,000円×1/3を補助金交付	合同観劇会に、1,637人が参加。1,200,000円×1/3を補助金交付	合同観劇会の開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため合同観劇会中止	達成
19	私立幼稚園就園奨励費の交付	所得により、年額20,000円/人～308,000円/人を交付。交付者数1,005人	所得により、年額20,000円/人～308,000円/人を交付。交付者数936人	所得により、年額20,000円/人～308,000円/人を交付。交付者数951人	所得により、半年10,000円/人～154,000円/人を交付。交付者数915人 10月から幼児教育・保育無償化	幼児教育・保育 無償化	幼児教育・保育無償化	達成
(2)仕事と子育ての両立の支援								
ア 放課後児童クラブによる子育て支援の拡充								
20	受け入れ対象学年の拡大	北部児童クラブ第1・第2教室と夏休み期間の第2教室を6年生まで実施	北部児童クラブ第1・第2教室と夏休み期間の第2教室を6年生まで実施	北部 天王、三好丘、緑丘及び夏季教室で1～6年生、それ以外は1～4年生	小学校1～6年生	小学校1～6年生	小学校1～6年生	達成
21	開所時間の延長	全児童クラブで開所時間を午前7時30分～午後6時30分までに延長	午前7時30分～午後6時30分まで	午前7時30分から午後6時30分まで	午前7時30分から午後7時まで	平日は、放課後から午後7時まで 長期休業期間中は、午前7時30分から午後7時まで	平日は、放課後から午後7時まで 長期休業期間中は、午前7時30分から午後7時まで	達成
22	祝日開所クラブの拡大	中部、北部第1、天王、三好丘で実施(4クラブ)	4クラブ	中部、北部、天王、三好丘、緑丘の5クラブ	8クラブ	4クラブ	8クラブ	達成
イ ファミリーサポートセンターでの、市民の相互扶助の推進								
23	病児・病後児預かり	援助会員宅で実施(利用者なし) 専用施設は、設計:H28実施、建設:H29の予定	援助会員宅で実施(利用者なし)	援助会員宅で実施(利用者なし)	援助会員宅又は専用施設	援助会員宅又は専用施設	援助会員宅又は専用施設	達成
24	ファミリーサポートセンター事業	年間援助活動件数、1,384件	年間援助活動件数、1,256件	年間援助活動件数、2,063件	年間援助活動件数、2,123件	実施	年間援助活動件数、1,165件	達成
(3)家庭教育に対する支援								
ア 家庭の教育力向上のための啓発活動の推進								
25	家庭教育の推進指針の作成	みよし市の家庭教育の現状と課題の整理を行う	みよし市の家庭教育の現状と課題の整理を行う	みよし市の家庭教育の現状と課題の整理を行う	みよし市の家庭教育の現状と課題の整理を行う	市家庭教育推進指針作成	作成に向けて、更なる現状と課題の整理、発行に向けて計画の見直しを行った	

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
26	家庭教育だよりの発行	みよし市の家庭教育の現状と課題の整理を行い、家庭教育だよりに掲載する内容の検討	年度ごとの取組の柱を設定し、H30から年6回、広報に家庭教育の情報を載せることとした	H30年度のテーマに沿って、広報みよしの中で「はぐくみ」ページを掲載し、年5回(5/1号、7/1号、9/1号、11/1号、1/1号)発行した。	R1年度のテーマに沿って、広報みよしの中で「はぐくみ」ページを掲載し、年6回(5/1号、7/1号、9/1号、11/1号、1/1号、3/1号)発行した。	家庭教育だより発行月1回	R2年度のテーマに沿って、広報みよしの中で「はぐくみ」ページを掲載し、年6回(5月号、7月号、9月号、11月号、1月号、3月号)発行した。	
27	教育カレンダーの発行	取り組みなし (H32発行予定)	取り組みなし (H32発行予定)	取り組みなし (H32発行予定)	取り組みなし (R2発行予定)	教育カレンダー発行月1回	取組を整理し、別事業(地域学校協働活動事業)で実施予定	
イ 困難さを抱える家庭に対する個別支援の充実								
28	家庭教育支援に関する職員の配置	不登校傾向にある児童生徒や家庭の相談、家庭訪問	不登校傾向や発達に課題がある児童生徒の保護者の相談・支援	SSW(2名)、市専門相談員(2名)、家庭教育相談員(1名)を配置し、保護者の相談・支援を実施	SSW(2名)、市専門相談員(3名)、家庭教育相談員(1名)を配置し、保護者の相談・支援を実施	家庭教育支援に関する職員の配置2名	SSW(2名)、市専門相談員(3名)、家庭相談員(1名)を配置し、保護者の相談・支援を実施	達成
29	教育相談の充実	就学相談28件、その他にも適応指導教室への入室相談や発達に関する相談等の実施	不登校傾向や発達に関する相談等の実施。みよし市教育センターでの相談件数のべ418件(相談総数は663件)	不登校傾向や発達に関する相談等の実施。みよし市教育センターでの相談件数のべ334件	不登校傾向や発達に関する相談等の実施。みよし市教育センターでの相談件数のべ462件	みよし市教育センターでの教育相談	不登校傾向や発達に関する相談等の実施。みよし市教育センターでの相談件数のべ658件	達成
ウ 家庭教育に関する学習機会の充実								
30	家庭教育学級の拡充	全小学校での教室を見学し、担当者への聞き取り。現状と課題点を把握	担当者へ聞き取りを行い、現状と課題点を把握	担当者へ聞き取りを行い、現状と課題点を把握	全小学校で実施。延33回の講座を開催	ヒアリングを経て、方法・内容の見直し	黒笹小学校のみで1回の講座を開催。他小学校での開催は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	
31	思春期子育て講座の拡充	全中学校での教室を見学し、担当者への聞き取り。現状と課題点を把握	担当者へ聞き取りを行い、現状と課題点を把握	担当者へ聞き取りを行い、現状と課題点を把握	全中学校で実施。延4回の講座を開催	ヒアリングを経て、方法・内容の見直し	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全中学校での開催を中止	
32	いきいき子育て講座の拡充	講座ごとに担当者へ聞き取りを行い、現状と課題点を把握	担当者へ聞き取りを行い、現状と課題点を把握	担当者へ聞き取りを行い、現状と課題点を把握	市内全幼稚園とサンアートで開催(7回)	ヒアリングを経て、方法・内容の見直し	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全講座を中止	
エ ふれあいトライアングル事業の推進								
33	ふれあいトライアングル事業補助金の交付	8小学校区での実施に向けた計画を作成し、関係者への説明と協力依頼	8小学校区に家庭教育推進協議会を常設し、補助金を交付	8小学校区に家庭教育推進協議会を常設し、補助金を交付	8小学校区に家庭教育推進協議会を常設し、補助金を交付	8小学校区で実施	8小学校区の家庭教育推進協議会に、補助金を交付	達成

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
34	小学校区家庭教育推進協議会の常設設置	8小学校区での実施に向けた計画を作成し、関係者への協力依頼	8小学校区に家庭教育推進協議会を常設	8小学校区に家庭教育推進協議会を常設	8小学校区に家庭教育推進協議会を常設	8小学校区に設置	全8小学校区において家庭教育推進協議会は設置済み	達成
2 仲間と進んで学ぶ子どもを育てる								
(1) 確かな学力の育成								
ア 主体的・協働的な学びを生み出すための、教職員の資質向上への取り組み								
35	(仮称) みよし市教育センター設置事業	事業内容について学校・教育課を中心に検討	平成29年4月開設完了。	—	—	平成29年開所	平成29年開所	達成
36	教員研修事業	みよし市教育センターでの研修計画の整理	教職員研修体系の整理。「みよしを知らう」研修の拡充。	自主研修の立ち上げ、校務支援システムを活用した授業実践資料の共有。	市内教職員の得意分野を生かしたみよし市教師塾を3回実施。	子どもへのアンケートによる成果の検証	初任研、2・3年目研では、対象者で授業参観、学びを深める授業づくりを協議	中学校で達成
37	授業・教科アドバイザー配置事業	教科アドバイザー5名、理科・体育教科アドバイザー4名配置	授業アドバイザー4名、理科・体育アドバイザー4名を配置	授業アドバイザー4名、理科・体育アドバイザー4名を配置	授業アドバイザー4名、理科・体育アドバイザー4名、特別支援教育アドバイザー4名を配置	8人	授業アドバイザー4名、理科・体育アドバイザー4名、特別支援教育アドバイザー4名を配置	達成
38	教育研究論文募集・表彰事業	市の教育研究論文へ35人の教員が応募	市の教育研究論文へ37人の教員が応募	市の教育研究論文へ29人の教員が応募	市の教育研究論文へ24人の教員が応募	36人	新型コロナウイルスの影響によって研究実践が困難であるため応募を中止	
39	研究委嘱校研究発表事業	南中・道徳教育の発表会に373名が参加	南部小・教科研究の発表会に428名が参加	天王小・教科研究の発表会に490名が参加	三好中・特別活動研究の発表会に385名が参加	研究委嘱校2校	研究委嘱2年目に該当する学校がないため、研究発表会は実施せず、各校において、新学習指導要領に対応するための教科研究を実施	
40	教科領域等指導訪問・学校訪問事業	教科領域等指導員訪問各校2回以上、学校訪問を各校1回実施	教科領域等指導員訪問各校2回以上、学校訪問を各校1回実施	教科領域等指導員訪問各校2回以上、学校訪問を各校1回実施	教科領域等指導員訪問各校2回以上、学校訪問を各校1回実施	各校1回	教科領域等指導員訪問各校2回以上、学校訪問を各校1回実施	達成
41	教科研究等委託事業	南中(道徳・2年目)と南部小(教科指導・1年目)に研究委嘱	南部小(教科指導・2年目)と天王小(教科指導・1年目)に研究委嘱	天王小(教科指導・2年目)と三好中(特別活動・1年目)に研究委嘱	三好中(特別活動・2年目)に研究委嘱	2年研究で毎年2校に委嘱	中部小(教科指導・1年目)に研究委嘱	

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
イ 学力向上に向けた取り組みの推進								
42	学校教育検証サイクルの構築	学力・学習状況調査の結果を分析し、学力向上に向けた対策案を検討・提案	学力・学習状況調査の結果を分析し、学力向上に向けた具体的対策案を提案	学力・学習状況調査の結果を分析し、学力向上に向けた具体的対策案を提案	学力・学習状況調査の結果を分析し、学力向上に向けた具体的対策案を提案	検証サイクルに沿った教育向上施策実施	学力・学習状況調査は実施されなかったため、市独自にWithコロナにおける学び合いの実践方法を提案	達成
43	学習指導要領に基づく教材整備	学校要望に伴う教材備品、デジタル教材購入	トロンボーンなど予定した教材をすべて購入・納品完了	ミシンなど予定していた教材について小中学校全体で契約・発注済	ミシンなど予定していた教材について小中学校全体で契約・発注済	整備基準策定	ミシンなど予定していた教材について小中学校全体で、新学習指導要領に基づく教材備品を小学校で契約・発注済	
ウ 確かな学力の育成を支える人材の再編成・拡充								
44	確かな学力の育成を支える人材の適正配置	実態に応じて、教員の補助を担う職員を配置。柔軟な配置については検討中	実態に応じて、教員の補助を担う職員を配置。柔軟な配置については検討中	実態に応じて、国費補助等を活用しながら、教員の補助を担う職員を各校に配置	実態に応じて、国費補助等を活用しながら、教員の補助を担う職員を各校に配置	各校の実情に応じた柔軟な配置	実態に応じ、国費補助等を活用しながら、教員の補助を担う職員を各校に配置	達成
エ 学力定着に課題のある児童生徒への支援								
45	市全体の学習支援体制の見直し	みよし未来塾を夏休み10日間(463人)、冬休みに3日間(73人)実施	みよし未来塾を夏休み10日間(375人)、冬休みに2か所3日間(105人)実施	みよし未来塾を夏休み10日間(423人)、冬休みに2か所3日間(108人)実施	みよし未来塾を2か所で夏休み12日間(456人)、冬休みに4日間(92人)実施	地域未来塾での教育支援	みよし未来塾を2か所で、夏休みは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止、冬休みに3日間実施	達成
46	長期休業を利用した、学力定着に課題のある子どもへの支援	小中すべてで、長期休業中に補習等を実施	小中すべてで、長期休業中に補習等を実施	小中すべてで、長期休業中に補習等を実施	小中すべてで、長期休業中に補習等を実施	各校での実施内容の充実	臨時休業に伴い、今年度は夏季休業中も授業を実施(7/21～8/7、8/24～8/31)	達成
(2)新たな教育の推進								
ア ICT教育の推進								
作戦6								
47	ICT教育に関する推進計画の策定	学校教育情報化推進委員会を行い、情報セキュリティポリシー、ICT機器整備計画の方針検討	学校教育情報化推進委員会を行い、情報セキュリティポリシー、ICT機器整備計画の方針検討	本市がめざすICTを用いた授業スタイルの確立と教育情報化推進計画の策定	教育情報化推進計画に沿った整備を開始	推進計画の実行	GIGAスクール構想の実現に向け、教育情報化推進計画の機器整備計画の事前倒しと見直し	達成
48	ICT機器の配置拡大	三好丘中PC室のリプレイスに向けて機器構成の検討、電子黒板の配置増	黒笹小、緑丘小PC室のリプレイスを行うとともに、学習ソフトを充実させた	教育情報化推進計画策定の年度につき、ICT機器の新規導入は行っていない	中部小、三好中、北中、南中のPC室リプレイス及び合計96台のタブレット端末を導入	教育用パソコン4人/1台	市内全児童生徒に学習用タブレット、市内全小中学校の普通教室に大型提示装置を配備 北部小、南部小、天王小、三吉小、三好丘小のPC室リプレイス	達成

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	-R2実績・現状	達成状況
49	情報教育対応支援員の配置	情報教育対応非常勤講師(1名)が、各校でコンピュータ使用に対する教員支援	情報教育対応非常勤講師(1名)が、各校でコンピュータ使用に対する教員支援	情報教育対応非常勤講師(1名)による各校でのコンピュータの使用法に対する教員支援	情報教育アドバイザー(1名)による各校でのコンピュータの使用法に対する教員支援	3人	情報教育アドバイザー(1名)による各校でのコンピュータの使用法に対する教員支援	
50	情報教育対応研修	8月、12月にICT研修会(授業でのICT機器の活用方法や情報セキュリティの在り方)	8月にICT研修会(プログラミング学習で使用するソフトでの実技講習)	管理職に対するセキュリティ研修の実施、各小中学校でプログラミング教育、研修の実施	各小中学校においてプログラミング教育に関する教員研修を実施	受講教員90%以上	情報教育担当者に対するセキュリティ研修及び各小中学校でプログラミング教育に関する教員研修の実施(受講教員99%)	達成
イ	ALT・外国語活動対応非常勤講師による外国語指導の充実							
51	小学校中学年における外国語活動の研究・実践の支援	本年度は実施事業なし	2月に英語教育推進リーダーによる公開授業研究会	8月に小学校中学年で授業を想定した研修会を実施	8月に9月以降の授業を想定した活動案の作成および研修を実施	小学校中学年で研修の実施	作戦7 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会の開催を中止	
52	ALT・外国語活動対応非常勤講師の増員の増員	小学校高学年外国語活動年間35時間全てで、担任とALTまたは非常勤講師による授業	小学校高学年外国語活動年間35時間全てで、担任とALTまたは非常勤講師による授業	小学校外国語活動全ての授業で、担任とALTまたは非常勤講師による授業を実施(中16%)	小学校外国語活動全ての授業で、担任とALTまたは非常勤講師による授業を実施(中20%)	ALT・非常勤講師の授業 小100%中25%	小学校外国語活動全ての授業で、担任とALTまたは非常勤講師による授業を実施(中25%)	達成
53	小・中学校合同の教員研修の実施	8月に英語教育推進リーダーを講師とした小学校外国語活動研修実施	8月に英語教育推進リーダーを講師とした小学校外国語活動研修実施	英語教育推進リーダー研修講師による公開授業研究会を小中合同で実施	8月に小中合同研修会を実施	小中合同2回の研修	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会及び公開授業研究会の開催を中止。	
ウ	企業・高等教育機関(愛知教育大・東海学園大)との連携による、未来につながる教育の推進							
54	外部講師派遣事業	各校に年間2回講師の派遣	各校に年間2回講師の派遣	各校に年間2回講師の派遣	各校に年間2回講師の派遣	各校年6回講師派遣	7校で実施、5校で新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講師招聘を中止	
55	少年・少女発明クラブ等活動助成	学習交流センターを活用した提供	学習交流センターを活用した提供	活動に対する補助、成果発表の場の提供	活動に対する補助、成果発表の場の提供	成果発表の場の提供	新型コロナウイルスの影響により活動休止	
エ	優れた才能や個性を伸ばす教育の推進							
56	教育委員会褒賞・学校賞の拡充	教育委員会褒賞・学校賞の実施	教育委員会褒賞・学校賞の実施	教育委員会褒賞・学校賞の実施	教育委員会褒賞・学校賞の実施	表彰対象者の拡大	教育委員会褒賞・学校賞の実施	達成
57	優れた才能を伸ばす各種取り組みへの参加	全中学校が「科学の甲子園ジュニア」に参加。 ¹ 校がファイナルステージで準グランプリ獲得	全中学校が「科学の甲子園ジュニア」に参加。 ¹ 校がファイナルステージに進出	全中学校が「科学の甲子園ジュニア」に参加。 ³ 校がファイナルステージに進出	全中学校が「科学の甲子園ジュニア」に参加。 ² 校がファイナルステージに進出	参加校・参加する取り組みの拡大	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「科学の甲子園ジュニア」開催中止	

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成 状況
3 心豊かな子どもを育てる								
(1)心を育てる活動の推進								
ア 道徳教育の研究推進								
作戦8								
58	「特別の教科 道徳」についての研究・実践の支援	道徳研修会を実施。南中が研究発表し、市内外に道徳教育のあり方について発信	道徳研修会を10月に実施した。道徳教育の評価交換会を3回実施	8月に道徳の評価に関する研修会を、9月に道徳教育推進教師対象の研修会を実施した。	市内7校で外部講師を招いた道徳授業の研究を実施。11月に道徳教育推進教師研修会を実施した。	各学校での研究推進	市内8校で外部講師を招いた道徳授業の研究を実施。9月に道徳教育推進教師研修会を実施した。	達成
59	情報モラル教育の推進	市内すべての小中学校で情報モラルに関する授業を実施	市内すべての小中学校で情報モラルに関する授業を実施	市内すべての小中学校で情報モラルに関する授業を実施	市内すべての小中学校で情報モラルに関する授業を実施	効果的な取り組みを広める	市内すべての小中学校で情報モラルに関する授業を実施	達成
60	道徳教育推進のための家庭・地域との連携強化	三好丘中であかちゃんふれあい体験実施。地域ポランティアとの連携強化	三好丘中学校区の人権教育推進地域事業において、家庭や地域と連携した取組を実施	三好丘中学校区の人権教育推進地域事業において、家庭や地域と連携した取組を実施(3年次)	三好丘中学校区の3年間における人権教育推進地域事業の家庭や地域と連携した取組を継続実施	地域人材バンク作成・実践事例集作成	各校で道徳科の授業参観、道徳科の授業に関する学校だよりを配付	
イ 地域の特性を生かした、持続可能な社会の担い手を育てる教育								
61	福祉教育に関する取り組み	福祉実践教室などの取り組みを各校ごとに実施	福祉実践教室など福祉教育に関する授業を各校で実施	福祉実践教室など福祉教育に関する授業を各校で実施	福祉実践教室など福祉教育に関する授業を各校で実施	各取り組みをまとめ、モデル実践整理	福祉実践教室など福祉教育に関する授業を各校で実施	
62	環境教育に関する取り組み	各校へ情報提供を行うとともに実施内容についての情報収集	各校へ情報提供を行うとともに実施内容についての情報収集	各校へ情報提供を行うとともに実施内容についての情報収集	各校へ情報提供を行うとともに実施内容についての情報収集	各取組をまとめ、モデル実践整理	各校へ環境教育に関する情報提供を実施	
63	平和教育に関する取り組み	市中学生平和学習広島派遣団(中学生12人、引率者3人)を派遣	市中学生平和学習広島派遣団(中学生12人、引率者4人)を派遣	市中学生平和学習広島派遣団(中学生12人、引率者4人)を派遣した。	市中学生平和学習広島派遣団(中学生12人、引率者4人)を派遣した。	中学生平和学習広島派遣中学生12人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
(2)豊かな体験活動の推進								
ア 文化的体験の推進(夢の作品展・思い出コンサート)								
64	夢の作品展実施事業	文化センターサンアートで開催し、8,000人の来場者	文化センターサンアートで開催し、7,500人の来場者	文化センターサンアートで開催し、7,800人の来場者	文化センターサンアートで開催し、7,800人の来場者	入場者数10,000人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
65	思い出コンサート	参加人数 小6が725人、中3が762人	参加人数 小6が618人、中3が720人	参加人数 小6が667人、中3が753人	参加人数 小6が708人、中3が694人	小6・中3での実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
イ 異文化交流体験の推進(コロンバス市・土別市派遣事業)								
66	友好都市中学生派遣事業	派遣中学生16人を「ふるさとみよし大使」としてコロンバス市へ派遣	派遣中学生16人をコロンバス市へ派遣 フレンズ オブ コロンバス 結成	派遣中学生16人をコロンバス市へ派遣 夢の作品展でコロンバス派遣団の紹介展示	派遣中学生16人をコロンバス市へ派遣 夢の作品展でコロンバス派遣団の紹介展示	フレンズ オブ コロンバスの結成	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため派遣は中止	達成
67	小中学校国際交流研究委託事業	教育親善大使1人を10月に招待	教育親善大使1人を10月に招待	教育親善大使1人を10月に招待	教育親善大使1人を10月に招待	親善大使2人※高校生受入時	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
68	土別市小学生交流事業	小学生32人派遣。土別市から来市した小学生とカヌー・Eボート交流	小学生32人派遣。土別市から来市した小学生とカヌー・Eボート交流	小学生32人派遣。土別市から来市した小学生と北部小学校で交流	小学生32人派遣。土別市から来市した小学生と南部小学校で交流	小学生 32人派遣	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
ウ 体験に根ざしたキャリア教育の推進		8月にサッカー1チーム(19人)、野球1チーム(38人)を結成し土別市派遣	8月にサッカー1チーム(20人)、野球1チーム(38人)を結成し土別市派遣	8月にサッカー1チーム(18人)、野球1チーム(40人)を結成し土別市派遣	8月にサッカー1チーム(14人)、野球1チーム(26人)を結成し土別市派遣	サッカーチーム、野球チームの派遣	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、派遣中止	
	小中学校キャリア教育推進事業	三吉小学校でプログラミングを通してキャリア教育の推進。全中学校で職場体験実施	三好丘小学校でみよし猿投古窯体験講座を実施。全中学校で職場体験を実施	緑丘小学校で地域の自動車関連工場の見学と体験活動。全中学校で職場体験を実施	黒笹小学校で地域の社会人を講師に体験や講話を通してキャリア教育を推進。全中学校で職場体験を実施	小学校・モノづくり体験中学校・職場体験学習	中部小学校で愛知県の伝統工芸についての講話と体験活動を実施。全中学校で職場体験中止	
70	小学校野外学習・中学校自然教室等実施事業	12校中11校が夏季休業前に実施、1校は冬季に実施	12校中11校が夏季休業前に実施、1校は冬季に実施	12校中11校が夏季休業前に実施、1校は冬季に実施	12校中11校が夏季休業前から秋季に実施、1校は冬季に実施	全小中学校での実施	新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底した上で12校中11校が実施。1校は、中止	
4 たくましい子どもを育てる								
(1)たくましい体づくり								
ア みよし市体力向上計画の推進								
作戦9								
71	体力向上カードの作成	H28年度の体力テストの結果をもとに、体力向上カードを作成	授業の充実を図るため体育授業の学習カードをデータで収集し、学校へ送付	ウォーミングアップドリル集(体力向上カード兼運動プログラム)の充実	ウォーミングアップドリル集の充実を図り、実技講習会で活用促進	体力向上カードの活用	ウォーミングアップドリル集の内容を見直し、全小中学校及び市内保育園へ配付	達成
72	体づくり運動プログラムの作成	運動プログラム作成計画の見直し	運動プログラム(ウォーミングアップドリル)の作成	ウォーミングアップドリル集(体力向上カード兼運動プログラム)の充実	ウォーミングアップドリル集の充実を図り、実技講習会で活用促進	運動プログラムの整備・充実	ウォーミングアップドリル集の内容を見直し、全小中学校及び市内保育園へ配付	達成

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
イ 幼児期スポーツ教室の充実								
73	幼児の親子体操教室	定員を80組から90組に増やして募集。結果58組で実施	定員90組で実施。結果70組で実施	定員90組で実施。結果74組で実施	定員90組で実施。結果45組で実施	90組	定員46組で募集。結果41組で実施	
74	幼児体育教室	定員を160人から240人に増やして募集。結果204人で実施	定員240人で募集。結果238人で実施	定員260人で募集。結果228人で実施	定員260人で募集。結果227人で実施	240人	定員132人で募集。結果108人で実施	
75	スタンツ教室	定員80人で募集。結果71人で実施	定員80人で募集。結果75人で実施	定員80人で募集。結果70人で実施	定員80人で募集。結果78人で実施	80人	定員40人で募集。結果44人で実施	
ウ 学校体育施設・設備の充実								
76	体育館照明のLED化	計画的な事業中断期間。H29年度事業再開予定	北部小・緑丘小の体育館照明LED化実施。12校中7校完了	12校中7校完了。平成31年2月に三好中体育館の照明LED化完了予定	12校中8校完了。令和2年3月に三吉小学校体育館の照明LED化完了	12校中5校完了	計画的な事業中断期間	達成
77	天井、照明器具の落下防止対策	南部小学校体育館の照明落下防止対策実施	北部小・緑丘小体育館の照明落下防止対策実施。12校中9校完了	平成31年2月に三好中体育館の照明落下防止対策完了。12校中10校完了	12校中11校完了。令和2年3月に三吉小学校体育館の照明落下防止対策完了	全小中学校完了	令和元年度で天井落下防止対策完了	
(2) 健やかな体づくり								
ア 望ましい生活習慣を身に付ける保健指導の推進								
78	児童生徒の生活習慣の改善	中学校区ごとに立てた生活改善プランをまとめ、分析	中学校区ごとに共通の生活改善チェックと結果の分析	ノーマメディアデーに市内統一の保健だよりを配布。中学校区ごとの生活改善チェックカードの実施	ノーマメディアデーに市内統一の保健だよりを配布。中学校区ごとの生活改善チェックカードの実施	改善の成果や方針策を家庭や地域に広げる	ノーマメディアデーに市内統一の保健だよりを配布。中学校区ごとの生活改善チェックカードの実施	達成
79	みよし市保健事業実行委員会の開催	電子メディアと睡眠の関係について研究。食物アレルギー対応研修	電子メディアと睡眠の関係について研究。学校事故対応研修	レジリエンスについて研究。レジリエンスの高め方、研究の進め方についての研修(2回)	レジリエンスを高めるための研究。研究の進め方について研修(2回)	研修会の実施 年2回	レジリエンスを高めるための研究を進め、評価の仕方についての研修を実施(2回)	達成
80	歯のパスポート配付	6歳臼歯の大切さを指導する資料となるよう、新入児童に配付	6歳臼歯の大切さを指導する資料となるよう、新入児童に配付	6歳臼歯の大切さを指導する資料となるよう、新入児童に配付	6歳臼歯の大切さを指導する資料となるよう、新入児童に配付		6歳臼歯の大切さを指導する資料となるよう、新入児童に配付。受け取った保護者が児童と歯医者へ行くきっかけとして利用	達成
81	豊田加茂学校保健会の運営	学校保健を充実させる講演会や研修などを実施するために、負担金搬出	学校保健を充実させる講演会や研修などを実施するために、負担金搬出	歯科保健講習会の実施。学校保健充実させる講演会などを実施するために、負担金搬出	負担金の搬出。研究大会の実施	負担金を拠出	負担金の搬出。歯科保健講習会の中止	達成

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
イ 家庭と連携した望ましい食習慣形成の推進								
82	親子料理教室の開催	7月29日サマースクール(親子料理教室)開催	7月28日サマースクールみよしの給食クッキング	1月26日新春講座「みよしの給食クッキング」を開催	1月25日新春講座「みよしの給食クッキング」を開催	年1回	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
83	学校給食献立表の活用	毎月、小中学校の全家庭へ配布	毎月、小中学校の全家庭へ配布	毎月、小中学校の全家庭へ配布	毎月、小中学校の全家庭へ配布	小中学校の全家庭へ配布	毎月、小中学校の全家庭へ配布	達成
84	PTA試食会の実施	三好丘小PTA、黒笹小PTAがセンターにて見学会実施。中部小、南中が各校で試食会実施	中部小、三吉小、黒笹小PTAがセンターにて見学会実施。南中、北中が各校で試食会実施	中部小、三好丘小、黒笹小、天王小PTAがセンターにて見学会実施。南中、北中が各校で試食会実施	中部小、三好丘小、黒笹小PTAがセンターにて見学会実施。北中、南中が各校で試食会実施	各校等での実施	緑丘小、北中が各校で試食会実施(センターでの試食会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	達成
85	地場産物の活用や郷土料理・行事食の実施	毎月県の郷土料理及び季節行事がある月は行事食を献立に入れる	毎月県の郷土料理及び季節行事がある月は行事食を献立に入れる	毎月県の郷土料理及び季節行事がある月は行事食を献立に入れる	毎月県の郷土料理及び季節行事がある月は行事食を実施	定期的に実施	みよし市産及び愛知県産の食材を毎月使用、市産の柿を使用した献立を新たに実施、郷土料理又は行事食を毎月実施	達成
5. 個に応じた支援を充実させる								
(1) 個別支援の拡充								
ア 個別支援を要する子どもへのサポート体制の充実								
86	個別の指導計画の作成・活用の支援	全校の該当者の個別の指導計画の記入状況を確認	全校の該当者の個別の指導計画の記入状況を学校訪問で確認	各校において、日本語指導が必要な児童生徒の全員の個別支援計画を作成	各校において、日本語指導が必要な児童生徒の全員の個別支援計画を作成	日本語指導が必要な子どももの計画80%	各校において、日本語指導が必要な児童生徒の全員の個別支援計画を作成	達成
87	特別支援教育対応教員補助者派遣事業	計画を上回る24名の特別支援教育対応教員補助者を配置	27名の特別支援教育対応教員補助者を派遣し、個に応じた支援を実施	35名の特別支援教育対応教員補助者を派遣し、個に応じた支援を実施	36名の特別支援教育対応教員補助者を派遣し、個に応じた支援を実施	派遣者数 28人	39名の特別支援教育対応教員補助者を派遣し、個に応じた支援を実施	達成
88	学校支援ボランティア(学生・一般)の配置支援	学校支援ボランティア登録者数83人	学校支援ボランティア登録者数82人	学校支援ボランティア登録者数91人	学校支援ボランティア登録者数95人	学校支援ボランティア登録者数100人	学校支援ボランティア登録者数63人	
イ 小中学校少人数学級体制の拡大								
89	35人編成学級の拡充	小学校 1～3年 中学校 1・2年	小学校 1～3年 中学校 1～3年	小学校 1～3年 中学校 1～3年	小学校 1～6年 中学校 1～3年	小学校 1～4年 中学校 1・2年	小学校 1～6年 中学校 1～3年	達成

作戦10

作戦11

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
ウ	教育相談の充実							
90	専門相談員による相談の充実	発達や学校生活、不登校、家庭生活などに関する相談など122件、相談専門相談員による教育相談3日1日3時間	常勤の心理士を配置し、専門相談員と合わせて、のべ633件の教育相談を実施。平日9:00から17:00に対応	発達や学校生活、不登校、家庭生活などに関する相談など334件、専門相談員による教育相談週2日1日5時間と6時間実施	月曜(午前10時から午後4時)、水曜(午前9時から午後3時30分)、木曜(午後1時から午後5時、午後6時から午後8時)の相談活動を実施	週4日(計20時間)	月曜(午前10時から午後4時)、水曜(午前9時から午後3時30分)、木曜(午後1時から午後5時、午後6時から午後8時)の相談活動を実施	
91	市スクールカウンセラーの適正配置	各小学校月1日の巡回相談を継続	各小学校月1日の巡回相談を継続	各小学校月1日の巡回相談を継続	各小学校月2日の巡回相談を継続	各校週1日	各小学校に1人のSCを配置し、週1日の相談活動を実施	達成
92	子どもの相談員、心の教室相談員配置	各校1人の相談員を配置し相談活動	各校1人の相談員を配置し相談活動	各校1人の相談員を配置し相談活動	各校1人の相談員を配置し相談活動	各校1人	各校1人の相談員を配置し相談活動	達成
エ	不登校対策の推進							
93	(仮称)みよし市教育センター設置事業	センター開設に向けた施設改修や移転計画、利用規定、事業計画等の策定	4月にセンターを開設し、個に応じた支援をすすめる施設として活用開始	教育センターの設備・運営の整備充実	個に応じた相談・支援体制と市主催及び教員の自主的な研修を充実	平成29年開所	個に応じた相談・支援体制と市主催の研修を充実	達成
94	ハートケア教育主任サポーター配置事業	ハートケア教育主任サポーターを2名に増員し、児童生徒及び家庭を支援	ハートケア教育主任サポーター2名が、児童生徒及び保護者の支援、学校との連携を充実	ハートケア教育主任サポーター2名が、児童生徒及び保護者の支援、学校との連携を充実	ハートケア教育主任サポーター2名がSSWの役割を果たし、児童生徒・家庭・学校をコーディネート	2人(家庭教育相談員兼SSW1人)	ハートケア教育サポーター2名がSSWの役割を果たし、児童生徒・家庭・学校をコーディネート	達成
95	ハートケア教育サポーター配置事業	指導員を3名に増員	指導員3名を継続	指導員3名を継続	主任指導員1名、指導員2名の3名を継続	指導員3人	主任指導員1名、指導員2名の3名を継続	達成
96	適応指導教室運営事業	みよし市教育センターへの移動に向け、準備	みよし市教育センターで適応指導教室を運営	みよし市教育センターで適応指導教室を運営	みよし市教育センターで適応指導教室を運営	1教室	みよし市教育センターで適応指導教室を運営	達成
オ	外国人児童生徒への支援							
97	初期日本語指導教室の運営	学習交流センターで継続実施。利用児童生徒のべ人数32人	学習交流センターで継続実施。利用児童生徒のべ人数40人	教育センターで継続実施。利用児童生徒のべ人数40人	教育センターで継続実施。利用児童生徒のべ人数48人		利用児童生徒延べ人数:教育センター内(なかよし教室)34人、三好丘小内(おかし教室)48人	達成
98	外国人の子どもへの支援者(日本語指導員・通訳等)の配置	学校の要望に合わせて3人の日本語指導員を派遣	学校の要望に合わせて3人の日本語指導員を派遣	学校の要望に合わせて3人の日本語指導員を派遣	学校の要望に合わせて3人の日本語指導員を派遣	必要校への配置	学校の要望に合わせて3人の日本語指導員を派遣	達成

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
99	日本語指導追加配教員を核とした指導体制の確立	必要とする子どもが10人以上いる4小学校に配置。他の学校には巡回指導	必要とする子どもが10人以上いる3小学校に配置。他の学校には巡回指導	必要とする子どもが10人以上いる5小学校に配置。他の学校には巡回指導	必要とする子どもが10人以上いる5小学校に配置。他の学校には巡回指導	必要とする子どもが10人以上いる5小学校に配置。他の学校には巡回指導	必要とする子どもが10人以上いる5小学校に配置。他の学校には巡回指導	達成
(2)特別支援教育の充実								
ア インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進								
100	居住地・居住地校交流の推進	中部小と黒笹小2校で実施	中部小、北部小、黒笹小3校で実施	北部小、三吉小2校で実施	緑丘小、三好丘中2校で実施	各校が希望者に対応	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
101	特別支援学校との学校間交流の推進	三好特別支援学校との交流を南部小と南中で実施	三好特別支援学校との交流を南部小と南中で実施	三好特別支援学校との交流を南部小と南中で実施	三好特別支援学校との交流を南部小と南中で実施	小学校2校 中学校1校	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため南部小は中止。南中はできる範囲での間接的な交流活動を実施	
102	教育支援委員会等を活用した継続的な支援の実現	市教育支援委員会年2回実施	市教育支援委員会年2回実施	市教育支援委員会年2回実施	市教育支援委員会年2回実施	年2回	市教育支援委員会年2回実施	達成
103	特別支援学級児童生徒交流事業	三好特別支援学校と南部小・南中の児童生徒がそれぞれ交流	三好特別支援学校と南部小・南中の児童生徒がそれぞれ交流	7月に市内特別支援学級児童生徒・保護者対象の宿泊行事、2月に交流会を実施	7月に市内特別支援学級児童生徒・保護者対象の宿泊行事、2月に交流会を実施	年2回	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	
104	医療ケアの必要な子どもへの支援の検討	福祉課が中心となり医療ケア実施に向けた準備	北部小学校児童1名が医療的ケア実施に向け、調整中	北部小学校児童2名が医療的ケアを実施	北部小学校児童2名が医療的ケアの福祉サービスを利用	必要に応じた検討	北部小学校児童2名が医療的ケアの福祉サービスを利用	達成
イ 特別支援教育に関する教員の資質向上								
105	特別支援教育に関する研修会の開催	教育課程研究会の伝達講習および放課後等デイサービスについての研修会	教育課程研究会の伝達講習および就労支援についての研修会	10月に県スキルアップ研修会の伝達講習について指導教官担当者対象の研修を実施	6月に特別支援教育対応教員補助者対象の研修、10月に県スキルアップ研修会の伝達講習と福祉課職員による研修を実施	年2回	6・7月の研修は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止、10月に福祉課と連携した放課後等デイサービス等についての研修を実施	達成
106	特別支援教育コーディネーター連絡会議での研修の実施	特別支援教育コーディネーターの業務や役割についての研修	県スキルアップ研修会の伝達講習および「みよし」つながりシート」の活用についての研修	特別支援教育コーディネーターの業務や役割についての研修を実施	5月に特別支援教育コーディネーター対象の研修と10月に特別支援教育に関する研修会と併せて実施	年2回	5月に特別支援教育コーディネーター対象の研修と10月に特別支援教育に関する研修会と併せて福祉課と連携した研修を実施	達成
ウ 障がい者への幼少期からの一貫した支援と関係機関の連携強化								
107	幼保小中合同事例検討会の開催	事例検討会までは実施できなかった	関係保育園・関係3課によるケース会議の実施(1回)	関係保育園・関係3課によるケース会議の実施	関係保育園・関係3課によるケース会議の実施(2回)	年2回 必要に応じて随時ケース会議を開催する	関係保育園・関係3課によるケース会議の実施(2回)	達成

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
108	(仮称)子ども総合支援センターとの連携	連携について自立支援協議会の児童部会などで検討	子育て総合支援センターの保育コンシェルジュが他機関へ相談を繋いでいく	子育て総合支援センターの保育コンシェルジュが「つながりシート」を作成し、市内幼稚園、保育園が「つながりシート」を提供した	子育て総合支援センターの保育コンシェルジュが「つながりシート」を作成し、市内幼稚園、保育園が「つながりシート」を提供した	随時	子育て総合支援センターの保育コンシェルジュ相談を実施	達成
109	「情報提供シート」の作成と活用	市内幼稚園・保育園にのみ実施し、28名の情報提供シートが小学校へ	市内幼稚園、保育園が「つながりシート」を作成し、小学校へ提供した	市内幼稚園、保育園が「つながりシート」を作成し、小学校へ提供した	市内幼稚園、保育園が「つながりシート」を作成し、小学校へ提供した	市内幼稚園等 在籍者にも拡大	市内幼稚園、保育園が「つながりシート」を作成し、小学校へ提供	達成
110	早期教育相談の実施	計28名に就学相談を実施	計31名に就学相談を実施	計21名に就学相談を実施	計21名に就学相談を実施	次年度以降に小学校に入学予定の幼児	計26名に就学相談を実施	達成
111	特別支援教育連携協議会の開催	年2回開催し、関係各機関との連携強化	年2回開催し、関係各機関との連携強化について検討	年2回開催し、関係各機関との連携強化について検討	年2回開催し、関係各機関との連携強化について検討	年2回	年2回開催し、関係各機関との連携強化について検討(第2回は書面により実施)	達成
112	みよし市障がい者自立支援協議会との連携	児童部会、就労支援部会への参画を図り、関係各機関と連携	児童部会、就労支援部会への参画を図り、関係各機関と連携	児童部会、就労支援部会への参画を図り、関係各機関と連携	児童部会、就労支援部会への参画を図り、関係各機関と連携	児童部会・就労支援部会への参画	児童部会、就労支援部会、医療的ケアさぽーと部会へ参画し、関係各機関と連携	達成
6 安心・安全・快適で信頼される学習環境を作る								
(1) 安心して送り出せる学校づくり								
ア いじめ防止の徹底								
113	ハートケア教育主任サポーターを中心とした学校支援	ハートケア教育主任サポーターが週に2回程度学校を訪問	ハートケア教育主任サポーター2名の学校訪問及び教職員教育相談実施	ハートケア教育サポーター2名の学校訪問及び教職員の相談実施	ハートケア教育サポーター(SSW)2名の学校訪問及び教職員の相談実施	2人 (家庭教育相談員兼SSW1人)	ハートケア教育サポーター(SSW)2名の学校訪問及び教職員の相談実施	達成
114	いじめ・不登校対策推進協議会、いじめ問題対策委員会の開催	いじめ・登校対策推進協議会及びいじめ問題対策委員会を2回実施	いじめ・登校対策推進協議会及びいじめ問題対策委員会を2回実施	いじめ・不登校対策推進協議会及びいじめ問題対策委員会を2回実施	いじめ・不登校対策推進協議会及びいじめ問題対策委員会を2回実施	年2回	新型コロナウイルスの影響により、いじめ・不登校対策推進協議会は1回、いじめ問題対策委員会は書面開催で2回実施	達成
イ 幼保小中の連携強化による校種間ギャップの解消								
115	幼保小中交流会の実施	幼保小中各校(園)で1回ずつ実施。参加者数のべ88人	幼保小中各校(園)で1回ずつ実施。参加者数のべ96人	南・北地区それぞれ3回ずつ実施。参加者数のべ95人	南・北地区それぞれ3回ずつ実施。参加者数のべ102人	幼保小中各校(園)で1回ずつ実施	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	
116	アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの周知と活用の推進	幼保小中交流会等で情報交換	みよし・つながりシートによる情報共有の推進	みよし・つながりシートによる情報共有の推進	みよし・つながりシートによる情報共有の推進	幼保小中での活用	みよし・つながりシートによる情報共有の推進	達成

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
ウ	防犯対策・防災教育の充実							
117	小中学校防災教育の推進	防災教育に関する教材や事業について、学校へ情報発信	防災教育に関する教材や事業について、学校へ情報発信	防災教育に関する教材や事業について、学校へ情報発信	防災教育に関する教材や防災安全課の防災教室について、学校へ情報発信	小中学校への教材配付	防災教育に関する教材や防災安全課の防災教室について、学校へ情報発信	
118	学校安全体制整備(スクールガード活動等)の強化	スクールガード2,402名登録	スクールガード2,365名登録	スクールガード2,707名登録	スクールガード2,49名登録	全小中学校で実施	スクールガード2,591名登録	達成
119	学校安全講習会の実施	6月に学校安全講習会を開催	6月に学校安全講習会を開催	9月に学校安全講習会を開催	9月に学校安全講習会を開催	年1回実施	新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため中止	
120	緊急メール配信システムの活用	市内の不審者情報等について、全小中学校保護者へ配信(15件)	市内の不審者情報等について、全小中学校保護者へ配信(12件)	市内の不審者情報等について、全小中学校保護者へ配信(20件)	市内の不審者情報等について、全小中学校保護者へ配信(13件)	全小中学校保護者へ配信	市内の不審者情報等について、全小中学校保護者へ配信(21件)	達成
エ	緊急時における危機管理体制の整備							
121	学校安全に関するマニュアルの見直し	学校安全マニュアルを見直すよう働きかけ、各校が見直し	弾道ミサイルへの対応を盛り込むなど、見直しを実施	各学校における危機管理マニュアルの見直しを実施	各学校における危機管理マニュアルの見直しを実施	教育委員会での指示・指導による見直し	各学校における危機管理マニュアルの見直しを実施	達成
122	市内小中学校全体の危機管理体制の整備	遊具やサッカークーボールなどの設置状況を点検。危機管理体制の見直しを働きかけ	設備の安全点検を毎月実施。エドペン講習会やAED講習会を実施	各学校で、危機管理マニュアル及び危機管理体制の点検及び見直しを実施	各学校で、危機管理マニュアル及び危機管理体制の点検及び見直しを実施	教育委員会で総括	各学校で、危機管理体制の点検及び見直しを実施	達成
(2)安全・快適な学習環境の整備								
ア 大規模改修による学校施設の整備								
123	小学校大規模改修工事を計画的実施	計画的な事業中断期間。平成30年度事業再開予定	計画的な事業中断期間。平成30年度事業再開予定	三吉小大規模改修(1期)工事完了。主な改修は、プール・体育館の施設環境改善。	令和2年3月に三吉小大規模改修(1期)工事完了予定。主な改修は、プール・体育館の施設環境改善。	8校中2校で改修が必要	三吉小学校管理棟増築工事設計業務委託実施。工事は令和3年度に三吉小学校大規模改修(2期)工事と併せて実施予定	達成
124	中学校大規模改修工事を計画的実施	北中学校大規模改修(1期)工事を実施。主な改修は、南校舎・武道場の施設環境改善	北中大規模改修(2期)工事実施。主な改修は、北校舎・技術科室棟、体育館の施設環境改善	北中大規模改修(3期)工事実施。主な改修は、プール・外構の施設環境改善	計画的な事業中断期間。令和3年度事業再開予定。	4校中1校で改修が必要	計画的な事業中断期間。令和3年度事業再開予定	達成
イ 快適な学びの環境づくり								
125	エレベーターの設置	北中大規模改修において、最上階まで利用できるエレベーターの改修。12校中9校完了	計画的な事業中断期間。	計画的な事業中断期間。	計画的な事業中断期間。	最上階まで設置12校中10校	計画的な事業中断期間。	

作戦12

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
126	教育施設のバリアフリー化の推進 (段差スロープの設置)	平成27年度で全小中学校完了。平成28年度以降は取り組みなし	—	—	—	バリアフリー化の完了 全小中学校	平成27年度完了	達成
127	トイレのドライ化	北中学校大規模改修において、トイレのドライ化。12校中4校完了	12校中2校は建設時からドライ、4校は改修でドライ化実施	計画的な事業中断期間。	令和2年3月に設計業務委託完了。対象小中学校は中部小、南部小、三好小、三好丘小、緑丘小。三吉小学校を除いた4校の工事は令和2年度実施予定。三吉小学校は令和3年度に大規模改修工事内で実施予定。	トイレのドライ化12校中6校完了	中部小、南部小、三好丘小、緑丘小のトイレのドライ化完了。三吉小は令和3年度に大規模改修工事内でトイレのドライ化実施予定。	達成
ウ 安全な通学路の整備								
128	通学路標識、安全のみどり線の設置	みどり線を新規設置要望箇所へ片側設置、通学人数の多い箇所へ両側設置(4地区)	みどり線を新規設置要望箇所へ片側設置、通学人数の多い箇所へ両側設置(6地区)	みどり線を新規設置要望箇所へ片側設置、通学人数の多い箇所へ両側設置(4地区)	みどり線を新規設置要望箇所へ片側設置、通学人数の多い箇所へ両側設置(11地区)	道路の両側に設置	みどり線を新規設置要望箇所へ片側設置、通学人数の多い箇所へ両側設置(7地区)	
129	合同点検及び対策案会議の開催	年1回、警察関係者、道路管理者、学校関係者での合同点検と対策案会議	年1回、警察関係者、道路管理者、学校関係者での合同点検と対策案会議	年1回、警察関係者、道路管理者、学校関係者での合同点検と対策案会議	年1回、警察関係者、道路管理者、学校関係者での合同点検と対策案会議	年1回	年1回、警察関係者、道路管理者、学校関係者での合同点検と対策案会議	
エ 学校予算の有効利用の推進								
130	需用費等教育予算の配当方法の検討	需用費については、学校の希望を取り入れた予算配分を実施	需用費については、学校の希望を取り入れた予算配分を実施	需用費について、学校の希望を取り入れた予算配分を実施	R2年度当初予算に学校裁量を取り入れた予算編成を実施	学校裁量を取り入れた予算配当	R3年度当初予算に学校裁量を取り入れた予算編成を実施	達成
131	各校での予算編成委員会の開催推進	予算編成委員会を開催した学校の増加	予算編成委員会を開催した学校の増加	予算編成委員会を設置した11校	予算編成委員会を設置した11校	予算編成委員会開催 12校	予算編成委員会設置校 11校	
132	学校事務共同実施組織による予算の有効利用の推進	学校事務共同実施の共通で、公費市費負担の共通化	学校事務共同実施の中で、学年会計システムを統一	学校事務共同実施の中で統一した学年会計システムを継続活用	学校事務共同実施で使用する用紙を共同調達した場合を試算	具体的な業務改善5年間で10個以上	学校事務共同実施の中で保護者負担を軽減する上での公費有効活用を検討	
(3)信頼される学校づくりの推進								
ア 12校の連携強化による教職員の資質向上								
133	中堅教職員を活用した自主研修体制づくり	研修体制の整理の中で、実施の方法を検討	自主研修について各校校長よりヒアリング実施	中堅教職員を活用した研修3回実施。	自主研修として「みよし教師塾」を3回実施。	中堅による自主研修年10回	新型コロナウイルス感染症対策のため、みよし市教師塾は中止	

作戦13

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
134	さまざまな教育情報の一元化	セキュリティ面での課題対応を優先したため、未実施	学校間をまたぐNAS設置に向けての環境整備	学校間をまたぐNAS設置に向けてネットワークの見直し案を作成	みよし市ファイル基準を作成し、運用を開始	校務支援システム内への集約	みよし市File shareに、授業実践事例などを集約、常時閲覧可能な環境を整備	達成
135	中学校区での小中・小連携の推進	小中合同あいさつ運動、校務支援委員会共同研修会を実施	三好中学校区での継続実施・人権を核とした三好丘中学校区実践	三好中学校区での継続実施・人権を核とした三好丘中学校区実践	三好中学校区・三好丘中学校区での連携を継続実施し、他地区へ取組を発信	市内全ての中学校区での実践	新型コロナウイルス感染症拡大のため、できる範囲で連携	
イ 地域と共に歩む学校づくりの推進								
136	校区委員会による学校支援体制の充実	全校で校区委員会が実施され、地域・家庭・学校の連携強化	全校で校区委員会が実施され、地域・家庭・学校の連携強化	全校で校区委員会が実施され、地域・家庭・学校の連携強化	全校で校区委員会が実施され、地域・家庭・学校の連携強化	学校支援にかかわる機会の連携促進	全校で校区委員会が実施され、地域・家庭・学校の連携強化	
137	学校評価を活用した学校運営の改善	12校の結果と考察を配布。複数回の学校評価を行う学校が増加	12校の結果と考察を今後配布。複数回の学校評価を行う学校が増加	12校の結果と考察を今後配布。全ての学校で複数回学校評価を行っている	12校の結果と考察を今後配布。全ての学校で複数回学校評価を行っている	評価結果を基にした取り組み例を示	12校の結果と考察をホームページに掲載及び配付。全ての学校で複数回学校評価を実施	
138	学校評議員会の実施	全校で学校評議員会実施	全校で学校評議員会実施	全校で学校評議員会実施	全校で学校評議員会実施	全校で実施	全校で学校評議員会実施	達成
139	みよし市PTA連絡協議会の活動推進	市内PTAの情報交換事業実施。県PTA、三河PTAの研修会等への参加	市内PTAの情報交換事業を実施。県PTA、三河PTAの研修会等への参加	市内PTAの情報交換事業を実施。県PTA、三河PTAの研修会等への参加	県・市内PTAの情報交換会を実施。県PTA、三河PTAの研修会等への参加	家庭と学校の連携強化	市内PTAの情報交換会を実施。県PTA、三河PTAの研修会等への参加	達成
140	ホームページを活用した情報発信	全校で継続的に積極的な発信	積極的な発信により、アンケートでの満足度上昇	全校で継続的に積極的な発信を実施	全校で継続的に積極的な発信を実施	全校で実施	全校で継続的に積極的な発信を実施	達成
ウ 業務の効率化と精選								
141	学校間連携(チームみよし)による業務効率化の推進	校内授業研究の学校間公開の一般化。三好中・三好丘中学校区で小中・小の連携	各校の講師招聘研修を一元化し、H30年からの連携強化を計画	各校の講師招聘研修情報を共有し、相互参加を推進	各校の講師招聘研修情報を共有し、相互参加を推進	具体的な業務改善5年間で10個以上	各校の講師招聘研修情報を共有し、相互参加を推進	
142	学校事務共同実施による業務の効率化	市会計のシステムが電子化し、学校事務職員の業務が効率化	学年会計システムにより統一様式での処理が可能となり、業務が効率化	学校行事カレンダーと任用フォルダの作成により業務効率化へつながる取組	学校行事カレンダーと私費購入教材の標準仕様書作成により業務効率化へつながる取組	具体的な業務改善5年間で10個以上	人事関係事務フォルダの改修と学校における現金の取扱い縮小の可能性を探る取組を実施	
143	校務支援システム改善による業務の効率化	校務支援システムを活用し、全ての学校で要録作成	校務支援システムを活用し、全校で通知表、公立入試調査書を作成	校務支援システムを活用し、週案や各種日誌を作成	週案や各種帳票をカスタマイズし、校務支援システムの活用を促進	多忙と感じる教職員の割合の減少	校務支援システムの活用を促すため、保健関係の帳票類等のカスタマイズ後の不具合を調整	

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
II 生涯にわたって学び続ける市民を応援する								
1 生涯学習環境を整える								
(1)生涯学習環境の整備								
ア サンドライプの生涯学習拠点化の推進								
144	生涯学習講座の開催	子どものプログラミング講座など、13講座を土曜開催	初心者さんのガーデニング教室など、43講座を夜間・土日に開催	夜間に12講座、土日に45講座を開催	夜間に15講座、土日に25講座を開催	サンドライプでの夜間、土日の講座開催	夜間に3講座、土日に1講座を開催	達成
145	人材バンクを活用した指導者の確保	人材バンクに登録されている情報を活用し、講座を開催	人材バンクの情報を活用した講座を開催(秋冬講座:フランス式アロマテラピー)	人材バンクの情報収集	人材バンクの情報収集	市民人材バンクの活用	人材バンクの情報収集	
146	生涯学習の情報提供と情報交換の推進	情報誌、広報、HP、CATV、新聞広告、地区回覧などで生涯学習情報を提供	情報誌、広報、HP、CATV、新聞広告、地区回覧などで生涯学習情報を提供	情報誌、広報、HP、CATV、新聞広告、地区回覧などで生涯学習情報を提供	情報誌、広報、HP、CATV、新聞広告、地区回覧などで生涯学習情報を提供	情報誌、広報、HP、CATV、新聞広告などで提供	広報、HP、CATV、新聞広告、地区回覧などで生涯学習情報を提供	達成
イ 地域や自主的サークルによる生涯学習の推進								
147	生涯学習を推進する団体へ助成	行政区(6行政区)や新たに生涯学習活動を始めた団体(1団体)に助成	行政区(7行政区)に助成	行政区(5行政区)に助成	行政区(5行政区)に助成	実施地区や新団体への助成	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実績なし	
ウ ライフステージに応じた生涯学習環境の充実								
148	小学生の親子で受講する講座の開催	栄養教諭を招いての給食クッキング講座など、11講座をサマースクールとして実施	栄養教諭を招いての給食クッキング講座など、10講座をサマースクールとして実施	子ども限定講座を12講座開催	子ども限定講座を8講座開催	子ども対象講座を通年で開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
149	高齢者優先講座の開催	高齢者優先講座や高齢者限定講座を16講座開催	高齢者優先講座や高齢者限定講座を15講座開催	情報・通信講座でシニア優先の講座を24講座開催	情報・通信講座等でシニア優先の講座を30講座開催	高齢者優先講座の開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため募集方法を先着順に変更シニア優先の講座なし	
エ 高等教育機関(愛知教育大・東海学園大)との連携								
150	愛知教育大学、東海学園大学による連携公開講座の開催	愛知教育大学連携公開講座を実施(2回)	愛知教育大学連携公開講座を開催	愛知教育大学連携公開講座を開催(2回)	愛知教育大学連携公開講座を開催(2回)	連携公開講座開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
オ サンドライプ等、生涯学習関連施設の環境整備の推進								
151	サンアート大規模改修工事	小ホール舞台電気設備や、老朽化した空調機器の更新。ホール・舞台周りの実施設計完了	受変電設備や大ホール舞台電気設備の更新。内装、トイレ洋式化等の実施設計完了	平成32年度の大規模改修工事に向けて設計委託を完了。平成32年2月設計完了。	令和2年3月に設計業務委託完了予定。工事は令和2年度実施予定。	大規模改修計画の半分を消化	令和2年5月から大規模改修工事実施中。令和3年10月に工事完了予定	
152	図書館学習交流プラザが建設事業	「情報の道」の整備等の外構工事や備品等の設置をし、7月2日に開館	平成28年度に建設完了	—	—	魅力ある生涯学習施設の供用	平成28年度に建設完了	達成

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
153	図書館学習交流プラザ管理運営事業	所管課を生涯学習推進課に移管し、魅力ある施設となるよう運営	複合施設としての強みを生かし、魅力ある施設となるよう運営	複合施設としての強みを生かし、魅力ある施設となるよう運営	複合施設としての強みを生かし、魅力ある施設となるよう運営	魅力ある生涯学習施設の運営	複合施設としての強みを生かし、魅力ある施設となるよう運営	達成
2 生涯スポーツを推進する								
(1)行なうスポーツの推進								
ア 総合型地域スポーツクラブの育成								
154	総合型地域スポーツクラブの創設及び運営支援	6月18日に三好ともいきスポーツクラブが創設	総合型地域スポーツクラブ3団体に、運営補助金等の支援	総合型地域スポーツクラブ3団体に、運営補助金等の支援	総合型地域スポーツクラブ3団体に、運営補助金等の支援	総合型地域スポーツクラブ3団体	総合型地域スポーツクラブ3団体に、運営補助金等の支援	達成
155	クラブマネージャー、アシスタントマネージャー資格取得の支援	三好ともいきスポーツクラブにクラブマネージャーを設置	総合型地域スポーツクラブ3団体にそれぞれにクラブマネージャーを設置	総合型地域スポーツクラブ3団体にそれぞれにクラブマネージャーを設置	総合型地域スポーツクラブ3団体にそれぞれにクラブマネージャーを設置	マネージャーの増員	総合型地域スポーツクラブ3団体にそれぞれにクラブマネージャーを設置	達成
イ「カヌーのまち みよし」の推進								
156	カヌー施設の更新	自動発艇装置の修繕を実施	競技場コース修繕を実施	自動発艇装置の点検、コースブイの更新	自動発艇装置の点検、引揚および保田ヶ池競技場にスプリントコース設置	自動発艇装置、コースブイ更新	保田ヶ池競技場に臨時スプリントコース設置	
ウ 誰もが楽しめるレクリエーションスポーツの推進								
157	レクリエーションスポーツフェスタ、カローリング交流会のPR	チラシなどに障がい者にも呼びかけ、三好特別支援学校の児童生徒にチラシを配布	チラシなどに障がい者にも参加可能な旨を謳い、三好特別支援学校の児童生徒にチラシを配布	チラシなどに障がい者にも参加可能な旨を謳い、三好特別支援学校の児童生徒にチラシを配布	チラシなどに障がい者にも参加可能な旨を謳い、三好特別支援学校の児童生徒にチラシを配布	高齢者・障がい者施設でのPRを加える	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、代替として自宅・近所で取り組める運動啓発を実施	
エ 小学校プールの一般開放								
158	小学校プールの一般開放	市内全ての小学校で開催。延べ60日間、利用者合計9,163人、1日平均153人	市内全ての小学校で開催。延べ56日間、利用者合計7,894人、1日平均141人	市内全ての小学校で開催。延べ56日間、利用者合計8,897人、1日平均159人	三吉小学校が工事中のため、7校で開催。延べ49日間、利用者合計8,136人、1日平均166人	開催校8校	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止	
オ スポーツによる高齢者の介護予防対策								
159	大学との地域連携による高齢者向けスポーツイベント開催	東海学園大学と三好ともいきスポーツクラブが連携し、高齢者対象の公園体操やボールウォーキング、健康相談等を実施	東海学園大学とともいきスポーツクラブが連携し、高齢者対象の公園体操やボールウォーキング、健康相談等を実施	東海学園大学とともいきスポーツクラブが連携し、高齢者対象の公園体操やボールウォーキング、健康相談等を実施	東海学園大学とともいきスポーツクラブが連携し、高齢者対象の公園体操やボールウォーキング、健康相談等を実施	年1回開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自主事業として公園体操を実施	
160	保健師・健康運動指導士の配置	健康度評価システムの構築。平成29年度より体育館トレーニング室にて開始予定	体育館トレーニング室にて健康度評価事業(いきいき元気測定)の実施。166件	体育館トレーニング室にて健康度評価事業(いきいき元気測定)の実施。126件	体育館トレーニング室にて健康度評価事業(いきいき元気測定)の実施。73件	週1回午前中健康度評価事業(いきいき元気測定)の実施	健康度評価事業(いきいき元気測定)の実施。4月～8月コロナのため中止、9月以降定員を6人から3人に変更。45件	達成

作戦16

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
161	総合体育館トレーニングルームの拡充	12月に整備完了	H28年度に整備済み	—	—	2部屋	H28年度に整備済み	達成
162	介護予防教室の開催	各行政区月1～2回	各行政区月1～2回	各行政区月1～6回 (3か所の地域包括支援センターごとに実施 きたよし:255回、なかよし: 141回、みなよし:172回)	各行政区月1～6回 (3か所の地域包括支援センターごとに実施 きたよし:241回、なかよし: 179回、みなよし:164回)	各行政区月2回	地域包括支援センターごとに実施 きたよし117回、なかよし 54回、みなよし69回)	達成
(2) 観るスポーツ・支えるスポーツの推進								
ア 2020年東京オリンピックのキャンプ候補地誘致活動								
163	誘致に必要な情報収集	三好池の堤防耐震工事の実施に伴い三好池の工事計画の状況を確認	三好池の堤防耐震工事の実施に伴い三好池の工事計画の状況を確認	三好池の堤防耐震工事の実施に伴い三好池の工事計画の状況を確認	三好池の堤防耐震工事の実施に伴い三好池の工事計画の状況を確認	年3回現地調整	三好池の堤防耐震工事の実施に伴い三好池の工事計画の状況を確認	
164	キャンプ候補地申請	カヌースプリント競技のキャンプ候補地として県に申請	カヌースプリント競技のキャンプ候補地として県に引き続き申請中	カヌースプリント競技のキャンプ候補地として県に引き続き申請中	カヌースプリント競技のキャンプ候補地として県に引き続き申請中	カヌー種目	会場候補地の工事により、カヌースプリント競技のキャンプ候補地と認定されず	
イ トップスポーツの試合観戦の推進								
165	パートナージョブ協定の締結	2月15日に市と御名古屋グランパスエイトの間におけるパートナーシップ協定締結	10/18に市とトヨタ自動車サンホークスの間におけるホームタウンパートナー協定締結	7/5に市とアドマテックスファイアーズの間におけるホームタウンパートナー協定締結	協定を締結したホームタウンパートナーと協働事業を実施	協定の締結	10/21に市とトヨタ自動車ヴェルブリッジの間におけるホームタウンパートナー協定締結	達成
166	Jリーグ親子サッカー観戦	8月27日のFC東京戦にてJリーグ親子無料観戦実施。申込者189組378人。当日観戦者252人	8月26日の横浜FC戦にて名古屋グランパスが親子無料観戦実施。(募集:500組1,000人)	8月5日のガンバ大阪戦にて名古屋グランパスが親子無料観戦実施。(募集:1300組2600人みよし市、豊田市、刈谷市を対象に)	7月20日のガンバ大阪戦にて名古屋グランパスが親子無料観戦実施。(募集:1,500組3,000人みよし市、豊田市、刈谷市を対象に)	500組	12月19日のサンフレッチェ広島戦にて名古屋グランパスが親子無料観戦実施。(募集:1,000組2,000人みよし市、豊田市、刈谷市を対象に)	達成
ウ スポーツツイイベントボランティアの育成								
167	スポーツツイイベントボランティアの登録	市スポーツツイイベントボランティアに26人登録。カローリング交流会やマラソン駅伝大会などで活動	市スポーツツイイベントボランティアに29人登録。カローリング交流会やマラソン駅伝大会などで活動	市スポーツツイイベントボランティアに29人登録。カローリング交流会やマラソン駅伝大会などで活動	市スポーツツイイベントボランティアに45人登録。カローリング交流会やマラソン駅伝大会などで活動	60人	市スポーツツイイベントボランティアに19人登録。	
(3) スポーツ環境の整備と交流の促進								
ア 体育施設の大規模改修の推進								
168	屋外スポーツ施設の老朽化の調査	概算での基礎調査費の積算を実施	未実施	未実施	未実施	基礎調査の実施	業者による施設点検を実施	
169	基礎調査を基とした改修計画の策定	未実施	未実施	未実施	未実施	改修計画の策定	個別施設計画を策定	達成

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
イ	自然に親しみ、健康づくりのできる公園・スポーツ施設の整備							
170	三好池周辺の環境調査	未実施	未実施	未実施	未実施	報告書作成	未実施	
171	市民を対象とした聞き取り調査	未実施	未実施	未実施	未実施	報告書作成	アンケート調査及びスポーツ団体への聞き取り調査の実施	達成
172	保田ヶ池公園の拡張整備	公園南側の拡張区域造成と、園路の整備実施	公園南側の拡張区域造成と、園路の整備実施	公園南側の拡張区域造成と、園路の整備実施	公園南側の拡張区域造成と、園路の整備実施	拡張整備の実施	公園南側の拡張区域造成と、園路の整備実施	達成
ウ	スポーツによる青少年の地域間交流の推進							
173	みよし市スポーツ少年交流団の派遣	土別市へ小学生15人でサッカーチーム、同じく26人で野球チームを結成し、それぞれ8月に派遣	土別市へ小学生16人でサッカーチーム、同じく24人で野球チームを結成し、それぞれ8月に派遣	土別市へ小学生14人でサッカーチーム、同じく26人で野球チームを結成し、それぞれ8月に派遣	土別市へ小学生12人でサッカーチーム、同じく16人で野球チームを結成し、それぞれ8月に派遣	サッカー1団 野球1団	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、派遣中止	
174	土別市スポーツ少年交流団の受入	土別市から小学生8人のサッカーチーム、同じく14人の野球チームを、それぞれ3月に受入れ	土別市から小学生10人のサッカーチーム、同じく18人の野球チームを、それぞれ3月に受入れ	土別市から小学生11人のサッカーチーム、同じく8人の野球チームを、それぞれ3月に受入れ	3月に予定していた、土別市からの小学生サッカー及び野球チームの派遣が中止となったため、受入れ中止	サッカー1団 野球1団	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため土別市からの派遣が中止となったため、受け入れ中止	
3 文化活動を活性化する								
(1)みよしの伝統文化の保存と継承								
ア 歴史民俗資料館展示資料の充実								
175	資料館と石川家住宅の特徴をいかし、連携した展示の実施	ひな人形展に合わせ、石川家住宅でもひな人形を展示、スタンブラリー開催。ろくろ体験を石川家住宅で実施	ひな人形展に合わせ、石川家住宅でもひな人形を展示、スタンブラリー開催。ろくろ体験を石川家住宅で実施	2月1日から開催するひな人形展に合わせ、2月2日より石川家住宅でもひな人形を展示し、スタンブラリーを開催	ひな人形展に合わせ、石川家住宅でもひな人形を展示。資料館、石川家住宅、サンライズ・サンアートをめぐるスタンブラリーを同時開催	資料館・石川家住宅が連携した展示等	ひな人形展に合わせ、石川家住宅でもひな人形を展示	達成
176	新資料館構想の策定準備	県内外の資料館・博物館の資料を収集	県内外の資料館・博物館の資料を収集	県内外の資料館・博物館の資料を収集	県内外の資料館・博物館の資料を収集	策定委員会の発足	資料館のあり方検討会の発足準備	
177	資料館常設展示資料の更新	企画展示室の全面リニューアルを実施。企画展を3回実施	企画展「みよし最後のやきもの」、「昆虫展」、「ひな人形展」並びに、特別展「伊勢門水展」を開催	企画展「猿投古陶×陶芸」、「色から見たみよしのやきもの」、「ひな人形展」並びに、特別展「のぞいてみよう！世界の民俗飯面」を開催。常設展示では、「むかしの食卓」の展示を実施し、解説資料の作成	企画展「みよしの遺跡を掘る 発掘調査成果展」、「東海の化石から探る、生きものの4億年」、「ひな人形展」並びに、特別展「太古のローマ」を求めて 稲垣輝行氏石器コレクション展」を開催	常設展示のリニューアル 新企画の実行	企画展「黒笹90号窯跡展」、「第39回ひな人形展」並びに特別展「下り松瓦窯と西三河の古代瓦」を開催	達成

作戦17

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
イ 文化財の保護と活用								
178	小学校などへの貸出資料の拡充及び説明資料の作成	貸出資料の種類、点数を増やした	貸出資料の点数を増やし、出張解説を実施した	貸出資料の点数を増やし、出張解説を実施した	貸出資料の点数を増やし、出張解説を実施した	貸出資料の説明資料の作成	貸出資料の種類、点数を増やし、出張解説を実施した	達成
179	指定文化財の保護・保存(三好上・三好下山車及び保存庫、資料館本館・木造棟、酒井家金比羅宮・収蔵庫)	三好上・下山車及び保存庫のくん蒸作業	資料館本館及び木造棟のくん蒸作業	酒井家金比羅宮及び資料館収蔵庫のくん蒸作業	三好上・下山車及び保存庫のくん蒸作業	害虫等からの保護・保存	資料館本館のくん蒸作業	達成
180	歴史・民俗資料の収集・整理 収蔵資料目録や文化財目録などの発行	収蔵資料の整理(民具、古文書、出土遺物)	収蔵資料の整理(民具、古文書、出土遺物)	収蔵資料の整理(民具、古文書、出土遺物)	収蔵資料の整理(民具、古文書、出土遺物)	収集・整理の実施、目録の発行	収蔵資料の整理(民具、古文書、出土遺物)	
ウ 郷土芸能の保存と伝承、発展向上のための支援								
181	市指定有形民俗文化財山車保存維持活動への支援	三好上、三好下の山車保存活動に補助金交付	三好上、三好下の山車保存活動に補助金交付	三好上、三好下の山車保存活動に補助金交付	三好上、三好下の山車保存活動に補助金交付	支援の実施	三好上、三好下の山車保存活動に補助金交付	達成
182	無形民俗文化財郷土芸能(お囃子・棒の手)伝承活動への支援	お囃子(7地区)と棒の手の伝承活動に補助金交付	お囃子(7地区)と棒の手の伝承活動に補助金交付	お囃子(7地区)と棒の手の伝承活動に補助金交付	お囃子(7地区)と棒の手の伝承活動に補助金交付	支援の実施	お囃子(7地区)と棒の手の伝承活動に補助金交付	達成
183	郷土芸能伝承活動発表会の開催	郷土芸能伝承活動発表会を9月11日サンアートで開催	郷土芸能伝承活動発表会を9月10日サンアートで開催	郷土芸能伝承活動発表会を9月9日サンアートで開催	郷土芸能伝承活動発表会を9月8日サンアートで開催	発表会の開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
エ 埋蔵文化財の整理と保存								
184	寄贈石器資料の整理	公開のため、写真撮影、注記、台帳作成	公開のため、写真撮影、注記、台帳作成	公開のため、写真撮影、注記、台帳作成	寄贈石器並びに関連資料の特別展示開催	資料の公開と図録の作成	整理完了に伴い適正に保存・管理	達成
185	学校授業での埋蔵文化財の活用	出張授業の説明を全小中学校に実施。南部小・北部小の2校で開催	出張授業の説明を全小中学校に実施。南部小・三好丘小の2校で開催	出張授業の説明を全小中学校に実施。本年度は要望がなかった。	出張授業の説明を全小中学校に実施。南中、三好丘中、三好丘小、黒笹小、緑丘小で実施	全小中学校での出張授業の実施	出張授業を三好丘小学校で実施。	

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
186	発掘調査で得た遺物・記録類の整理と報告書の作成	土器の水洗い・乾燥・復元などを実施。写真図面などの整理	土器の水洗い・乾燥・復元などを実施。写真図面などの整理	土器の水洗い・乾燥・復元などを実施。写真図面などの整理	土器の水洗い・乾燥・復元などを実施。写真図面などの整理	定期的な報告書の刊行	土器の水洗い・乾燥・復元などを実施。写真図面などの整理	
187	市内の開発で失われる遺跡の緊急的な発掘調査	遺跡の試掘26件、工事立会17件、発掘2件を実施	遺跡の試掘20件、工事立会15件、発掘1件を実施	遺跡の試掘18件、工事立会8件、発掘3件を実施	遺跡の試掘23件、工事立会7件、発掘2件を実施	調査の実施	遺跡の試掘27件、工事立会7件、発掘3件を実施	達成
188	黒笹27・90号窯跡・福谷城跡の保全管理	黒笹27号、福谷城跡の草刈りを実施。福谷城跡の雑木伐採	黒笹27号、福谷城跡の草刈りを実施。福谷城跡の雑木伐採	黒笹28号、福谷城跡の草刈りを実施。福谷城跡の雑木伐採	黒笹28号、福谷城跡の草刈りを実施。福谷城跡の雑木伐採	定期的な環境整備	黒笹27号、福谷城跡の草刈りを実施。福谷城跡の雑木伐採	達成
オ 石川家住宅の活用								
189	建物・庭園などの雰囲気を活かした、時代が感じられる展示の実施	石川家住宅主催のまちなかギャラリーを48品目の出品応募により実施	石川家住宅主催のまちなかギャラリーを57品目の出品応募により実施	石川家住宅主催の町なかアートギャラリーを67点の出品応募により実施	石川家住宅主催の町なかアートギャラリーを64点の出品応募により実施	雰囲気を活かした展示の実施	石川家住宅主催の町なかアートギャラリーを26点の出品応募により実施	達成
190	小学校の社会科授業で活用できる冊子の作成	小冊子を作成。社会科見学で来館した中部小3年生全員に配布	小冊子を作成。社会科見学で来館した天王・三吉・黒笹小学校3年生全員に配布	小冊子を作成。社会科見学で来館した中部・三吉・黒笹小学校3年生全員に配布	小冊子を作成。社会科見学で来館した三吉小学校3年生全員に配布	冊子の作成	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため小学校の来館中止	達成
191	交流の場を創設するイベント事業の実施	講座(毎週土・日)開催。夏祭り、町なかアートギャラリー、クイズラリー開催。利用者主催イベント、コンサート、セタ茶会、おこしものづくり開催	講座(毎週土・日)開催。夏祭り、町なかアートギャラリー、クイズラリー開催。利用者主催イベント、コンサート、セタ茶会、おこしものづくり開催	講座(毎週土・日)開催。なつまつり、町なかアートギャラリー、クイズラリー開催。利用者主催イベントとして、コンサート、セタ茶会、おこしものづくり開催	講座(毎週土・日)開催。なつまつり、町なかアートギャラリー開催。利用者主催イベントとして、コンサート、市民茶会開催	イベント事業の拡充	講座(平日・土・日)開催。町なかアートギャラリー開催。利用者主催イベントとして、コンサートなど開催	達成
(2)市民の読書活動の推進								
ア サンドライプでの充実した図書館サービスの推進								
192	ティーンズコーナーの設置	ティーンズ図書460冊購入	ティーンズ図書458冊購入(H30.1月末時点)	ティーンズ図書536冊購入(H31.3月末時点)	ティーンズ図書765冊購入	ティーンズコーナーでの図書整備	ティーンズ図書457冊購入(R2.12月末時点)	達成
193	おはなしのへやの設置	おはなし会を月4～5回、ちいさい子のためのおはなし会を月4回、みんなのおはなし会を月2回実施	おはなし会を月4～5回、ちいさい子のためのおはなし会を月4回、みんなのおはなし会を月2回実施	おはなし会を月4～5回、ちいさい子のためのおはなし会を月4回、みんなのおはなし会を月2回実施	おはなし会を月4～5回、ちいさい子のためのおはなし会を月4回、みんなのおはなし会を月2回実施	おはなし会の実施週1回以上	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
194	生活に関する一般図書をコーナーに集約	生活に関する一般図書を15,000冊配架	生活に関する一般図書を16,502冊配架(H30.1月末時点)	生活に関する一般図書を21,569冊配架(H31.3月末時点)	生活に関する一般図書を25,165冊配架	生活に関する一般図書 24,000冊	生活に関する一般図書を26,317冊配架(R3.1月末時点)	達成

作戦18

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
195	一般図書の整備 児童書、絵本の整備 視聴覚資料の整備	61,000冊配架 13,000冊配架 1,850点整備	66,000冊配架 31,000冊配架 3,389点整備	66,640冊配架 35,600冊配架 4,800点整備	72,500冊配架 35,900冊配架 5,460点整備	93,000冊整備 18,000冊整備 5,000点整備	85,829冊配架 35,801冊配架 5,298点整備	
イ 読書啓発事業の推進								
196	図書館だよりの発行	図書館だよりの発行 だよりを隔月で発行	図書館だよりの発行 だよりを隔月で発行	図書館だよりの発行 だよりを隔月で発行	図書館だよりの発行 だよりを隔月で発行	図書館だよりの発行 だよりを隔月で発行	図書館だよりの発行 だよりを隔月で発行	
197	読書講演会の開催	パンフィクション作家の柳田邦男講演会(11月)をはじめ、読書講演会を3回実施	童話作家の藤真知子氏講演会(9月)、小説家の鈴木輝一郎氏講演会の2回実施	イラストレーター、絵本作家の山口マオ講演会(11月)、写真家今森光彦氏講演会(3月)の2回実施	翻訳家菱木晃子氏、昔話研究家小澤俊夫氏、児童文学作家矢崎節夫氏の3回実施	読書講演会 年1回実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
198	定期講座、特別講座の開催	「夏の怖いお話講座」(3回シリーズ)をはじめ、6種類の講座を実施	かがくあそび教室、近代文学講座、てづくり絵本教室を実施	かがく教室、近代文学教室、ワークショップ、中高生向けワークショップ、人形劇を実施	近代文学教室、お父さんの絵本教室、ストーリーテリング、絵本ライブ、絵本とわらべうた教室を実施	各種講座の実施	大人も楽しめる絵本講座、親子絵本ワークショップ、読み聞かせ講座、ビブリオバトルを開催	達成
199	読書ノートの配布・活用	新しい利用者カードに切り替えた中学生以下の児童生徒に配布	利用者カードを所持する市内中学生以下へ配布を継続	利用者カードを所持する市内中学生以下へ配布を継続	利用者カードを所持する市内中学生以下へ配布を継続	利用者カードを所持する中学生以下へ配布	利用者カードを所持する市内中学生以下へ配布を継続	達成
ウ 図書館支援団体の育成								
200	ボランティア養成講座の開催	ボランティア養成講座「読み聞かせボランティアレベルアップ講座」を実施	読み聞かせボランティア養成コース、ストーリーテラー養成教室、対面朗読ボランティア養成教室を実施	読み聞かせボランティア養成コース(3回)、図書館支援団体ステップアップ教室、対面朗読教室の実施	読み聞かせボランティア養成コース(3回)の実施	ボランティア養成講座 年1回実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
201	ボランティア団体の設立及び支援	お話し会関連5団体、手作り絵本関連1団体の計6団体に対する支援	読み聞かせ団体5団体、手作り絵本関連1団体に対する支援	読み聞かせ団体5団体、手作り絵本関連1団体に、対する支援及び朗読ボランティアグループの設立	読み聞かせ団体6団体、手作り絵本関連1団体、朗読ボランティアグループ1団体に対する支援	ボランティア団体 7団体	読み聞かせ団体6団体、手作り絵本関連1団体、朗読ボランティアグループ1団体に対する支援	達成
(3)本の好きな子の育成								
ア 学校図書館教育の推進								
202	学校図書館を活用した授業の研究推進	学校図書館を活用した研究はなし。今後、広げていく	H31年三教研夏季研で学校図書館の発表が決定。H30に推進	学習情報センターとしての学校図書館の役割に関する研究の推進(H31:県の学校図書館研究大会で発表内容の検討)	学校図書館が学習情報センターとしての役割に関する研究の推進。県内の学校図書館研究大会で発表	授業実践例の発信	新型コロナウイルス感染症対策のため、学校図書館の活用を縮小	
203	学校図書館の蔵書充実	蔵書率100%達成校 10校	蔵書率100%達成校 7校	蔵書率100%達成校 2校	蔵書率100%達成校 12校	蔵書率100%達成校 12校	蔵書率100%達成校 12校	達成

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
204	学校図書館司書補助員の配置促進	各中学校に1名ずつ配置	2小学校に1人、各中学校1人配置	2小学校に1人、各中学校1人配置	2小学校に1人、各中学校1人配置	2小学校に1人、各中学校1人配置	2小学校に1人、各中学校1人配置	達成
イ	児童館での読書活動の推進							
205	児童館の蔵書の整備	サンライブ内図書館からの団体貸出し利用	サンライブ内図書館からの団体貸出し利用	サンライブ内図書館からの団体貸出し利用	サンライブ内図書館からの団体貸出し利用	蔵書の整備	サンライブ内図書館からの団体貸出し利用	達成
206	児童館の団体貸出しの推進	7月下旬からサンライブ内図書館で団体貸出し開始	中央図書館にて団体貸出継続実施中(児童館の利用実績はなし)	中央図書館にて団体貸出継続実施中(児童館の利用実績はなし)	中央図書館にて団体貸出継続実施中(児童館の利用実績はなし)	児童館への団体貸出し回数の増加	中央図書館にて団体貸出継続実施中(児童館の利用実績はなし)	
ウ	学校図書館と市図書館の連携推進							
207	一日司書受け入れ、職場体験の実施	一日司書24人参加、職場体験の受け入れ4校11名	一日司書35人参加、職場体験4校受入	一日司書48人参加、職場体験4校受入	一日司書60人参加、職場体験4校受入	児童・生徒の受け入れの拡大	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
208	図書館資料の団体貸出、学校支援	学校への団体貸出し、学校図書館のボランティア等に支援	学校への団体貸出し、学校への配本事業の開始、学校図書館のボランティア等に支援	学校への団体貸出し、学校への配本事業の実施、学校図書館のボランティア等に支援	学校への団体貸出し、学校への配本事業の実施、学校図書館のボランティア等に支援	学校支援体制の充実	学校への団体貸出し、学校への配本事業の実施、学校図書館のボランティア等に支援	達成
エ	ブックスタート事業の推進							
209	ブックスタート事業の推進	ブックスタート事業592件実施	ブックスタート事業612件実施	ブックスタート事業566件実施	ブックスタート事業536件実施	ブックスタート事業の実施	ブックスタート事業493件実施	達成
(4)文化団体の育成								
ア	文化団体への支援							
210	文化事業(文化展・文化祭)	春の文化展、秋の文化祭を開催。国民文化祭事業も実施	春の文化展、秋の文化祭、50周年記念事業を開催	春の文化展、秋の文化祭を開催	春の文化展、秋の文化祭を開催	日程、会場の見直しによる発表機会拡充	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
211	文化事業委託(公募美術展)	美術展出品者を公募し美術展を開催	美術展出品者を公募し美術展を開催	美術展出品者を公募し美術展を開催	美術展出品者を公募し美術展を開催	新規出品者の獲得	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
212	みよし市文化協会事業補助金の交付	文化協会運営の補助を実施。文化協会50周年記念事業に向け準備	文化協会運営費・50周年記念事業の補助を実施	文化協会運営の補助を実施。西三河芸術大会に向け準備	文化協会運営の補助を実施。西三河芸術大会を開催	活動の拡大	文化協会運営の補助を実施	達成
213	生涯学習発表会の開催	生涯学習発表会を開催	生涯学習発表会を開催(2月21日～3月4日)	生涯学習発表会を開催(2月20日～3月3日)	生涯学習発表会(展示発表)を開催(2月19日～3月1日)	生涯学習発表会の開催	生涯学習発表会(展示発表)を開催(2月17日～2月28日)	達成
214	みよし市少年少女合唱団運営補助	運営補助金を交付し、活動を支援	運営補助金を交付し、活動を支援	運営補助金を交付し、活動を支援	運営補助金を交付し、活動を支援	活動への支援	運営補助金を交付し、活動を支援	達成
215	みよし音楽祭	広報で広く参加者を募集。合唱団10団体、市内小学校4校の参加	広報で広く参加者を募集。合唱団10団体、市内小学校3校の参加	広報で広く参加者を募集。合唱団10団体、市内小学校3校の参加	広報で広く参加者を募集。合唱団10団体、市内小学校3校の参加	幅広い層への参加呼びかけ	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
イ 地区文化活動支援								
216	地域文化活動推進事業補助金の交付	17行政区で実施された文化事業に補助金交付	14行政区で実施された文化事業に補助金交付	14行政区で実施された文化事業に補助金交付	15行政区で実施された文化事業に補助金交付	コミュニティ単位の実施	3行政区で実施された文化事業に補助金交付	達成
ウ サンアートでの文化事業の推進								
217	指定管理業務における文化事業の拡充を図る	近隣市町への聞き取り調査を実施	より多くの参加が見込める事業の内容を検討	近隣市町への聞き取り調査を実施	指定管理者により多くの参加が見込める自主事業の内容を検討	他の財源を活用した事業拡充	指定管理による業務の実施。次年度以降の指定管理公募内容の検討	
Ⅲ 「ふるさとみよし」を創る市民を育てる								
1 ふるさと学習を推進する								
(1) 体験的ふるさと学習の推進								
ア ふるさと学習の推進								
作戦 19								
218	副読本「みよし」の再編さん	完全改訂した副読本の編集	H29に全面改定した副読本の本文の訂正	副読本「みよし」の内容を一部修正	副読本「みよし」の内容を一部修正	本市の記述を増やした再編さん実施	副読本「みよし」の内容を一部修正。再編さんのための準備	
219	体験的なふるさと学習の推進	副読本編集委員による地域素材の発掘	副読本を利用した体験学習等の情報把握及び共有	副読本を利用した体験学習等の情報把握及び共有	副読本を利用した体験学習等の情報把握及び共有	「ふるさとみよし」体験的プログラムの開発・実践	新型コロナウイルス感染症対策により、副読本を利用した体験学習の縮小	
220	学芸員による出前授業の実施	出張授業の実施 小学校2校(南部小、北部小)	出張授業の実施 小学校2校(南部小、三好丘小)	本年度は出張授業の要望がなかった。	出前授業の実施(南中、三好丘中、三好丘小、黒笹小、緑丘小)	実施回数増加	出前授業の実施(三好丘小)	
221	教職員に対するふるさと研修の推進	資料館やサンライズ、築跡の見学を実施するとともに、三好池でカヌー体験を実施	初任者研修で、みよしの教育・食・文化・歴史・農業・工業・スポーツを題材に実施	初任者研修で、みよしの教育・食・文化・歴史・農業・工業・スポーツを題材に実施。初任者以外参加者6名。	初任者研修で、みよしの教育・食・文化・歴史・農業・工業・スポーツを題材に実施。初任者以外参加者8名。	希望教職員に対する実施	新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小。副読本みよしを活用した学習を実施	達成
222	みよしに関連した生涯学習講座の実施	サマースクールでリタケの森見学	サマースクールでのみよしの給食クッキング始め3講座実施	1月26日新春講座「みよしの給食クッキング」を開催	1月25日新春講座「みよしの給食クッキング」を開催	みよしに関連した講座の実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
イ みよしの食文化の継承								
223	食育推進計画の推進	産業フェスタにて食生活診断を実施し、市ホームページや広報で食育に関する周知・啓発	産業フェスタにて食生活診断を実施し、市ホームページや広報で食育に関する周知・啓発	産業フェスタにて食生活診断を実施し、市ホームページや広報で食育に関する周知・啓発	食育講演会、産業フェスタでの食生活診断を実施し、市ホームページや広報で食育に関する周知・啓発	食育に関する事業活動数110	食育講演会、市ホームページや広報で食育に関する周知・啓発	
224	地元産食材の提供	ねぎ・にんじん・キャベツ等の安定供給可能な食材の提供	ねぎ・にんじん・キャベツ等の安定供給可能な食材の提供	ねぎ・にんじん・キャベツ等の安定供給可能な食材の提供	愛知県産の割合33.4%	愛知県産の割合(H30)50%40%	愛知県産の割合36.2%	

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
225	農業体験学習への支援	5月に苗差し(7保育園2幼稚園、計503人)、10月に芋掘り(7保育園2幼稚園、計709人)実施	5月に苗差し(8保育園2幼稚園、計496人)、10月に芋掘り(8保育園2幼稚園、計703人)実施	5月に苗差し(7保育園2幼稚園、計493人)、10月に芋掘り(7保育園2幼稚園、計711人)実施	5月に苗差し(8保育園2幼稚園、計516人)、10月に芋掘り(8保育園2幼稚園、計739人)実施	芋掘り会の実施	新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止	
ウ	みよしの環境を守る活動の推進							
226	自然観察会の実施	三好池周辺、保田ヶ池周辺等で年3回開催	長田池周辺、三好公園周辺、三好丘陵地周辺で年3回開催	5月に三好池、7月に保田ヶ池、2月に大池池周辺で年3回開催	5月と7月に三好池、2月に福田新池周辺で年3回実施	年3回開催	5月及び3月は中止。7月に三好池周辺で年1回開催	
エ	子どもカヌー体験の推進							
227	小学生がカヌー体験をすることができ、自然観察会の創設	士別市の子どもたちとカヌーで交流実施	カヌー出前教室(3校253人)、カヌー体験(6校48人)実施	カヌー出前教室(6校+学びの森681名)、カヌー体験(10校15名)	カヌー出前教室(7校+学びの森591人)、カヌー教室等延べ73人	小学生カヌー体験活動の新設	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
2 人と人との出会いを生み出す								
(1)家庭・地域・学校の連携								
ア 学校ボランティアをきっかけとした地域教育力の結集								
228	地域コーディネーターの配置	支援員として活躍していただけた地域の方の発掘	支援員として活躍していただけた地域の方の発掘	支援員として活躍していただけた地域の方の発掘	支援員として活躍していただけた地域の方の発掘	地域コーディネーターの配置促進	地域コーディネーターの候補者検討	
229	学校ボランティア人材バンクの整備	各校の要望を聞き、新たに登録されたボランティアについて適宜紹介	各校の要望を聞き、新たに登録されたボランティアについて適宜紹介	各校の要望を聞き、新たに登録されたボランティアについて適宜紹介	各校の要望を聞き、新たに登録されたボランティアについて適宜紹介	市全体での整備	学校支援ボランティアの登録者名簿を随時更新し、各校に紹介	
230	学校ボランティア制度の拡充	愛知教育大学と連携し、ボランティアの登録を増やした。(12人)	愛知教育大学と東海学園大学の学生課に登録案内を配付	愛知教育大学と東海学園大学の学生課に登録案内を配付。ボランティア数91名	学校支援ボランティア制度の周知のため、広報みよしに募集掲載。ボランティア数95名	学校ボランティアの活用	新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して実施。ボランティア数63名	
イ 地域や世代を超えた交流による、開かれた学校づくり								
231	「家庭の日」に対する啓発活動	小中合同あいさつ運動を行うなど、あいさつ運動の在り方の見直し	小中合同あいさつ運動にPTA・地域の協力を依頼。中学校の部活動は、土日のどちらかを休養日に	小中合同あいさつ運動にPTA・地域の協力を依頼。中学校の部活動は、土日のどちらかを休養日に	小中合同あいさつ運動にPTA・地域の協力を依頼。中学校の部活動は、土日のどちらかを休養日に	全学的取り組み	新型コロナウイルスの影響により、PTA・地域の方への協力依頼は中止。中学校の部活動は、土日のどちらかを休養日	達成
232	あいさつ運動の推進	5月を「あいさつ強調月間」としてあいさつ運動を啓発	5月を「あいさつ強調月間」としてあいさつ運動を啓発	5月を「あいさつ強調月間」としてあいさつ運動を啓発	5月を「あいさつ強調月間」としてあいさつ運動を啓発	あいさつ月間での強化	5月を「あいさつ強調月間」としてポスターを配布。できる範囲でのあいさつ運動を啓発	達成

作戦20

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
233	世代を超えた交流活動の推進	小中合同あいさつ運動を行うなど、地域であいさつ運動実施	小中合同あいさつ運動を行うなど、地域であいさつ運動実施	小中合同あいさつ運動を行うなど、地域であいさつ運動実施	小中合同あいさつ運動を行うなど、地域であいさつ運動実施	各校での取り組み強化	新型コロナウイルスの影響により、地域のあいさつ運動等は、できる範囲で実施	
ウ	放課後子ども総合プランの推進							
234	放課後児童クラブの対象学年拡大	北部児童クラブ第1・第2教室と夏休み期間の第2教室のみ6年生まで実施	北部児童クラブ第1・第2教室と夏休み期間の第2教室のみ6年生まで実施	北部、天王、三好丘、緑丘児童クラブ及び夏季教室で1～6年、それ以外は1～4年生を対象	小学校1～6年生	小学校1～6年生	小学校1～6年生	達成
235	各校での部活動の取り組み	6月に球技大会、7月に水泳大会、9月に陸上大会を実施	6月に球技大会、7月に水泳大会、9月に陸上大会を実施	6月に球技大会、7月に水泳大会、9月に陸上大会を実施。小学4年生以上で実施。	6月に球技大会、7月に水泳大会、9月に陸上大会を実施。小学4年生以上で実施。	小学校4年生以上で実施	水泳大会・陸上大会は中止。球技大会の代替試合として、9月から10月にかけて交流試合を実施	達成
236	児童厚生員による子どもの見守り	児童館・集会所において、児童厚生員が児童の成長を見守り	児童館・集会所において、児童厚生員が児童の成長を見守り	児童館・集会所において、児童厚生員が児童の成長を見守り	児童館・集会所において、児童厚生員が児童の成長を見守り	児童館・集会所での実施	児童館・集会所において、児童厚生員が児童の成長を見守り	達成
エ	地域人材による部活動の活性化							
237	部活動外部講師人材バンクの整備	他のボランティアと合わせ、人材バンクの整備	他のボランティアと合わせ、人材バンクの整備	他のボランティアと合わせ、人材バンクの整備	他のボランティアと合わせ、人材バンクの整備	人材バンクの整備	他のボランティアと合わせ、人材バンクの整備	
238	部活動外部講師研修制度の創設	県事業による外部指導者講習会の情報提供	県事業はH28で終了。市による講習会を検討中	市による講習会を検討中	市による講習会を検討中	研修会実施年2回	新型コロナウイルスの影響により、中止	
239	部活動外部講師の積極的な活用	中学校で24名が登録して指導	中学校で30名が登録して指導	中学校で33名が登録している	中学校で26名が登録している	必要とする部全での講師活用	中学校で27名が登録している	
オ	家庭・地域・学校の連携による防災学習の推進							
240	小中学校への防災出前講座の実施及び学習教材の配付	5、6年生と中学生に内閣府作成の防災学習教材配布。中部小・南部小4年に防災出前講座開催	北部小・天王小4年生に防災出前講座を開催。防災学習教材については、昨年度に5学年に配布したため未配付	全小中学校での防災出前講座開催、小学6年生へ学習教材の配布	全小中学校で4年生を対象に防災出前講座開催、小学6年生へ学習教材の配布	小学校での防災出前講座開催、小中学校に学習教材の配布	新型コロナウイルス感染症の影響のため、未実施	達成
241	防災訓練の実施	防災訓練において、家具固定推進員による、家具転倒防止策等の講話・実演実施	全8コミュニティ地区・各公共施設において防災訓練を実施。緑丘コミュニティは市と共催	市、自主防災会、家庭教育推進協議会と連携した合同防災訓練を開催	全8コミュニティ地区・各公共施設において防災訓練を実施。三好丘コミュニティは市と共催	防災訓練の拡充による防災知識レベルの向上	新型コロナウイルス感染症の影響のため、行政区単位で安否確認訓練を実施	達成
242	防災講演会の開催	本年度は開催予定なし(平成29年度から毎年の開催を検討)	開催日:H30.1.27 テーマ:被災当時の状況と復興の現状について	開催日:H31.2.9 講演者:熊本県益城町職員 岩本氏、名古屋大学 田代特任教授	開催日:R2.2.8 講演者:防災ママかきつばた 代表 高木一恵氏 テーマ:女性視点から考える防災への取り組み	毎年開催	新型コロナウイルス感染症の影響のため、未実施	達成

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2実績・現状	達成状況
243	防災リーダー養成講座の開催	防災リーダー養成講座で、避難所運営の具体的な準備や対応方法をテーマにワーキングショップを実施	防災リーダー養成講座(基礎編)2日間で、避難所運営の準備や対応方法をテーマにワーキングショップを実施(参加者25人)	防災リーダー養成講座(基礎編)1月12日、養成編:2月16日)、避難所運営の準備や対応方法をテーマにワーキングショップを実施	防災リーダー養成講座(基礎編)1月18日、養成編:2月2日)、避難所運営の準備や対応方法をテーマにワーキングショップを実施	フォローアップ講座による実践的な内容拡充	新型コロナウイルス感染症の影響のため、未実施	達成
(2)地域活動の拡充								
ア 市民の参画と協働によるまちづくりの推進								
244	みよし市がんばる地域応援補助金の創設	がんばる地域応援補助金制度の説明会・研修会を開催。補助対象団体4団体を採択決定	H28に採択した4団体に補助金交付。がんばる地域応援補助事業審査会において1団体の採択決定	H28,H29に採択した5団体に補助金交付。がんばる地域応援補助事業審査会において2団体の採択決定	H28,H29,H30に採択した7団体に補助金交付。がんばる地域応援補助事業審査会において1団体の採択決定	補助金による地域活動の活性化を推進	H29,H30,R1に採択した4団体に補助金交付。令和3年度事業採択申込に向けて補助金制度の見直しを実施し、幅広く活用してもらえよう行政区の同意がない事業も新たに対象とした。がんばる地域応援補助事業審査会にて、行政区等の同意のない4事業及び同意のある2事業の採択を決定。	達成
245	市民活動サポートセンターでの市民活動の活性化	市民活動センターをリニューアル。相談サポートを随時実施し、団体活動を活性化	市民活動センターにおいて団体からの随時の相談サポートを実施。	市民活動センターにおいて団体からの随時の相談サポートを実施。	市民活動センターにおいて団体からの随時の相談サポートを実施。	市民活動サポートセンターでの支援	市民活動センターにおいて団体からの随時の相談サポートを実施。	達成
イ 青少年の健全育成の推進								
246	地区青少年健全育成協議会等活動費補助の実施	地区青少年健全育成協議会21団体、地区ジュニアクラブ20団体、校区ジュニアクラブ5団体、スカウト3団体へ補助金交付	地区青少年健全育成協議会20団体、地区ジュニアクラブ19団体、校区ジュニアクラブ5団体、スカウト3団体へ補助金交付	地区青少年健全育成協議会19団体、地区ジュニアクラブ19団体、校区ジュニアクラブ5団体、スカウト3団体へ補助金交付	地区青少年健全育成協議会19団体、校区ジュニアクラブ1団体、スカウト3団体へ補助金交付	28団体	地区青少年健全育成協議会18団体、スカウト3団体へ補助金交付	
247	少年の主張みよし市大会	みよし市大会で各校の代表者が発表	みよし市大会で各校の代表者が発表	みよし市大会で各校の代表者が発表	みよし市大会で各校の代表者が発表。入場者数は約400人	小・中12校	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止	
248	青少年指導員合同会議(指導員及び教職員)での連携	合同会議年3回開催	合同会議年3回開催	合同会議年3回開催	合同会議年2回開催	年2回開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止	

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成状況
ウ 子ども会・ジュニアクラブの育成と組織づくりの推進								
249	ジュニアリーダークラブ活動の支援	地区子ども会、地区ジュニアクラブ20団体、地区ジュニアクラブ4団体へ補助金交付	地区子ども会、地区ジュニアクラブ19団体、地区ジュニアクラブ4団体へ補助金交付	地区子ども会、地区ジュニアクラブ19団体、地区ジュニアクラブ4団体へ補助金交付	地区子ども会、地区ジュニアクラブ19団体、地区ジュニアクラブ4団体へ補助金交付	35人	地区子ども会、地区ジュニアクラブ18団体へ補助金交付	
250	地区ジュニアクラブ活動の支援	地区ジュニアクラブ20団体、地区ジュニアクラブ4団体へ補助金交付	地区ジュニアクラブ19団体、地区ジュニアクラブ4団体へ補助金交付	地区ジュニアクラブ19団体、地区ジュニアクラブ4団体へ補助金交付	要綱改正により、地区ジュニアクラブ1団体へ補助金交付	26団体	地区ジュニアクラブ18団体へ補助金交付	
251	みよし市子ども会育成連絡協議会活動への支援	6月の子ども会、11月の子ども会、12月の子ども会などに補助金交付	6月の子ども会、11月の子ども会、12月の子ども会などに補助金交付	6月の子ども会、11月の子ども会、12月の子ども会などに補助金交付	6月の子ども会、11月の子ども会、12月の子ども会などに補助金交付	補助金の交付	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため行事中止となり、行事に係る補助金は不交付	達成
252	地区子ども会活動費補助の実施	19団体に補助金を交付し、地区子ども会活動を支援	19団体に補助金を交付し、地区子ども会活動を支援	19団体に補助金を交付し、地区子ども会活動を支援	19団体に補助金を交付し、地区子ども会活動を支援	21団体	19団体に補助金を交付し、地区子ども会活動を支援	
エ 障がい者の社会参加の促進								
253	障がい者相談支援事業	市内福祉サービス事業所5か所に相談業務委託。障がい者の就労相談をそれぞれ1か所市内福祉サービス事業所に委託	市内福祉サービス事業所6か所に、障がい者の就労相談業務を市内福祉サービス事業所1か所に委託	市内福祉サービス事業所6か所に、障がい者の就労相談業務を市内福祉サービス事業所1か所に委託	市内福祉サービス事業所6か所に、障がい者の就労相談業務を市内福祉サービス事業所1か所に委託	ニーズに応じた相談事業の委託	障がい者の相談支援業務を市内相談支援事業所5か所に（相談支援専門員6人配置）、障がい者の就労相談業務を市内福祉サービス事業所1か所に委託	達成
254	障がい者施設整備補助金	「さくらの丘」の建設に伴う借入金の償還金補助。新たに「みよし市障がい福祉サービス施設事業所開設費補助金支給事業」を実施。1法人に補助	「さくらの丘」の建設に伴う借入金の償還金補助	「さくらの丘」の建設に伴う借入金の償還金補助	「さくらの丘」の建設に伴う借入金の償還金補助	市内に事業所が増えるよう補助していく	「さくらの丘」の建設に伴う借入金の償還金補助。「おひさまハウス二号館」の建設に伴う開設費補助	
255	みよし市障がい福祉サービス事業所運営費補助金	市内9事業所（7法人）の障がい福祉サービス事業所の運営費の補助	市内13事業所（10法人）の障がい福祉サービス事業所の運営費の補助	市内13事業所（10法人）の障がい福祉サービス事業所の運営費の補助	市内8事業所（7法人）の障がい福祉サービス事業所の運営費の補助	市内に事業所が増えるよう補助していく	市内7事業所（6法人）の障がい福祉サービス事業所の運営費の補助	

NO	主な取り組み	H28実績	H29実績	H30実績	R1 実績	R2 目標	R2実績・現状	達成 状況
オ NPO活動活性化に対する支援								
256	相談窓口の開設	協働推進課で協働相談を実施(6件)。臨時相談(2件)の他、市民活動センターにおいても随時相談実施(8件)	協働推進課窓口及び市民活動センター(臨時)において、協働相談を実施(10件)	協働推進課窓口及び市民活動センター(臨時)において、協働相談を実施(28件)	協働推進課窓口及び市民活動センター(臨時)において、協働相談を実施(33件)	サポートセンターにおいても必要に応じて窓口開設	協働推進課窓口及び市民活動センター(臨時)において、協働相談を実施(30件)	達成
257	市民活動サポートセンターの運営	7月に「市民活動センター」に名称を変更。市民活動サポートセンター機能を拡充し、リニューアルオープン	登録団体による市民活動室(897人)、印刷作業室(480人)、ミーティングスペース(283人)等の利用	登録団体による市民活動室(986人)、印刷作業室(597人)、ミーティングスペース(219人)等の利用	登録団体による市民活動室(1,152人)、印刷作業室(537人)、ミーティングスペース(205人)等の利用	サポートセンターの設備・事業の拡充	登録団体による市民活動室(380人)、印刷作業室(365人)、ミーティングスペース(404人)等の利用	達成

第3章 教育委員会の活動等に関する事業実施状況報告

みよし市教育委員会では、定例会議を毎月1回の年12回、必要に応じて臨時会議を開催しています。ここでは、令和2年度に開催した教育委員会の開催状況、研修の実施状況、教育委員の学校訪問の状況などをまとめました。

1 教育委員会議

(1) 教育委員会議について

執行機関としての教育委員会は、委員によって構成される教育委員会議で教育に関する基本方針や重要事項を決定しています。

本市教育委員会では、「教育長に対する事務委任規則」第2条に、教育長に委任する事項を、次に掲げる事項以外と定めています。すなわち、以下に示した(1)～(17)の事項が、教育委員会議において議決することが必要な事項です。

【参考】「教育長に対する事務委任規則」第2条

第2条 教育長に委任する事項は、次に掲げる事項以外の事項とする。

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針を決定すること。
- (2) 学校、その他の教育機関の設置及び廃止を決定すること。
- (3) 重要な教育財産の取得及び処分を申し出ること。
- (4) 県費負担教職員(以下「教職員」という。)の懲戒及び教職員たる校長の任免、その他の進退について内申すること。
- (5) 教職員の服務、監督の一般方針を定めること。
- (6) 教育委員会事務局職員及び学校、その他教育機関の職員(教職員を除く。)の任免、その他人事に関すること。
- (7) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
- (8) 教育予算、その他議会の議決を経るべき事件の議案について意見を申し出ること。
- (9) 教育委員会の規則及び規程の制定又は改廃を行うこと。
- (10) 学校の組織編成、教育過程、学習指導、生徒指導及び職業指導の基本方針に関すること。
- (11) 附属機関の委員の任免を行うこと。
- (12) 学校の通学区域を設定又は変更すること。
- (13) 教科用図書の採択及びその他の教材の取扱に関すること。
- (14) 教職員の研修に関すること。
- (15) みよし市文化財保護条例(昭和46年条例第8号)に基づく文化財の指定及び解除に関すること。
- (16) 請願及び重要な陳情に関すること。
- (17) 前各号に掲げるもののほか、重要かつ異例に属すること。

(2) 令和2年度 教育委員会議開催状況及び提出議案一覧

開催日		議案番号	提出議案
第4回 定例	4/15	議案第10号 承認第4号	令和2年度みよし市文化財保護委員の委嘱について 臨時代理の承認について みよし市スポーツ推進審議会委員の選任について
第5回 定例	5/15	議案第11号 議案第12号 議案第13号 議案第14号 議案第15号 議案第16号 承認第5号	みよし市教育委員会教育長の権限に属する事務の決定権限に関する規程の一部改正について 教育予算、その他議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出について (1) 令和2年度みよし市一般会計6月補正予算(教育費) みよし市社会教育委員の選任について みよし市学校給食センター運営委員会委員の選任について みよし市スポーツ推進計画の見直しに係る諮問について みよし市図書館協議会委員の選任について 臨時代理の承認について 教育予算、その他議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出について (1) 令和2年度みよし市一般会計5月補正予算(教育費) (2) 工事請負契約の締結について ①サンアート大規模改修(建築)工事 ②サンアート大規模改修(電気)工事 ③サンアート大規模改修(舞台機構)工事 ④三好丘小学校トイレ改修工事 (3) 物品の買入れについて ①連続揚物機
第6回 定例	6/18	報告第1号 議案第17号 議案第18号 議案第19号 議案第20号 承認第6号 承認第7号	みよし市一般会計繰越明許費の繰越について 令和2年度みよし市奨学生認定について 令和2年度学校評議員の選任について 令和2年度みよし市教育振興基本計画推進委員の選任について みよし市教育振興基本計画の見直しに係る諮問について 臨時代理の承認について 教育予算、その他議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出について (1) 工事請負契約の締結について 臨時代理の承認について 教育予算、その他議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出について (1) 令和2年度みよし市一般会計6月補正予算(教育費)
第7回 定例	7/27	議案第21号	令和3年度にみよし市立小中学校が使用する教科用図書の採択について
第8回 定例	8/20	議案第22号 議案第23号 議案第24号 議案第25号 承認第8号	みよし市教育委員会事務局職員の退職について 令和2年度教育委員会点検評価報告(令和元年度実績)について 教育予算、その他議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出について (1) 令和2年度みよし市一般会計9月補正予算(教育費) 学校の通学区域の変更 臨時代理の承認について (1) みよし市指定管理者選定審査会(勤労文化会館等)委員及びアドバイザーの選任について

第 9 回 定 例	9 / 1 6		※ 提出議案なし
第 2 回 臨 時	1 0 / 1		※ 提出議案なし
第 10 回 定 例	10 / 15	議案第 26 号	令和 3 年度教職員定期人事異動方針について
第 11 回 定 例	11 / 20	議案第 27 号	教育予算、その他議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出について (1) 令和 2 年度みよし市一般会計 1 1 月補正予算 (教育費) (2) 令和 2 年度みよし市一般会計 1 2 月補正予算 (教育費)
第 12 回 定 例	12 / 17		※ 提出議案なし
第 1 回 定 例	1 / 2 1		※ 提出議案なし
第 2 回 定 例	2 / 1 2	議案第 1 号 議案第 2 号 議案第 3 号	令和 3 年度教育行政方針について 教育予算、その他議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出について (1) 令和 2 年度みよし市一般会計 3 月補正予算 (教育費) (2) 令和 3 年度みよし市一般会計予算 (教育費) (3) 工事変更請負契約の締結について (4) みよし市勤労文化会館及びみよし市ふるさと会館の指定管理者の指定について みよし市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則について
第 3 回 定 例	3 / 1 7	議案第 4 号 議案第 5 号 議案第 6 号 議案第 7 号	令和 3 年度みよし市立小中学校の学校医等の選任について みよし市教育委員会会議規則等の一部改正について みよし市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 令和 3 年度みよし市教職員研修基本方針について
第 1 回 臨 時	3 / 3 1	議案第 8 号 議案第 9 号 議案第 10 号 承認第 1 号	みよし市教育委員会事務局職員の任免等について みよし市いじめ問題対策委員会委員の選任について みよし市スポーツ推進委員の選任について みよし市立小中学校教職員人事について

2 教育委員県外視察研修

例年、先進的な実践を重ねている県外の教育委員会を訪問し、特色ある教育環境づくりや運営状況について研修を行っています。平成2年度については、小学生士別市派遣事業に合わせて、北海道士別市へ全国各地の先進的な取組の情報を得ることを予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

3 オンライン協議会

令和2年度市町村教育委員会オンライン協議会へ参加し、地域の実情、特性に応じた優れた施策について、情報・意見の交流を行いました。

	開催日	内容
第1回	11月17日	地域と学校の連携協働について、教育の情報化について
第2回	12月23日	地域と学校の連携協働について、教育の情報化について
第3回	2月17日	いじめ・不登校支援について、教育の情報化について

4 教育委員学校訪問

市内全小中学校（8小学校・4中学校）を訪問し、各校の特色ある学校づくりや運営状況について把握することに努めました。

(1) 訪問の視点

- ア 創意工夫を生かした特色ある学校づくりがどのように行われているか。
- イ 学校運営の工夫や課題は何か。
- ウ 授業など、諸活動における子どもの学校生活の実態はどのようなか。

(2) 訪問日程

訪問日	学校名			
11月6日	中部小学校	三吉小学校	三好丘中学校	北部小学校
12月9日	南中学校	南部小学校	天王小学校	三好中学校
12月16日	黒笹小学校	三好丘小学校	緑丘小学校	北中学校

5 各種行事への参加

市内で開催される、様々な行事に積極的に参加し、学校教育・家庭教育・社会教育の現状把握に努めました。

＜教育長・教育委員の参加した主な行事（主なもの・会議への出席等は除く）＞

4月	教育委員会事務局職員 小中学校教職員 辞令伝達並びに交付式
	給食協会理事長・副理事長委嘱状交付式
	青少年補導員委嘱状交付式
	小中学校入学式・始業式

7月	愛史協総会
8月	学校管理職研修会
	みよしの自然環境を守る会講演会
	みよしを知ろう講話
	第3回避難所開設・運営訓練
9月	父母と教師の教育を語る会「教育講演会」
	市制施行10周年記念事業卓球競技技術講習会
10月	小学校球技交流試合
	小学校運動会
	教頭会秋季研修会
	トヨタ自動車ヴェルブリッツ（ラグビー）協定締結式
	教育長学校訪問
11月	教育委員学校訪問
	小学校運動会
	教育長学校訪問
12月	教育委員学校訪問
	ドラゴンズジュニア交流会
	教育長施設訪問
	災害対策本部会議訓練
1月	議会新年あいさつ会
	新年教育研究大会
	みよし市成人式
	給食センター視察
2月	給食センター視察
3月	小中学校卒業式
	給食センター視察
	教職員辞令伝達式・市教育委員会褒賞、県功労者表彰授与式

第4章 学識経験者による意見

外部評価につきましては、次の方々から意見をいただきました。

みよし市教育振興基本計画の令和2年度施策実施状況をめぐる成果と課題

—学校教育を中心に—

名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 教授 石井 拓児

みよし市教育振興基本計画の令和2年度分の点検評価と今後の展望について

—社会教育・生涯学習分野を中心に—

愛知教育大学 教育学部 准教授 中山 弘之

学識経験者による意見 1

みよし市教育振興基本計画の令和2年度施策実施状況をめぐる成果と課題

—学校教育を中心に—

名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 教授 石井 拓児

はじめに

本稿では、みよし市教育振興基本計画に基づくみよし市教育委員会の令和2年度の実施状況について、みよし市教育プランの進捗状況、とりわけ学校教育に関するものについて点検し、意見を述べる。

1. みよし市教育プラン「20の作戦」(重点施策)の実施状況について

最初に、みよし市では、以前よりICT環境の整備(作戦⑥)や少人数学級・少人数指導の導入(作戦⑪)といった施策を重点課題とし、取組をすすめてきていたことを高く評価するものである。これらの施策は、昨年から続く新型コロナウイルス感染拡大をめぐるといへん厳しい状況のなかにあつて、にわかに注目されがちであるが、本市ではかなり早くから取組をすすめてきた。このことによって、学校内における感染防止対策や教職員の多忙化の改善、遠隔での学習機会の提供等につき、少なくない効果をもたらすものであったと判断する。

調査報告書『2020みよし市教員の実態』によると、「子どもたちの学力を伸ばすために、

教育条件の面で必要なことは何ですか」との質問に対し、教職員の定数増（90.3%）、学級規模の縮小（79.9%）、授業準備のための時間確保（77.7%）との回答が圧倒的な「現場の声」である。いっそうの取組の充実を期待したい。

令和2年度には、市内全ての小中学校に校内無線LANを整備し、全児童生徒一人一台の学習用タブレットを配備した。また、市内の小中学校の普通教室への大型掲示装置の配備も完了した。いよいよ本格的なICT教育の推進がスタートする段階に入ったものと評価することができる。ICTの活用に不慣れな教員がいることは当然予想されうることである。強引にICT教育を推進するのではなく、現場から出されてくる要望や課題について、まずは丁寧に拾い上げることから始めてほしい。また、作戦⑤に関わって、令和2年度中には、コロナ禍の影響によりいくつかの研修機会が中止となっているようであるが、オンライン研修会の実施を検討してもよいのではないかと。オンライン研修会は、ICTの実践的な活用機会となるであろうし、移動時間の減少など教員負担の軽減にもつながり、今後の新しいスタイルとなりうる可能性がある。作戦⑬の【みよし市 File share】の取組は、教員の負担軽減という点できわめてユニークなものである。教職員による活用の状況等について調査を行うとともに、改善すべき課題について精査することが重要である。

作戦②では、放課後児童クラブの利用希望者拡大にともない、受け入れ対象を6年生まで拡大するとともに、他クラブへの移送等によって待機児童解消を図っている。利用者の増加にともない、施設整備のあり方や多人数利用の際の指導内容の改善といったことも課題となる可能性がある。作戦⑩は、子どもの個別の教育ニーズに応じた支援の仕組みを措置することを目的とするものであるが、日本語指導が必要な児童生徒と不登校傾向の児童生徒に対する個別指導計画の作成は引き続き100%の達成状況となっている。令和2年度には、日本語初期指導教室が増設されて2教室となったことも大いに評価しうる。作戦⑦も、「ALT及び外国語教育活動対応非常勤講師が参加する外国語の授業の割合」を見る限り、目標数値に向かって順調に整備がすすめられていると判断しうる。

子どもの「知育」とともに、コロナ禍のもとでの、子どもの「徳育」や「体育」のあり方についても早急に検証をすすめ、課題を明らかにしていくことが求められている。道徳教育の研究推進は（作戦⑧）、着実にすすめられているように見受けられるものの、コロナ禍という新しい状況にどのように対応できていたのかについては取組状況のまとめからは判断できなかった。コロナ禍において、感染者を受け入れている病院の医療従事者に対する「コロナいじめ」が発生したとの報道がみられ、また、ワクチン未接種を選択した人に対する差別や偏見が広がる可能性も指摘されている。こうした新しい状況における新しい道徳教育の課題について情報共有をお願いしたい。同様に、みよし市体力向上計画の推進（作戦⑨）も、コロナ禍で子どもの体づくりの実態がどのようなになっているのか、部活動の実施状況や子どもたちの外遊びの実態など、総合的な観点から分析をすすめる必要がある。作戦⑧も作戦⑨も成果指標となる調査が実施されていないことから、これに代わるデータを整える必要がある。

作戦①、作戦③、作戦④は、子育て支援に関する施策である。なかでも、作戦④の成果

指標において、令和2年度の教育相談件数が前年比で約2倍となったことは注目されることである。このことは、作戦①や作戦③による、子育てに関する情報発信の成果とみなすことも可能であろう。とりわけコロナ禍で孤立しがちとなってしまった子育て世帯は少なくなかったであろうことを鑑みたとき、作戦①・③・④が相乗的に施策として効果を発揮したのではないかと思われた。高く評価するものである。700件にものぼる教育相談の内容について資料から読み解くことはできないが、コロナに関連するものとしてどのような相談事例があるのか、今後どのような対策・対応が必要となっているのかを解明し、手立てを講じていくことが肝要であろう。

新型コロナウイルス感染という新しい状況においては、さらにいっそうの少人数学級を推進することが不可避の情勢となりつつある。少人数学級を進めている自治体はどこでも、独自に教員を確保することの困難に直面している。少人数学級の成果を検証しつつ、本来的には中央政府レベルで措置すべきことを課題提起していく必要がある。作戦⑫も同様に、子どもにとっての「安全・安心」がどこにあるのかを適切に把握しなおすことも課題となる。感染リスクを完全に排除することはとうてい不可能ではあるものの、できる限り子どもたちの心配の声に耳を傾けることから始める必要がある。

なお、新作戦⑬は、「みよし市版コミュニティ・スクール」の設置となっている。新作戦が教職員にとっての新たな負担となるのではなく、むしろ、保護者、地域住民とともに学校と子どもの成長発達を支え合い、そのことによって教職員が生き生きとし、働きがいを感じられるものとなるよう、財政面を含め積極的に支援する必要がある。

最後に、昨年も指摘したことであるが、令和元年度の教職員向けアンケートにおいて、「問14 市教育委員会に望む専門的な支援」で、新たに「⑧教職員間での人間関係やハラスメント等について相談できる窓口」と「⑨教職員の勤務状況について相談できる窓口」の回答項目をおいたことを評価する。教職員のなかに⑧を回答したものが18%、⑨を回答したものが29%との結果が示されている。また、同項目において前回調査との対比が可能な残りの回答のうち、「⑤保護者からの理不尽な要求に対する専門的な支援」と答えた教職員の割合のみが増えている。深刻なケースがすでに生じている可能性がある。相談窓口や専門的支援部門を立ち上げるなど、可及的速やかに対応すべきであろう。

2. みよし教育プランにおける体系別全施策の実施状況について

はじめに、令和2年度において、「I 次代を担う子どもをみんなで大切に育てる」における「3 心豊かな子どもを育てる (2) 豊かな体験活動の推進」施策について、「夢の作品展実施事業」「思い出コンサート」「友好都市中学生派遣事業」「小中学校国際交流研究委託事業」「土別市小学生交流事業」「小中学校キャリア教育推進事業」のほとんどが「新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止」となったことにつき、感染拡大防止のためにはいずれもやむを得ない措置であったということについて十分に理解をしつつ、それでは、この時期の子どもたちに果たしてどのような「豊かな体験活動」を提供することが可能であったのか、代替的な活動は計画し得たのかどうか（今後、活動実施は可能になる見通しは

あるのかどうか)、振り返ってみて事業中止は妥当であったのかどうかなど、検証すべき課題は多いのではなかろうか。例えば、「友好都市中学生派遣事業」「小中学校国際交流研究委託事業」「土別市小学生交流事業」は、リモートを活用して交流を実施することはできないものであろうか。「思い出コンサート」も工夫次第では、ICT等を活用して代替的な取組ができる可能性がある。人生で大切な子ども期に、どのような「豊かな体験」を子どもたちに提供できるのかどうか、私たち大人が懸命に考えることが大事であろう。こうした代替的な取組が行われていたのであればぜひ示してもらふことと、その場合には、評価も「達成」としてはどうであろうか。

「4 たくましい子どもを育てる」「5 個に応じた支援を充実させる」「6 安心・安全・快適で信頼される学習環境を作る」の各施策では、達成状況が概ね良好である。「達成」との評価が付されていない施策のなかにも、「達成」と評価してもよいのではないかと思われる施策もいくつも散見されることから、充実ぶりを評価するものである。

多くの施策が、コロナウイルス感染拡大の防止のため、中止とせざるを得なかったのは、やむをえないものである。しかしながら、子どもの「豊かな体験活動の推進」事業のように、代替的なプログラムを提供するなどの措置を講ずることによって、できる限り事業実施をすすめるべきものがあるであろう。その一方、もしかすると、特段必要ではない（実施されなかったとしても特に問題は生じない）とみられるものもあるかもしれない。

コロナ禍の「新しい生活様式」のもとで「新しい学校教育様式」を追究するという、まさに新しい時代の新しい教育課題が山積していることは間違いないところであろう。みよし市の「体系別全施策」は、そのいずれの項目も、引き続き重要なものばかりであるが、そのそれぞれの項目において新しい教育課題の解決に向けた取組が推進されていくことを期待するものである。

みよし市教育振興基本計画の令和2年度分の点検評価と今後の展望について

—社会教育・生涯学習分野を中心に—

愛知教育大学 教育学部 准教授 中山 弘之

はじめに

本稿では、みよし教育プラン「20の作戦」令和2年度分の社会教育・生涯学習分野についての実施状況に関する点検評価、今後の展望に関わる見解について述べる。

1. みよし教育プラン「20の作戦」の実施状況について

みよし教育プラン「20の作戦」のうち、社会教育・生涯学習に関係するものの実施状況については、次のことに注目しておきたい。

作戦③では、成果指標として「広報とともに配布する家庭教育だよりを読んでいる保護者の割合」が「70%」（令和2年度）となることが掲げられている。令和元年度の割合は41.3%であり、目標に到達したわけではないものの、今後の取組によっては指標に近づく可能性もあり、注目しておきたい。

作戦⑦では、成果指標として「みよし市の歴史に関心のある市民の割合」を高めることが掲げられている。令和元年度では「有数の陶器産地であったことを知っている」市民の割合が32%であり、目標の60%には到達していないものの、猿投窯に関する企画展・特別展の開催、黒笹27号窯、福谷城址、石川家住宅などをめぐる文化財巡りの実施、灰釉陶器づくり体験講座の開催など、みよしの歴史に関心をもってもらうための事業を様々な工夫しており、今後さらなる成果が期待できる。

作戦⑱では、令和2（2020）年度、新型コロナウイルス感染拡大により多くの社会教育施設が不十分な活動しかできなかった中で、感染防止対策を講じた上で開館するとともに、各種図書館講座も規模を縮小した上で開催したことは、重要であると言える。コロナ禍は、地域で暮らす住民に、健康管理や衛生管理の重要性、さらには近年における感染症の背景として指摘されている自然環境問題に関心をもつことの重要性を提起しており、こうした諸問題について学ぶことが重要になってくる。こうした問題について学べる機関として図書館などの社会教育施設は大変重要であると言え、今後とも、様々な困難を乗り越えながら社会教育事業を継続してほしい。

作戦⑳では、令和2年度、コミュニティ・スクールの実現に向けて、近隣の大学との連携に関する検討、各中学校区学校評議員会での説明、各学校区の地域コーディネーターの候補者の検討、モデル校の決定、試行的実践への取組、地域学校協働本部設置に向けた要領・要綱の作成など、積極的な取組が行われている。今後コミュニティ・スクールの市内

全域に広げるための基盤づくりが進められつつあると言え、今後の進展が期待される。

2. 今後の展望について

(1) 作戦③の教育カレンダーづくりに関して

令和2年度において、教育カレンダーの発行に向けて、「学校・地域行事の情報提供方法」の検討や「魅力的なカレンダーの制作を依頼」するための準備を行ったことは、とても大事なことである。

このような地域の情報を一つにまとめた資料をつくることは、これまでの社会教育実践では積極的に行われてきたことの一つである。社会教育実践では、地域の子育て情報や安全状況がひとまとめになったマップづくりなどがよく取り組まれてきた。こうした資料づくりは、資料それ自体が行政や地域の様々な情報を理解する上で利用価値が高いものであると同時に、資料づくりの過程が地域住民の学習活動として重要なものである。

こうした資料づくりは、それを住民参加で行うことを通して地域住民が地域の様々な情報を知るきっかけになるという点において、また、様々な立場の地域住民が資料づくりに参加することを通して地域住民同士の協働関係、また住民と行政の協働関係が深まるきっかけになるという点において、地域住民の学習活動として意義深いものである。

したがって、カレンダーづくりに関しては、可能な限り、行政のサポートのもと様々な地域住民や学校関係者がカレンダーづくりに参加できるような工夫を取り入れられるかどうか、その成否に大きく関わると考えられる。こうしたことを心がけることで、地域づくりや地域学校協働活動がより活発化するきっかけとなることが期待される。

(2) 作戦⑩と地域部活動に関して

作戦⑩には小中学校の部活動の支援が位置づけられている。これと関連して、今年度から地域部活動推進事業が全国各地で始まり、令和5年度からは休日の地域部活動の全国展開（段階的な地域移行）が予定されている。そこでは、教師の長時間労働問題への対応が主眼となっている。もちろんこの問題への対応は重要であるが、一方で地域部活動をめぐっては、子どもの放課後のスポーツ・文化活動の権利をいかに保障するのかという視点も忘れないようにしたい。部活動など放課後のスポーツ・文化活動は子どもの成長・発達において極めて重要であるからである。こうした観点から言えば、地域部活動を民間事業者へ委託することは望ましくない。すべての子どもに権利を保障するという点で問題が生じたり、委託料の範囲内でしか活動ができないため活動の量や質が低下したりするおそれがあるからである。

また、地域と連携した部活動を充実させるためには、地域住民が日常的にスポーツに親しみ、かつ地域住民のスポーツを技術的にサポートする指導者が育成され、さらにこうした地域スポーツの条件整備が確立されている状況をつくり出す必要がある。こうした状況をつくり出す上では、地域スポーツに親しむきっかけをつくる諸事業のサポート、スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブなど地域のスポーツ関係団体の育成とネットワークづ

くり、スポーツ指導者の研修、スポーツに親しむための施設設備の充実など、スポーツ行政を大きく充実させることがどうしても必要である。そうでないと、部活動の地域移行の名の下に、教育的意義の大きい部活動を削減するだけの結果を招きかねない。スポーツ行政の充実が本格的に検討されることを期待したい。

なお、今日に至る部活動問題のきっかけが部活動指導者の不適切な指導の問題であったことを思い起こすならば、地域部活動のあり方を検討する際は、部活動における不適切な指導をいかに改善するのかという問題への対応も視野に入れておく必要がある。

(3) 作戦⑱と図書館の充実に関して

作戦⑱に関して、成果指標である「本を読むことが好き」な子ども・市民の割合は全体として増加傾向にあり、子どもの割合はあと少しで目標の85%に至る可能性がある。書物に慣れ親しむことは、社会や自然や地域に関する認識を深める上でとても大切なことであり、ぜひ今後も大切にしていきたい。

本に慣れ親しめる環境をつくる上では、身近に図書に触れ、借りられる環境があることが重要である。現在みよし市の図書館においては、中央図書館の他に図書の貸出が可能となっているのは、市北部のサンネットのみである。みよし市は南北に長く、市内で利用できる図書館が二つだけでは、身近に図書に触れ、借りられる環境にあるとは言い切れない。それゆえ、図書の貸出が可能な施設を増やすことを検討してほしい。

例えば、みよし市内には公民館やコミュニティ施設が多く設置されている。こうした施設と図書館がネットワークをつくって図書の貸出ができるようにすれば、市民や子どもが気軽に図書に触れ、借りられる環境が充実するであろう。公民館や社会教育施設を図書館の分館として位置づけている自治体は数多くあるので、そうした自治体を視察しながら、ぜひ検討を進めてほしい。

公民館やコミュニティ施設が図書の貸出が可能となるような職員体制の充実も含めて、検討してほしい。

(4) 作戦⑳に関して

作戦⑳に関して、コミュニティ・スクール構想の具体化が進められつつあることは望ましいことである。

みよし市の場合、従来における学校運営への住民参加の仕組みであった学校評議員会を核として学校運営協議会を立ち上げることとなっており、これは、従来の学校参加の仕組みを生かすという点において評価できるものである。これに加えて、可能であれば、地域学校協働活動への取組も同時に進められるのであれば、さらに望ましい。これは、学校教育に地域の力を取り入れて学校教育をよりよくするためにも重要であるし、学校運営協議会を充実させるためにも重要であると言える。

学校運営協議会は、住民参加によって学校運営に地域住民の意見を取り入れるための仕組みであるが、そこでの話し合いを充実させるためには、地域住民と学校との間に信頼関

係が形成されている必要があるからである。信頼関係がない状態での話し合いは、委員それぞれの意見表明にとどまったり、出された意見を話し合いによって練り上げることが難しかったりする場合が多い。信頼関係があつてこそ、よりよい学校づくりに向けた前向きな話し合いが可能となるのである。信頼関係を形成するには、教育実践を軸に日常的に地域住民と学校教職員が交流している必要があり、地域学校協働活動はそのための土台となると言える。

みよし市の小中学校ではすでに様々なボランティアが活動しているので、そうした方々に協力をお願いするなどして、地域学校協働活動へとつなげていけないだろうか。

なお、地域学校協働活動を進めていく上では、まずは、「学校の教職員にとって負担になりにくい活動」でかつ「活動の効果を実感しやすい活動」から進めていくことが大切である。先進的な地域と学校の協働が行われている学校においても、その多くはそのような形で協働を開始している。そのことを通して、学校教職員にも地域住民が学校教育に関わることの意義を実感してもらえようようにしたいところである。

第5章 今後の方針

学識経験者の方からいただいた意見について、今後は、以下のように取り組んでいきます。

1 学識経験者による意見1 について

作戦②の放課後児童クラブについては、受け入れ対象を6年生まで拡大したことにより特定の学校で定員を上回る必要があります。定員に余裕がある他クラブへの移送で対応するとともに、指導内容の改善を図っていきます。

作戦④の相談活動に関しては、これまでも相談体制の充実を図ってきました。しかしながら、依然として相談の需要は多く、十分とは言えません。コロナ禍における相談内容を分析し、さらなる相談体制の充実を図っていきます。教職員の相談窓口については、全教職員に配付しているカウンセリング申込券や市の専門相談員（心理士）の活用を図っていきます。

作戦⑥のICT教育に関しては、一人一台タブレットや大型提示装置を活用し、活用状況を調査して改善を図るとともに、ICTを活用した授業の充実を図ります。また、学校外におけるICT環境を整備していきます。

作戦⑧の道德教育については、社会の状況を踏まえた道德教育の課題について、情報共有を図るとともに、学校の教育活動全体を通して、道德教育を推進していきます。

作戦⑪の小中学校少人数学級体制については、みよし市では、令和元年度から市内小中学校の全学年で35人学級を実施しています。そのため、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2年度は、35人学級を生かした新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で授業を実施することができました。今後は、一人一人をよりきめ細かく支援するための少人数学級の在り方を検証するとともに、これまでの新型コロナウイルス感染防止対策としての成果も検証していきます。そして、30人学級の試行的実施を通して、少人数学級の在り方についても研究していきます。

コミュニティ・スクール及び地域学校協働本部の設置については、モデル校での設置を進めるとともに、その在り方を研究します。

豊かな体験活動の推進については、コロナ禍においても実施できる方法を工夫していきます。感染防止対策を徹底して規模を縮小して実施する、ICTを活用して国際交流や国内交流を実施するなど、「コロナ禍でもできる」、「コロナ禍だからできる」ことを推進していきます。

2 学識経験者による意見2 について

作戦③における家庭の教育力向上のための啓発活動については、家庭教育だより「はぐ

くみ」に、社会情勢に沿った話題や保護者が興味をもちそうな話題を掲載し、子育てに役立つ内容の充実を図ります。小中学校保健事業実行委員会など、関連する機関とも連携し、掲載する内容を検討していきます。教育カレンダーについては、学校協働事務室を中心に、南ブロックの中学校区で行事予定カレンダーを作成します。今後は、市内全域に広げるとともに、電子媒体での配布も検討していきます。さらには、地域の子育て情報をまとめた「親子ガイドブック」の発行も検討していきます。

作戦⑩と地域部活動に関しては、みよし市部活動改革検討委員会において、今後の部活動の在り方を検討していきます。総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、スポーツ協会等との連携を図り、学校の働き方改革を踏まえつつも、子どもを中心とした部活動改革を進めていきます。

作戦⑪の歴史民俗資料館については、令和3年度に歴史民俗資料館のあり方検討会を開き、みよしの歴史や文化を広く市民に発信するための方策を検討していきます。

作戦⑫の図書館サービスの充実については、令和2年度において、コロナ禍にでも開館したり、講座を開いたりした実績をもとに、今後、新型コロナウイルス感染症の影響が続いても、市民の方が読書に親しむ方法を検討します。また、令和3年度中に、電子図書館サービスを開始したり、学校との連携をさらに進めたりしていきます。公民館やコミュニティ施設との連携については、市民の方の要望を踏まえ、今後検討してまいります。

作戦⑬のコミュニティ・スクールに関しては、学校運営協議会の設置とともに、地域学校協働本部の設置も進めていきます。令和3年度は、モデル校1校で学校運営協議会を設置し、地域学校協働本部の設置に向けた準備も進めます。地域ボランティアの方との連携も進め、学校も地域の方も効果を実感できる活動から始め、学校づくり、地域づくりを推進していきます。

令和3年度(令和2年度実績) 教育委員会点検評価報告書

お問い合わせ先

みよし市教育委員会 学校教育課

〒470-0295 みよし市三好町小坂50番地

電 話 (0561)32-8026

FAX (0561)34-4379

E-mail gakko@city.aichi-miyoshi.lg.jp

ホームページ <http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp/>

発 行 令和3年8月